

Dell™ PowerVault™ 136T LTO ライブラリ ユーザーガイド

[デバイスドライバー](#)

[イントロダクション](#)

[説明](#)

[安全](#)

[操作](#)

[メニューの使い方](#)

[メディアの取り扱い方法](#)

[トラブルシューティング](#)

[ヘルプの使い方](#)

[インストール](#)

[仕様](#)

[保証および返品の方針](#)

本文書に記載されている情報は、通知なく変更されることがあります。

© 2001 Dell Computer Corporation. All rights reserved.

如何なる方法でもデルコンピュータ・コーポレーションの書面による許可なくして複製することは厳しく禁じられています。

本文中で使用されている商標である、DELL ロゴ、DellWare、および PowerVault は、デルコンピュータ・コーポレーションの登録商標です。

本文書中使用されているその他の商標および商品名は、それぞれの製品の商標および名前を主張する組織のもので、デルコンピュータ・コーポレーションは、弊社が所有する商標および商品名以外の権利を侵害するものではありません。

初リリース: 2001 年 7 月 23 日

最新改訂版: 2002 年 3 月 12 日

[目次のページに戻る](#)

説明: Dell™ PowerVault™ 136T LTO ライブラリ ユーザーガイド

- [サブシステムの説明](#)
- [機能の説明](#)
- [テープカートリッジ](#)
- [クイックスタート](#)
- [機能的構成単位](#)
- [オプションの機能](#)

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリは、LTO カートリッジ テープの検索、保存、およびコントロールを自動化します。カートリッジは、オペレーターの介入なしで、支援ソフトウェアを介してテープドライブに取り付け・取り外しされます。

サブシステムの説明

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリは拡張可能な構成になっています。1 から 6 個までのテープドライブを構成できます。ただし、その保存容量は様々で、メディア タイプおよびインストールされているドライブ数により決定されます。以下の表は、Dell PowerVault 136T LTO ライブラリの可能な構成を示したものです。

表 1. Dell PowerVault 136T LTO ライブラリ構成

取り付けられたドライブ数	カートリッジ容量
1 から 6	18/36/54/72

最大カートリッジ構成には、2 個の取り外し可能なマガジンと 1 個の固定マガジンを含むメールボックス機能が含まれています。マガジン容量はマガジンのタイプにより異なり、各 LTO マガジンには最高 6 個のカートリッジを入れることができます。Dell PowerVault 136T LTO ライブラリは、スタンドアロンモデルまたは標準の 19 インチラック取り付け式モデルのどちらのモデルとしても使用できるように提供されています。上記の構成はすべて最大ドライブ、保存構成、および冗長 DC 供給電源に現場でアップグレード可能です。詳細については、[オプションの機能](#)を参照してください。

図 1 は、複数スロットのメールボックスを使用した Dell PowerVault 136T LTO ライブラリの例を示しています。

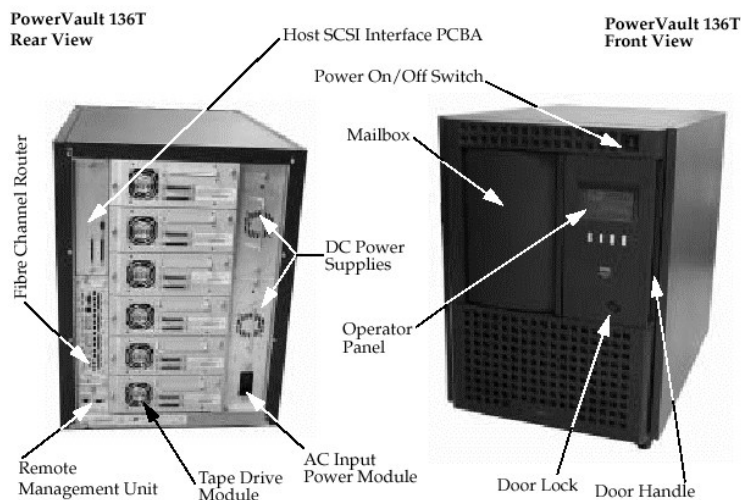


図 1. Dell PowerVault 136T LTO ライブラリ

クイック スタート ガイド

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリのセットアップ方法をクイックスタートのイラスト付きで簡単に示した[クイックスタートガイド](#)を参照してください。

メモ: pdf 形式のクイックスタートガイドを表示する際、Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、<http://www.adobe.com/acrobat/> から無料でダウンロードできます。

ホスト アタッチメント

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリは SCSI ターゲットデバイスで、不平衡型 (single-ended) または低電圧平衡型 (differential) SCSI バスに接続する必要があります。バスは両端を終結する必要があり、ターミネーターは各ライブラリと共に出荷されています。Dell PowerVault 136T LTO ライブラリは

広範な SCSI バスに取り付け可能ですが、本製品は広範 SCSI デバイスではなく、その SCSI ID は 0 から 7 の範囲とする必要があります。Dell PowerVault 136T LTO ライブラリのデフォルト SCSI ID は 0 です。

 **注:** 一般に、7 は SCSI アダプタ用に設定されている ID です。

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリは、ファイバ チャンネル ルーター (FCR) を介して、ファイバ チャンネル ホスト ストレージ エリア ネットワーク (SAN) にも接続できます。FCR は、2 タイプのメディア間で SCSI プロトコルを翻訳 (掛け橋) します。Dell PowerVault 136T LTO ライブラリは、ファイバ チャンネル ルーター (Dell PowerVault 136T Fibre Bridge) を介して、ファイバ チャンネル ホスト ストレージ エリア ネットワーク (SAN) にも接続できます。Fibre Bridge モジュールは、2 タイプのメディア間で SCSI プロトコルを変換 (相互接続) します。

Remote Management Unit (RMU)

リモート管理ユニット (RMU)

リモート管理ユニット (RMU) は、各システムに常駐しており、工場ですべて取り付けられます。RMU では、ウェブ ブラウザを介してライブラリに遠隔アクセスできます。RMU は、Microsoft Internet Explorer バージョン 4.0 以降、ならびに Netscape Navigator バージョン 4.01、4.5、4.7X、およびそれ以降に対応しています。

ユーザーは、RMU を介して、遠隔でライブラリ ステータスおよびライブラリのオペレーター パネルにアクセスできます。また、RMU では、RMU 中のファームウェアおよびライブラリのコントローラを遠隔で更新、ライブラリコマンドおよびエラーログを検索、また構成変更を行うこともできます。RMU は、シンプル ネットワーク マネジメント プロトコル (SNMP) バージョン 2.0 に対応しており、SNMP サーバーとしての役割も果たします。RMU は、シリアルインターフェイス ポートを通してライブラリから Tape Alert 3.0 互換性情報を取得し、その情報を SNMP サーバーに送信します。さらに、RMU は、電源損失を検出し、通知のために SNMP トラップも生成します。詳しくは、[リモート管理ユニット \(RMU\)](#) を参照してください。

機能の説明

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリ構成には、少なくとも 1 個のテープドライブが含まれている必要があります。最高 6 個のドライブを含むことができます。Dell PowerVault 136T LTO ライブラリシステムには、カートリッジ、ライブラリ コントロール ハードウェア、テープドライブ、およびロボティクスシステムが入っています。テープカートリッジは、取り外し可能なマガジンに保存されます。マガジンは、カートリッジを正しい方向でのみ挿入できるように設計されています。テープカートリッジは、一度挿入すると、マガジンが逆さにされたり軽く振られたりしてもテープカートリッジを所定の位置からずらす、保持できるようになっています。マガジンは、ライブラリの取り付けコラムに一方のみで挿入できます。

ライブラリのロボティクスシステムは、ストレージスロット、テープドライブ、およびメールボックスの間で、カートリッジを移動します。カートリッジのストレージスロットまたはテープドライブ フィードスロットでの出し入れには、ピッカーが使われます。ピッカー上のバーコード スキャナがカートリッジまたはスロットを識別します。メールボックスは、ライブラリの操作を中断せずに、Dell PowerVault 136T LTO ライブラリにカートリッジを加えたり、削除したりできます。

カートリッジのストレージスロットおよびカートリッジピッカーは、メンテナンスの目的で、Dell PowerVault 136T LTO ライブラリの正面ドアを開けてアクセスできます。テープドライブ、供給電源、およびホスト インターフェイス PCBA は、メンテナンスの目的で、Dell PowerVault 136T LTO ライブラリの後部からアクセスできます。

ホストから発行される要請により、ライブラリ内でのカートリッジの移動という結果が得られます。発行される主な要請は、カートリッジのテープドライブへの取り付けおよびテープドライブからの取り外し、ライブラリからテープドライブへのインポートおよびテープドライブへのエクスポートです。ホストには、ライブラリ内でのカートリッジの物理的位置の記録があります。また、物理的位置は、ライブラリによって管理されます。各カートリッジには、初回の在庫管理中および随時ライブラリにカートリッジが追加される場合は必ず、マシンまたはオペレーターが読込可能なライブラリ内でのボリュームシリアル番号 (volser) を識別する外部ラベルが必要です。ライブラリでは、カートリッジの volser に基づいた在庫管理データベース中にカートリッジの物理的位置が保存されます。ライブラリは、カートリッジの移動または使用に関わる操作のホスト要請すべてをそのカートリッジの物理的位置を参照するだけで、実行できます。

ライブラリ内でのカートリッジの移動を要請する以外に、ホストは Dell PowerVault 136T LTO ライブラリに保存されているカートリッジに関するステータス、性能、構成、および情報を取得できます。

機能的構成単位

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリは、以下の機能的構成単位から構成されます。

- 1 ドライブモジュール内のテープドライブ
- 1 ライブラリ コントロール ハードウェア
- 1 カートリッジ ストレージ
- 1 ロボティクスシステム
- 1 メールボックス

テープドライブ

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリは、現在、以下のテープドライブに対応しています。

rc="キ LTO タイプドライブ

テープドライブはすべて、素早く取り外し取付けできるように設計された共通のドライブモジュールにパッケージされています。このドライブモジュールは、修理返品する現場交換ユニット (FRU) です。

ライブラリ コントロール ハードウェア

ライブラリ コントロール ハードウェアは、ライブラリとオペレーターとの間の通信を含め、Dell PowerVault 136T LTO ライブラリですべての操作を制御します。ライブラリ ファームウェアは、Dell PowerVault 136T LTO ライブラリの構成、ロボティクスシステムの物理的位置、およびカートリッジの在庫管理を作成および維持します。データベースは、ライブラリのコントロールハードウェアのメモリに保存されます。

カートリッジの保存

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリには、取り付けられた任意のテープドライブ以外に、カートリッジ ストレージ スロットがあります。

ストレージスロットの番号付け

各ライブラリエレメントの座標位置 (ドライブのストレージスロット) の識別には、以下の規則が使用されています。

表 2. ストレージスロットの座標位置

1	A	2
コラム	マガジン	行

コラムには、メールボックスコラムから時計回りの方向に 1 から 5 までの続き番号が付けられています。各コラム内のマガジンは、上から下へ A から C と指定されます。各マガジン内の行には、その LTO メディアタイプについて、上から下へ 1 から 6 の番号が付けられます。ドライブのマガジンは、下から上へ A から F として指定されます。図 3 を参照してください。

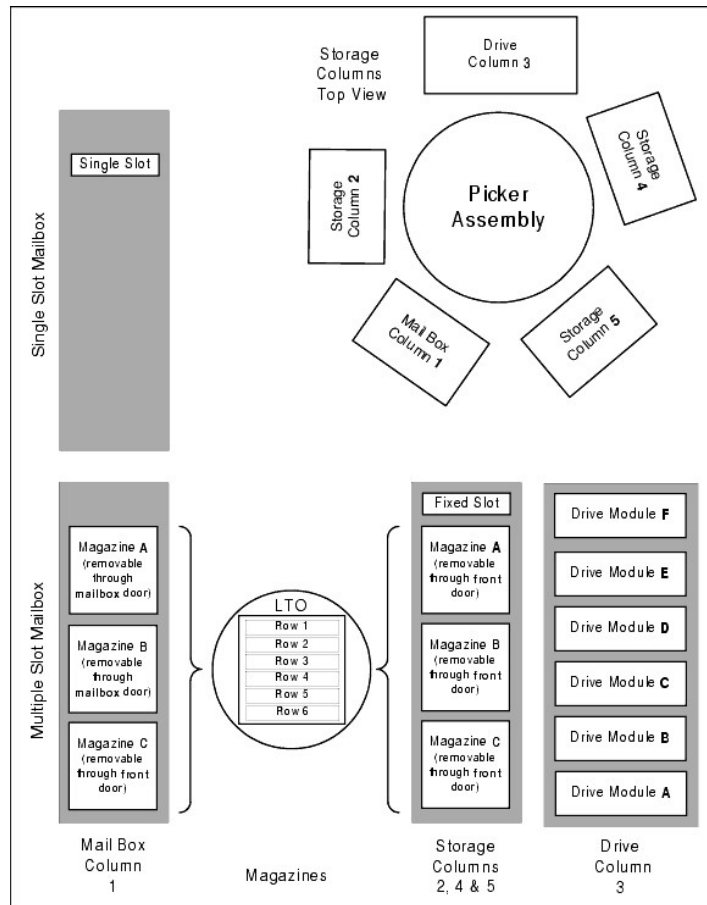


図 3. ストレージ コラムの構成および座標系

注: コラム 2、4、および 5 にある固定スロットには、マガジン指定がなく、必ずゼロ (0) と番号付けされます。したがって、コラム 2 の固定スロットの座標位置は、2 - 0 ("-"はマガジンがないことを示す) となります。ドライブのコラム (3) は、最高 6 ドライブまで指定できます。マガジンの文字は A から F まで指定できます。

ライブラリ内でメディアを操作するためには、ホストが各動作をソースと宛先の指定を使用して参照する必要があります。これは、ライブラリ内のどのスロットを使用するかを厳密に指定するエレメントのアドレス指定を介して行われます。次のアドレス指定表は、ライブラリに使用されます。

表 3. エLEMENTのアドレス指定

スロットタイプ	開始アドレス
ストレージ	4096 (0x1000)
メールボックス	16 (0x0010)
ドライブ	256 (0x0100)
ピッカー	1 (0x0001)

ロボティックスシステム

ロボティックスシステムは、ストレージスロット、テープドライブ、およびメールボックスの間におけるカートリッジの移動を識別します。ロボティックスシステムには、以下の項目があります。

- 1 カートリッジピッカーおよびバーコードスキャナの取付け用のピッカーアセンブリ。
- 1 カートリッジを選択し、ストレージスロット、テープドライブ、またはメールボックスに配置するカートリッジピッカー。
- 1 カートリッジの外側についているラベルを読み込むバーコードスキャナ。バーコードスキャナは、在庫管理プロセス中、そのライブラリに取り付けられているすべてのカートリッジを見つけて分類するために使用されます。また、バーコードスキャナは、ライブラリに取り付けられているストレージおよびテープドライブのタイプを識別する基準ラベルを読み込むティーチングプロセス中にも使用されます。
- 1 ピッカーアセンブリを垂直方向に移動する Y 軸ドライブ。
- 1 ピッカーアセンブリを回転位置に移動する X 軸ドライブ。
- 1 ピッカーアセンブリを前後動作で移動する Z 軸ドライブ。

メールボックス


この施設では、ライブラリの通常操作を中断せずに、カートリッジの挿入および取出しを実行できます。メールボックスには、次の 2 つのモデルがあります。

- 1 標準メールボックスは、容量がカートリッジ 1 個です。
- 1 オプションのメールボックスは、メールボックスのドアを開けて出し入れできる 2 個のマガジンに含まれる LTO カートリッジ 12 個、さらに 6 つの LTO ストレージスロットがある固定マガジン 1 個の容量があります。

テープカートリッジ

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリは、LTO カートリッジの検索、保存、およびコントロールを自動化します。該当するテープドライブタイプをライブラリに取り付ける必要があります。

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリの各テープカートリッジには、マシンまたはオペレーターが読込可能なライブラリ内でのボリュームシリアル番号 (volser) を識別する外部ラベルが必要です。外部ラベルは、volser を示す最高 13 文字まで指定できます。大文字の A~Z まで、および 0~9 までの数を使用できます。

 **注:** カートリッジ上の外部ラベルは、カートリッジを Dell PowerVault 136T LTO ライブラリに識別させるためのものです。ソフトウェアによっては、内部 volser と物理ボリューム上の外部ラベルを同じにする必要がある場合があります。

オプションの機能

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリのオプション機能は、以下の通りです。

- 1 Dell PowerVault 136T ファイバブリッジ。
- 1 追加ストレージコラム (各コラムは、最高 3 個までのマガジンに対応できます)。
- 1 追加の LTO テープドライブモジュール。
- 1 スタンドアロン モデル用キャスター。
- 1 ラック取り付けキット。
- 1 冗長 DC 供給電源。

[目次のページに戻る](#)

[目次のページに戻る](#)

デバイスドライバー: Dell™ PowerVault™ 136T LTO ライブラリユーザーガイド

-  [Dell PowerVault 136T LTO ライブラリドライバー インストール](#)
-  [Windows® 2000 用 Dell PowerVault 136T LTO テープドライバのインストール](#)
-  [Windows NT® 4.0 用 Dell PowerVault 136T LTO テープドライバのインストール](#)

Windows® 2000 ネイティブバックアップをご使用の場合、適切なドライバーがインストール済であることを確認してください。Windows® 4.0 以下では、ドライブに必要なのはドライバーだけで、Windows NT® ネイティブバックアップを使用する際のメディアチェンジャーサポートはありません。システム常駐の適切なドライバーが確実に分からない場合は、次の手順に従って適切なドライバーをインストールしてください。

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリ ドライバー インストール


- 1 Dell PowerVault 136T LTO ライブラリを接続し、コンピュータを再起動させます。
- 1 Windows® 2000 Device Manager を起動します。
- 1 Device Manager から **Medium Changers** を選択します。
- 1 **Unknown Medium Changer Device** を右クリックします。
- 1 ポップアップメニューから **Properties** を選択します。
- 1 プロパティのページで **Driver** タブを選択します。
- 1 **Update Driver...** ボタンをクリックします。これで、**Upgrade Device Driver Wizard** が起動します。 **Next** をクリックします。
- 1 **Search for a suitable driver for my device** というオプションを選択します。 **Next** をクリックします。
- 1 **search locations** で、**CD-ROM drives** のみにチェックマークをつけます。 **Next** をクリックします。
- 1 セットアップで、インストールファイル **pv136t.inf** が選択されます。 **Next** をクリックします。
- 1 これで、必要なファイルがドライバーにインストールされます。
- 1 **Finish** をクリックします。
- 1 **Properties** のページで、**Close** をクリックします。
- 1 **Device Manager** で、**Medium changers** に、**Dell (TM) PowerVault (TM) 136T** テープライブラリが記載されていることを確認してください。


Dell PowerVault 136T LTO テープドライバーインストール

Windows® 2000 用 ドライバーファイルのインストール

- 1 **Windows® 2000 Device Manager** を起動します。
- 1 デバイスマネージャで、**HP Ultrium 1-SCSI SCSI Sequential Device** を見つけます。
- 1 **HP Ultrium** テープドライブを右クリックします。
- 1 ポップアップメニューから **Properties** を選択します。
- 1 プロパティのページで **Driver** タブを選択します。
- 1 **Update Driver...** ボタンをクリックします。これで、**Update Device Driver Wizard** が起動します。 **Next** をクリックします。
- 1 **Search for a suitable driver for my device** というオプションを選択します。 **Next** をクリックします。
- 1 **Optional search locations** で、**CD-ROM drives** のみにチェックマークをつけます。 **Next** をクリックします。
- 1 セットアップで、インストールファイル **dell-lto.inf** が選択されます。 **Next** をクリックします。
- 1 これで、必要なファイルがドライバーにインストールされます。
- 1 **Finish** をクリックします。
- 1 **Properties** のページで、**Close** をクリックします。
- 1 **Device Manager** で、**Tape Devices** に、**Dell (TM) PowerVault (TM) 110T LTO** ドライブが記載されていることを確認します。

Windows NT® 用 ドライバーファイルのインストール

- 1 **Start** ボタンをクリックし、**Setting** に合わせてから **Control Panel** をクリックします。
- 1 **Tape Devices** アイコンをダブルクリックします。
- 1  **注**: ホストサーバーあるいはワークステーションにすでにドライバーをインストール済みの場合は、次のステップに進んでください。そうでない場合は次の 2 つのステップは飛ばしてください。
- 1 **Driver** タブをクリックします。
- 1 **Add** ボタンをクリックします。
- 1 **Have Disc** ボタンをクリックします。
- 1 Dell PowerVault 136T LTO ライブラリユーザーガイド CD を挿入した CD-ROM ドライブのドライブレターに、x: に代えて **x:\drivers\nt4** とタイプします。
- 1 この種の複数ドライブをお持ちの場合、各プロンプトで **OK** をクリックし、各デバイスにドライバーをインストールします。
- 1 すべてのデバイスに対してドライバーがインストールされたら、テープデバイスダイアログの **OK** ボタンをクリックします。
- 1 サーバーあるいはワークステーションを再起動します。
- 1 再起動後、**Start** ボタンをクリックし、**Setting** に合わせてから **Control Panel** ボタンをクリックします。 **Tape Devices** アイコンをダブルクリックし、ドライバーが正確にロードされたことを確認します。

 **注**: 最新のデバイスドライバーを参照したり、ISV デバイスドライバー アップグレードを取得するには、support.dell.com を参照してください。

[目次のページに戻る](#)

[目次のページに戻る](#)

ヘルプの使い方: Dell™ PowerVault™ 136T LTO ライブラリ ユーザーガイド

 [ヘルプ概要](#)

 [Dell お問い合わせ番号](#)

ヘルプ概要

このセクションには、システムに問題がある場合のサポートのために Dell が提供するツールが記載されています。また、テクニカルサポートまたは顧客サポートが必要な場合、いつ、どのように Dell に連絡すればよいかも記されています。

テクニカルサポート

テクニカルな問題でサポートが必要な場合、次の手順を実行してください。

1. このガイドに記載されている[トラブルシューティング](#)の手順を確認してください。
2. インストールおよびトラブルシューティング手順のヘルプについては、Dell のウェブサイト(<http://www.dell.com>)で利用可能な 広範な Dell のオンラインサービスをご利用ください。

詳細は、[ワールドワイドウェブ](#)をご覧ください。

3. これまでの手順で問題が解決されなかった場合、Dell のテクニカルサポートにお問い合わせください。

テクニカルサポート サービスの使い方に関する指示事項については、[テクニカルサポートサービス](#)および[お問い合わせの前に](#)を参照してください。

ヘルプツール

Dell は、お客様をサポートする多数のツールを提供しています。これらのツールは、以下のセクションに記載されています。

注

 次のツールの一部には、米国 (48 州) 外では必ずしもご利用いただけないものもあります。ご利用いただけるツールについては、最寄りの Dell 担当者までお問い合わせください。

ワールドワイドウェブ

インターネットは、ご利用のシステムおよび他の Dell 製品に関する情報を取得する最も強力なツールです。インターネットを通して、AutoTech、TechFax、注文ステータス、テクニカルサポート、および製品情報を含め、このセクションに記載されている大多数のサービスにアクセスできます。

Dell のサポートウェブサイトは、<http://support.dell.com> でアクセスできます。国を選択するには、表示される地図をクリックしてください。Welcome to support.dell.com ページが開きます。ヘルプツールおよび情報にアクセスするには、システム情報を入力してください。

Dell には、以下のアドレスを使用して電子でアクセスできます。

- 1. [ワールドワイドウェブ](#)

<http://www.dell.com/>

<http://www.dell.com/ap/> (アジア・太平洋諸国のみ)

<http://www.euro.dell.com> (ヨーロッパのみ)

<http://www.dell.com/la> (南米諸国のみ)

- 1. [匿名ファイル転送プロトコル\(FTP\)](#)

<ftp://ftp.dell.com/>

user:anonymous としてログインし、お客様の E メールアドレスをパスワードとして使用します。

- 1. [電子サポートサービス](#)

support@us.dell.com

apsupport@dell.com (アジア・太平洋諸国のみ)

<http://support.euro.dell.com> (ヨーロッパのみ)

- 1. [電子見積サービス](#)

sales@dell.com

apmarketing@dell.com (アジア・太平洋諸国のみ)

1 電子情報サービス

info@dell.com

AutoTech サービス

Dell の自動化されたテクニカルサポートサービス - AutoTech - は、Dell のお客様から最も頻繁に尋ねられるラップトップおよびデスクトップのシステムに関する質問に対する記録された回答を提供しています。

AutoTech にお問い合わせの場合、タッチトーン式の電話を使用して、ご質問に該当する題目を選択してください。

AutoTech サービスは、年中無休で 24 時間ご利用いただけます。また、このサービスは、テクニカルサポートサービスを通してご利用いただけます。電話番号は、[Dell お問い合わせ番号](#)をご覧ください。

TechFax サービス

Dell は、お客様により良いサービスを提供するため、ファックステクノロジーをフルに活用しています。お客様に様々なテクニカル情報を提供する Dell TechFax のフリーダイヤルは、年中無休で 24 時間ご利用いただけます。

タッチトーン式電話を使用して、トピックのディレクトリから選択できます。お客様がご希望のテクニカル情報は、数分間以内にお客様ご指定のファックス番号に送信されます。TechFax 電話番号は、[Dell お問い合わせ番号](#)をご覧ください。

自動注文ステータスシステム

この自動サービスに電話をかけると、ご注文いただいた Dell 製品のステータスをチェックできます。注文を検索して報告するために必要な情報の入力が録音で求められます。電話番号は、[Dell Contact Numbers](#)をご覧ください。

テクニカルサポートサービス

Dell の業界をリードするハードウェアのテクニカルサポートサービスは、Dell ハードウェアに関するご質問にお答えするために、年中無休、24 時間ご利用いただけます。

弊社のテクニカルサポート担当者は、問題および質問すべての 90 パーセント以上を通常 10 分以内、1 回のフリーダイヤル電話で処理するという実績を誇っています。お客様から電話があった場合、弊社の専門家はお客様の Dell システムに関する記録を参照できるので、お客様の特定の質問をより良く理解できます。弊社のテクニカルサポート担当者は、コンピュータに基づく診断を使用して、お客様のご質問に対する素早く正確な回答を提供しています。

Dell のテクニカルサポートサービスに連絡するには、[お問い合わせの前に](#)を参照してから、[Dell お問い合わせ番号](#)に記載されているお客様の国の電話番号におかけください。

注文に関する問題

不足部品、間違った部品、請求ミスなどの注文に問題がある場合、Dell の顧客サポートまでご連絡ください。お電話の際には、請求書または梱包票をご用意ください。電話番号は、[Dell お問い合わせ番号](#)をご覧ください。

製品情報

Dell が提供している他の製品に関する情報が必要な場合、または注文をご希望の場合、Dell のウェブサイト、<http://www.dell.com> をご覧ください。セールス相談員と話す必要がある場合の電話番号は、[Dell お問い合わせ番号](#)をご覧ください。

保証期間内の修理または払戻しを受けるための返品

返品するすべての品目は、修理または払戻しに関わらず、以下の手順で用意してください。

1. Dell に電話連絡して認証番号を取得し、その番号を箱の外側にはっきり目立つように書きます。

電話番号は、[Dell Contact Numbers](#)をご覧ください。

2. 請求書のコピーおよび返品の理由を記した手紙を入れます。
3. ライブラリで報告されたエラーメッセージがあればそのコピーを入れます。
4. 払い戻しを受けるための返品である場合、返品するアイテムに属するアクセサリ(たとえば、電気コード、ソフトウェアディスク、ガイドなど)をすべて入れます。
5. オリジナル(または相当)の梱包材料に返品する機器を詰めます。

送金はお客様払いとなります。返品する製品の保険もお客様の責任であり、Dell への輸送中の損失リスクはお客様が負うものとなります。着払い (C.O.D.) のパッケージは受け付けません。

前述の必要条件を満たさない返品は、受取ドックで受取拒否され、お客様に戻されます。

お問い合わせの前に

できれば、Dellのテクニカルサポートに電話をおかけになる前に、システムをオンにして、システムのある場所またはその近くにある電話からおかけください。キーボードでコマンドを入力したり、操作中に詳細情報を伝えたりするように指示されることがあります。また、そのシステムでのみ可能な他のトラブルシューティング手順を試みるように指示されることもあります。システムのドキュメンテーションをお手元にご用意ください。

⚠ 注意: システム内部の構成部品を修理する前に、お客様ご自身とコンピューターのために、まず最初に[安全](#)をご覧ください。

Dell お問い合わせ番号

次の表には、Dell への連絡にご利用いただける**国別のアクセスコードおよび電話番号、ウェブサイト、E メールアドレス**が記載されています。

コードは、電話をどこからかけるか、また電話の宛先により異なります。さらに、国により異なる**ダイヤル規約**があります。どのコードを使えば良いか分からない場合は、**最寄りのオペレーターまたは国際オペレーター**にお問い合わせください。

注: フリーダイヤルは、記載対象の国内のみでご利用いただけます。自国内で長距離電話をかける(国際電話ではない)場合、つまり、電話をかける先の国と同じ国から電話をしている場合、市外番号が最も頻繁に使用されます。

国名(市) 国際アクセスコード 国コード 市コード	部署名またはサービス領域、 ウェブサイトおよびE メールアドレス	市外番号、 市内番号、およびフリーダイヤル番号	
オーストラリア (シドニー)	ホームビジネスおよびスモールビジネス	1-300-65-55-33	
	国際アクセスコード: 0011	政府官庁およびビジネス	フリーダイヤル: 1-800-633-559
	国コード: 61	優先アカウント部門 (PAD)	フリーダイヤル: 1-800-060-889
	市コード: 2	顧客ケア	フリーダイヤル: 1-800-819-339
		企業セールス	フリーダイヤル: 1-800-808-385
		取引セールス	フリーダイヤル: 1-800-808-312
	Fax	フリーダイヤル: 1-800-818-341	
オーストリア (ウィーン)	ホームビジネスおよびスモールビジネスのセールス	01 795 67602	
	国際アクセスコード: 900	ホームビジネスおよびスモールビジネスのFax	01 795 67605
	国コード: 43	ホームビジネスおよびスモールビジネスの顧客ケア	01 795 67603
		優先アカウント/企業の顧客ケア	0660 8056
	市コード: 1	ホームビジネスおよびスモールビジネスのテクニカルサポート	01 795 67604
		優先アカウント/企業のテクニカルサポート	0660 8779
		スイッチボード	01 491 04 0
		ウェブサイト: http://support.euro.dell.com	
	E メール: tech_support_Central_Europe@dell.com		
ベルギー (ブリュッセル)	テクニカルサポート	02 481 92 88	
	国際アクセスコード: 00	顧客ケア	02 481 91 19
	国コード: 32	ホームビジネスおよびスモールビジネスのセールス	フリーダイヤル: 0800 16884

市コード: 2	企業セールス	02 481 91 00
	Fax	02 481 92 99
	スイッチボード	02 481 91 00
	ウェブサイト: http://support.euro.dell.com	
	E メール: tech_be@dell.com	
ブラジル	顧客サポート、テクニカルサポート	0800 90 3355
国際アクセスコード: 0021	セールス	0800 90 3366
国コード: 55	ウェブサイト: http://www.dell.com/br	
市コード: 51		
ブルネイ	顧客テクニカルサポート (マレーシア、ペナン)	604 633 4966
国コード: 673	顧客サービス (マレーシア、ペナン)	604 633 4949
	顧客サービス (マレーシア、ペナン)	604 633 4955
カナダ (オンタリオ、ノース・ヨーク)	自動注文ステータスシステム	フリーダイヤル: 1-800-433-9014
国際アクセスコード: 011	AutoTech (自動テクニカルサポート)	フリーダイヤル: 1-800-247-9362
	顧客ケア (トロント市外から)	フリーダイヤル: 1-800-387-5759
	顧客ケア (トロント市内から)	416 758-2400
	顧客テクニカルサポート	フリーダイヤル: 1-800-847-4096
	セールス (ダイレクトセールス-トロント市外から)	フリーダイヤル: 1-800-387-5752
	セールス (ダイレクトセールス-トロント市内から)	416 758-2200
	セールス (連邦政府官庁、教育、および医療)	フリーダイヤル: 1-800-567-7542
	セールス (大規模アカウント)	フリーダイヤル: 1-800-387-5755
	TechFax	フリーダイヤル: 1-800-950-1329
チリ (サンティアゴ)	セールス、顧客サポート、およびテクニカルサポート	フリーダイヤル: 1230-020-4823
国コード: 56		
市コード: 2		
中国 (廈門)	テクニカルサポート	フリーダイヤル: 800 858 2437
国コード: 86	顧客体験	フリーダイヤル: 800 858 2060
市コード: 592	ホームビジネスおよびスモールビジネス	フリーダイヤル: 800 858 2222
	優先アカウント部門	フリーダイヤル: 800 858 2062
	大企業アカウント	フリーダイヤル: 800 858 2999
チェコ共和国 (プラハ)	テクニカルサポート	02 22 83 27 27

国際アクセスコード: 00	顧客ケア	02 22 83 27 11
国コード: 420	Fax	02 22 83 27 14
市コード: 2	TechFax	02 22 83 27 28
	スイッチボード	02 22 83 27 11
	ウェブサイト: http://support.euro.dell.com	
	E メール: czech_dell@dell.com	
デンマーク (ホルホルム)	テクニカルサポート	45170182
国際アクセスコード: 009	関連顧客ケア	45170184
国コード: 45	ホームビジネスおよびスモールビジネスの顧客ケア	32875505
	スイッチボード	45170100
	Faxテクニカルサポート (スウェーデン、ウプランド・ヴェスビー)	859005594
	Faxスイッチボード	45170117
	E メール: http://support.euro.dell.com	
	E-mail: den_support@dell.com	
フィンランド (ヘルシンキ)	テクニカルサポート	09 253 313 60
国際アクセスコード: 990	テクニカルサポートのFax	09 253 313 81
国コード: 358	関連顧客ケア	09 253 313 38
市コード: 9	ホームビジネスおよびスモールビジネスの顧客ケア	09 693 791 94
	Fax	09 253 313 99
	スイッチボード	09 253 313 00
	ウェブサイト: http://support.euro.dell.com	
	E メール: fin_support@dell.com	
フランス (パリ/モントペリエール)	ホームビジネスおよびスモールビジネス	
国際アクセスコード: 00	テクニカルサポート	0825 387 270
国コード: 33	顧客ケア	0825 823 833
市コード: (1) (4)	スイッチボード	0825 004 700
	スイッチボード (代替)	04 99 75 40 00
	セールス	0825 004 700
	Fax	0825 004 701
	ウェブサイト: http://support.euro.dell.com	

E メール: web_fr_tech@dell.com

企業

テクニカルサポート	0825 004 719
顧客ケア	0825 338 339
スイッチボード	01 55 94 71 00
セールス	01 55 94 71 00
Fax	01 55 94 71 99

ウェブサイト: <http://support.euro.dell.com>

E メール: web_fr_tech@dell.com

ドイツ (ランゲン)

国際アクセスコード: 00

国コード: 49

市コード: 6103

テクニカルサポート	06103 766-7200
ホームビジネスおよびスモールビジネス顧客ケア	0180-5-224400
グローバルセグメント顧客ケア	06103 766-9570
優先アカウント顧客ケア	06103 766-9420
大規模アカウント顧客ケア	06103 766-9560
公共アカウント顧客ケア	06103 766-9555
スイッチボード	06103 766-7000

ウェブサイト: <http://support.euro.dell.com>

E メール: tech_support_Central_Europe@dell.com

香港

国際アクセスコード: 001

国コード: 852

テクニカルサポート	フリーダイヤル: 800 96 4107
顧客サービス (マレーシア、ペナン)	604 633 4949
取引セールス	フリーダイヤル: 800 96 4109
企業セールス	フリーダイヤル: 800 96 4108

**アイルランド (チェリー
ウッド)**

国際アクセスコード: 16

国コード: 353

市コード: 1

テクニカルサポート	0870 908 0800
顧客ケア	01 204 4026
セールス	01 286 0500
SalesFax	01 204 0144
Fax	0870 907 5590
スイッチボード	01 286 0500

ウェブサイト: <http://support.euro.dell.com>

E メール: dell_direct_support@dell.com

イタリア (ミラノ)	ホームビジネスおよびスモールビジネス	
国際アクセスコード: 00	テクニカルサポート	02 577 826 90
国コード: 39	顧客ケア	02 696 821 14
市コード: 02	Fax	02 696 824 13
	スイッチボード	02 696 821 12
	ウェブサイト: http://support.euro.dell.com	
	E メール: web_it_tech@dell.com	
	企業	
	テクニカルサポート	02 577 826 90
	顧客ケア	02 577 825 55
	Fax	02 575 035 30
	スイッチボード	02 577 821
	ウェブサイト: http://support.euro.dell.com	
	E メール: web_it_tech@dell.com	
日本 (川崎)	テクニカルサポート (サーバー)	フリーダイヤル: 0120-1984-35
国際アクセスコード: 001	テクニカルサポート (Dimension™ および Inspiron™)	フリーダイヤル: 0120-1982-26
国コード: 81	テクニカルサポート 日本国外 (Dimension および Inspiron)	81-44-520-1167
市コード: 44	テクニカルサポート (OptiPlex™、Dell Precision™、および Latitude™)	フリーダイヤル: 0120-1984-33
	日本国外のテクニカルサポート (OptiPlex, Dell Precision, and Latitude)	81-44-556-3894
	24 時間 自動注文サービス	044 556-3801
	顧客ケア	044 556-4240
	ホームビジネスおよびスモールビジネスのグループセールス	044 556-3344
	優先アカウント部門 セールス	044 556-3433
	大会社アカウント	044 556-3430
	Faxbox サービス	044 556-3490
	スイッチボード	044 556-4300
	ウェブサイト: http://support.jp.dell.com	
韓国 (ソウル)	テクニカルサポート	フリーダイヤル: 080-200-3800
国際アクセスコード: 001	セールス	フリーダイヤル: 080-200-3777
国コード: 82	顧客サービス (韓国、ソウル)	2194-6220
市コード: 2		

	顧客サービス (マレーシア、ペナン)	604 633 4949
	Fax	2194-6202
	スイッチボード	2194-6000
南米	顧客テクニカルサポート (米国テキサス州オースチン)	512 728-4093
	顧客サービス (米国テキサス州オースチン)	512 728-3619
	Fax (テクニカルサポートおよび顧客サービス)(米国テキサス州オースチン)	512 728-3883
	セールス (米国テキサス州オースチン)	512 728-4397
	SalesFax (米国テキサス州オースチン)	512 728-4600
		or 512 728-3772
ルクセンブルグ	テクニカルサポート (ベルギー、ブリュッセル)	02 481 92 88
国際アクセスコード: 00 国コード: 352	ホームビジネスおよびスモールビジネスのセールス (ベルギー、ブリュッセル)	フリーダイヤル: 080016884
	企業セールス (ベルギー、ブリュッセル)	02 481 91 00
	顧客ケア (ベルギー、ブリュッセル)	02 481 91 19
	Fax (ベルギー、ブリュッセル)	02 481 92 99
	スイッチボード (ベルギー、ブリュッセル)	02 481 91 00
	ウェブサイト: http://support.euro.dell.com	
	E メール: tech_be@dell.com	
マカオ	テクニカルサポート	フリーダイヤル: 0800 582
国コード: 853	顧客サービス (マレーシア、ペナン)	604 633 4949
	取引セールス	フリーダイヤル: 0800 581
マレーシア (ペナン)	テクニカルサポート	フリーダイヤル: 1 800 888 298
国際アクセスコード: 00 国コード: 60 市コード: 4	顧客サービス	04 633 4949
	取引セールス	フリーダイヤル: 1 800 888 202
	企業セールス	フリーダイヤル: 1 800 888 213
メキシコ	自動注文ステータスシステム (米国テキサス州オースチン)	512 728-0685
国際アクセスコード: 95 国コード: 52 市コード: 5	AutoTech (自動テクニカルサポート) (米国テキサス州オースチン)	512 728-0686
	顧客テクニカルサポート	525 228-7870
	セールス	525 228-7811
		またはフリーダイヤル: 91-800-900-37
		またはフリーダイヤル: 91-800-904-49

	顧客サービス	525 228-7878
	代表	525 228-7800
オランダ (アムステルダム)	テクニカルサポート	020 581 8838
国際アクセスコード: 00	顧客ケア	020 581 8740
国コード: 31	ホームビジネスおよびスモールビジネスのセールス	フリーダイヤル: 0800-0663
市コード: 20	ホームビジネスおよびスモールビジネスのセールス Fax	020 682 7171
	企業セールス	020 581 8818
	企業セールス Fax	020 686 8003
	Fax	020 686 8003
	スイッチボード	020 581 8818
	ウェブサイト: http://support.euro.dell.com	
	E メール: tech_nl@dell.com	
ニュージーランド	ホームビジネスおよびスモールビジネス	0800 446 255
国際アクセスコード: 00	政府官庁およびビジネス	0800 444 617
国コード: 64	セールス	0800 441 567
	Fax	0800 441 566
ノルウェイ (リサカ)	テクニカルサポート	671 16882
国際アクセスコード: 095	関連顧客ケア	671 17514
国コード: 47	ホームビジネスおよびスモールビジネス顧客ケア	23162298
	スイッチボード	671 16800
	Fax テクニカルサポート (スウェーデン、ウブランス・ヴェスビー)	590 05 594
	Fax スイッチボード	671 16865
	ウェブサイト: http://support.euro.dell.com	
	E メール: nor_support@dell.com	
ポーランド (ワルシャワ)	テクニカルサポート	22 57 95 700
国際アクセスコード: 011	顧客ケア	22 57 95 999
国コード: 48	セールス	22 57 95 999
市コード: 22	Fax	22 57 95 998
	スイッチボード	22 57 95 999
	ウェブサイト: http://support.euro.dell.com	

E メール: pl_support@dell.com

ポルトガル	テクニカルサポート	35 800 834 077
国際アクセスコード: 00	顧客ケア	34 902 118 540 or 35 800 834 075
国コード: 35	セールス	35 800 834 075
	Fax	35 121 424 01 12

E メール: es_support@dell.com

シンガポール (シンガポール)	テクニカルサポート	フリーダイヤル: 800 6011 051
国際アクセスコード: 005	顧客サービス (マレーシア、ペナン)	604 633 4949
国コード: 65	取引セールス	フリーダイヤル: 800 6011 054
	企業セールス	フリーダイヤル: 800 6011 053

南アフリカ (ヨハネスバーク)	テクニカルサポート	011 709 7710
国際アクセスコード: 09/091	顧客ケア	011 709 7707
国コード: 27	セールス	011 709 7700
市コード: 11	Fax	011 706 0495
	スイッチボード	011 709 7700

ウェブサイト: <http://support.euro.dell.com>

E メール: dell_za_support@dell.com

東南アジアおよび太平洋諸国	顧客テクニカルサポート、顧客サービス、およびセールス (マレーシア、ペナン)	604 633 4810
----------------------	--	--------------

スペイン (マドリッド)	ホームビジネスおよびスモールビジネス
---------------------	--------------------

国際アクセスコード: 00	テクニカルサポート	902 100 130
国コード: 34	顧客ケア	902 118 540
市コード: 91	セールス	902 118 541
	スイッチボード	902 118 541
	Fax	902 118 539

ウェブサイト: <http://support.euro.dell.com>

E メール: web_esp_tech@dell.com

企業

テクニカルサポート	902 100 130
顧客ケア	902 118 546
スイッチボード	91 722 92 00

	Fax	91 722 95 83
	ウェブサイト: http://support.euro.dell.com	
	E メール: web_esp_tech@dell.com	
スウェーデン (ウプランド・ヴェスビー)	テクニカルサポート	08 590 05 199
国際アクセスコード: 009	関連顧客ケア	08 590 05 642
国コード: 46	ホームビジネスおよびスモールビジネス顧客ケア	08 587 70 527
市コード: 8	Fax テクニカルサポート	08 590 05 594
	セールス	08 590 05 185
	ウェブサイト: http://support.euro.dell.com	
	E メール: swe_support@dell.com	
スイス (ジュネーブ)	テクニカルサポート (ホームビジネスおよびスモールビジネス)	0844 811 411
国際アクセスコード: 00	テクニカルサポート (企業)	0844 822 844
国コード: 41	顧客ケア (ホームビジネスおよびスモールビジネス)	0848 802 202
市コード: 22	顧客ケア (企業)	0848 821 721
	Fax	022 799 01 90
	スイッチボード	022 799 01 01
	ウェブサイト: http://support.euro.dell.com	
	E メール: swisstech@dell.com	
台湾	テクニカルサポート	フリーダイヤル: 0080 60 1255
国際アクセスコード: 002	テクニカルサポート(サーバー)	フリーダイヤル: 0080 60 1256
国コード: 886	取引セールス	フリーダイヤル: 0080 651 228
	企業セールス	フリーダイヤル: 0080 651 227
		or 0800 33 556
		or 0800 33 555
タイ	テクニカルサポート	フリーダイヤル: 0880 060 07
国際アクセスコード: 001	顧客サポート (マレーシア、ペナン)	604 633 4949
国コード: 66	セールス	フリーダイヤル: 0880 060 09
イギリス (ブラックネル)	テクニカルサポート (企業/優先アカウント/PAD [従業員1000人以上])	0870 908 0500
国際アクセスコード: 010	テクニカルサポート (ダイレクト/PADおよび一般)	0870 908 0800
国コード: 44	グローバルアカウント顧客ケア	01344 723186
市コード: 1344	企業顧客ケア	01344 723185

優先アカウント (500-5000 employees) 顧客ケア	01344 723196
中央政府顧客ケア	01344 723193
地方官庁顧客ケア	01344 723194
ホームビジネスおよびスモールビジネスのセールス	0870 907 4000
企業/公共事業セールス	01344 860456
ウェブサイト: http://support.euro.dell.com	
E メール: dell_direct_support@dell.com	

米国(テキサス州オースチン)	自動注文ステータスシステム	フリーダイヤル: 1-800-433-9014
国際アクセスコード: 011	AutoTech (ラップトップシステムおよびデスクトップシステム用)	フリーダイヤル: 1-800-247-9362
国コード: 1	Dell ホームビジネスおよびスモールビジネス・グループ (ラップトップシステムおよびデスクトップシステム用): 顧客テクニカルサポート (返品認証番号)	フリーダイヤル: 1-800-624-9896
	(http://www.dell.com を通してご購入いただいたホームセールス)	フリーダイヤル: 1-877-576-3355
	顧客サービス (払戻し返品認証番号)	フリーダイヤル: 1-800-624-9897
	ナショナルアカウント (確立済の Dell ナショナルアカウント [アカウント番号をご用意ください]、医療組織、または付加価値再販業者 [VAR]でご購入のシステム): 顧客サービスおよびテクニカルサポート (返品認証番号)	フリーダイヤル: 1-800-822-8965
	Public Americas International (政府機関 [地元政府、州政府、連邦政府] または教育組織でご購入いただいたシステム): 顧客サービスおよびテクニカルサポート (返品認証番号)	フリーダイヤル: 1-800-234-1490
	Dell セールス	フリーダイヤル: 1-800-289-3355 またはフリーダイヤル: 1-800-879-3355
	予備部品セールス	フリーダイヤル: 1-800-357-3355
	DellWare™	フリーダイヤル: 1-800-753-7201
	デスクトップおよびポータブルの課金テクニカルサポート	フリーダイヤル: 1-800-433-9005
	サーバーの課金テクニカルサポート	フリーダイヤル: 1-800-967-0765
	セールス (カタログ)	フリーダイヤル: 1-800-426-5150
	Fax	フリーダイヤル: 1-800-727-8320
	TechFax	フリーダイヤル: 1-800-950-1329
	聴覚障害者、難聴者、言語障害者のための Dell サービス	フリーダイヤル: 1-877-DELLTTY (1-877-335-5889)
	スイッチボード	512 338-4400
	Dellnet テクニカルサポート	フリーダイヤル: 1-877-Dellnet (1-877-335-5638)

[目次のページに戻る](#)

[目次のページに戻る](#)

インストール: Dell™ PowerVault™ 136T LTO ライブラリ ユーザーガイド

- [取り付け前の準備](#)
- [開梱](#)
- [スタンドアロン ライブラリの取り付け](#)
- [テープドライブ モジュールの取り付け](#)
- [Dell PowerVault 136T ファイバブリッジの取り付け](#)
- [ストレージ コラムの取り付け](#)
- [取り付けの確認](#)
- [特殊工具](#)
- [取り付けの開始](#)
- [PowerVault 136T のラックへの取り付け](#)
- [冗長 DC 供給電源の取り付け](#)
- [複数スロット メールボックスの取り付け](#)
- [ホストからのケーブル](#)

本章には、Dell PowerVault 136T LTO ライブラリの全モデルおよびオプションの機能の取り付けに関するステップ毎の手順が記載されています。

取り付け前の準備

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリは、ラック内にまたはスタンドアロンとして取り付けることができます。

取り付けに必要な部品は、各ライブラリと共に出荷されます。ライブラリを開梱して梱包材料を除去する際に、同封されている部品を損失または紛失しないように注意してください。

各ライブラリと共に出荷される 2 個のドア キーは、正面ドアのロックおよびロック解除に使用するものです。

ステップ 1 取り付け作業を始める前に、これらの指示事項をよくお読みください。

ステップ 2 ホストと Dell PowerVault 136T LTO ライブラリおよびすべてのテープドライブとの間のケーブル接続の必要条件を理解してください。詳細は、[クイック スタート ガイド](#)を参照してください。

特殊工具

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリの取り付けには特殊工具は必要ありません。ライブラリのインストールに必要なのは、標準の CE ツールだけです。

開梱

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリに付いてきた指示事項にしたがって開梱します。梱包材料をパレットから取り除いたら、部品を破損することがないように、安全な場所に置いてください。

取り付けの開始

次の表を使って、取り付けを始めます。


表 1. 取り付けの開始

取り付けジャンプ... 取り付け ジャンプ ...	
取り付け	ジャンプ...
スタンドアロン ライブラリ	スタンドアロン ライブラリの取り付け
標準 19 インチ ラック内のライブラリ(右のボックスの注を参照してください)	Dell PowerVault 136T LTO ライブラリのラックへの取り付け
テープドライブ モジュール	テープドライブ モジュールの取り付け
冗長 DC 供給電源	テープドライブ モジュールの取り付け
複数スロットのメールボックスアセンブリ	複数スロットのメールボックスの取り付け
ストレージコラム	ストレージコラムの取り付け


スタンドアロン ライブラリの取り付け

必要な工具: なし。

ステップ 1 Dell PowerVault 136T LTO ライブラリを所定の位置に置きます。

 **注:** このステップを実行するとき、ドアは閉めておく必要があります。

ステップ 2 正面ドアを開け、ピッカーアセンブリを垂直軸方向に移動して、梱包材料がすべて取り除かれ、固定材料が残っていないことを確認します。..



 **注意:** ピッカーアセンブリをロータリー軸沿いに手で移動しないでください。ピッカーアセンブリを損傷することになります。ピッカーアセンブリは、ロータリーモーター上にある歯車を手で回すと回転できます。

ステップ 3 他のライブラリ機能をインストールする必要がある場合、[取り付けの開始](#)へジャンプして、正しい手順を見つけてください。そうでない場合は、[ホストからのケーブル](#)へジャンプしてください。

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリのラックへの取り付け



ラック取り付けハードウェアに付いてきた『Dellラック取り付けガイド』で、Dell PowerVault 136T LTO ライブラリの Dell ラックへの取り付け方に関する指示事項を参照してください。

テープドライブ モジュールの取り付け

 および  を参照してください。

 **注意:** SCSI バスを保護するため、この手順を始める前に、ライブラリの電源を必ず切ってください。

必要な工具: なし。

 **注意:**  に示される通りに、1つ目のテープドライブ モジュールはドライブコラムの 1 番下のドライブスロット (コラム 3 - スロット A) に、追加ドライブ モジュールはその後のスロット (B から F) に順番に、必ず取り付けてください。この構成に従わない場合、ライブラリは初期化を終了することができず、そのテーピング過程中にドライブが認識されません。

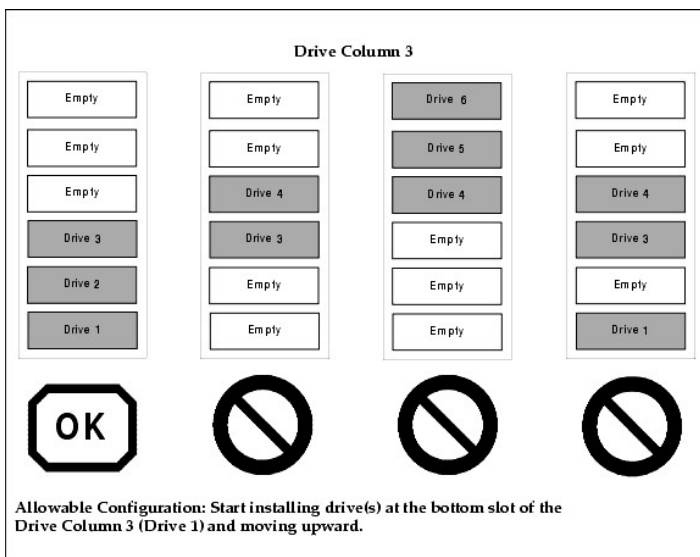


図 1. テープドライブ モジュールの取り付けで許容できる構成

ステップ 1 Dell PowerVault 136T LTO ライブラリの後部から、テープドライブ モジュールを取り付けるドライブスロットを見つけます。

- 1 フィラープレート上にある 2 個の取り付け用蝶ねじを緩め、フィラープレートを外します。
- 1 フィラープレートは、後日のドライブ メンテナンス作業用に保管してください。

ステップ 2 テープドライブ モジュールを定位置にスライドし、2 個の取り付け用蝶ねじを締めます。

▲注意: テープドライブ モジュールを取り付けた後、ライブラリに電源を入れます。SCSI バスケーブルをドライブの SCSI コネクタに接続する前に、2 分間お待ちください。

ステップ 3 他のライブラリ機能をインストールする必要がある場合、[取り付けの開始](#)へジャンプして正しい手順を見つけてください。そうでない場合は、[ホストからのケーブル](#)にジャンプしてください。

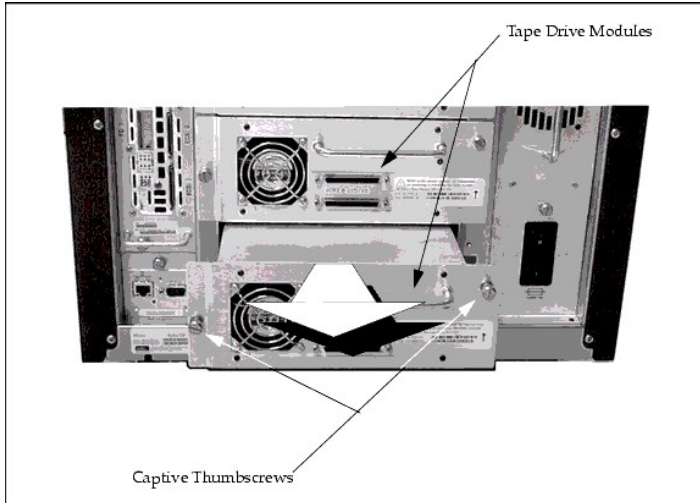


図 2. テープドライブ モジュールの取り付け

冗長 DC 供給電源の取り付け

[図 3](#)を参照してください。

必要な工具: なし。

ステップ 1 Dell PowerVault 136T LTO ライブラリの後部から、冗長 DC 供給電源を取り付けるスロットを見つけます。

- 1 カバープレート上にある 2 個の取り付け用蝶ねじを緩め、カバープレートを外します。

ステップ 2 供給電源を LED と図のように位置を合わせ、配電盤 PCBA と接合されるまで所定の位置にスライドし、2 個の取り付け用蝶ねじを締めます。

ステップ 3 他のライブラリ機能をインストールする必要がある場合、[取り付けの開始](#)へジャンプして正しい手順を見つけてください。そうでない場合は、[ホストからのケーブル](#)へジャンプしてください。

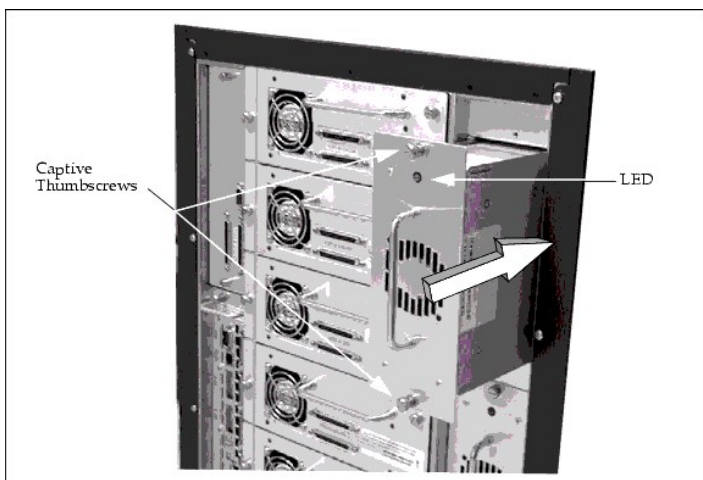


図 3. 冗長 DC 供給電源の取り付け

Dell PowerVault 136T ファイバブリッジの取り付け

[図 4](#)を参照してください。

必要な工具: なし。

ステップ 1 PowerVault 136T の後部から、Dell PowerVault 136T LTO ライブラリファイバブリッジ用の領域を見つけます。

- 1 カバープレート上にある 2 個の取り付け用蝶ねじを緩め、カバープレートを外します。

ステップ 2 ファイバブリッジ モジュールがコネクタと接合されるまで所定の位置にスライドし、2 個の取り付け用蝶ねじを締めます。ファイバブリッジ モジュールおよび配線の詳細については、『Dell PowerVault 136T ファイバブリッジ ユーザー およびガイド』を参照してください。

ステップ 3 他のライブラリ機能をインストールする必要がある場合、[取り付けの開始](#)へジャンプして正しい手順を見つけてください。そうでない場合は、[ホストからのケーブル](#)へジャンプしてください。

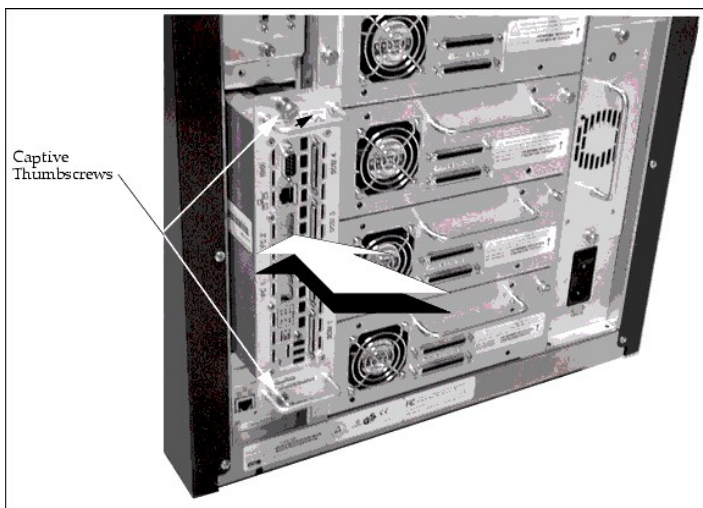


図 4. Dell PowerVault 136T ファイバブリッジの取り付け

複数スロットのメールボックスの取り付け

[図 5](#)を参照してください。

ステップ 1 複数スロットのメールボックス アセンブリは、標準のメールボックスと同様に取り付けます。複数スロットのメールボックス アセンブリは、8 個

の 11/32 ナットを使用してドアに取り付けます。

ステップ 2 プラスのねじまわし 2 個と 11/32 ナット 1 個を使って、ケーブルクランプを取り付けます。ケーブルをディスプレイアセンブリに接続します。

ステップ 3 マガジンおよび任意カートリッジをメールボックスに挿入します。

ステップ 4 他のライブラリ機能をインストールする必要がある場合、[取り付けの開始](#)へジャンプして正しい手順を見つけてください。そうでない場合は、[ホストからのケーブル](#)へジャンプしてください。

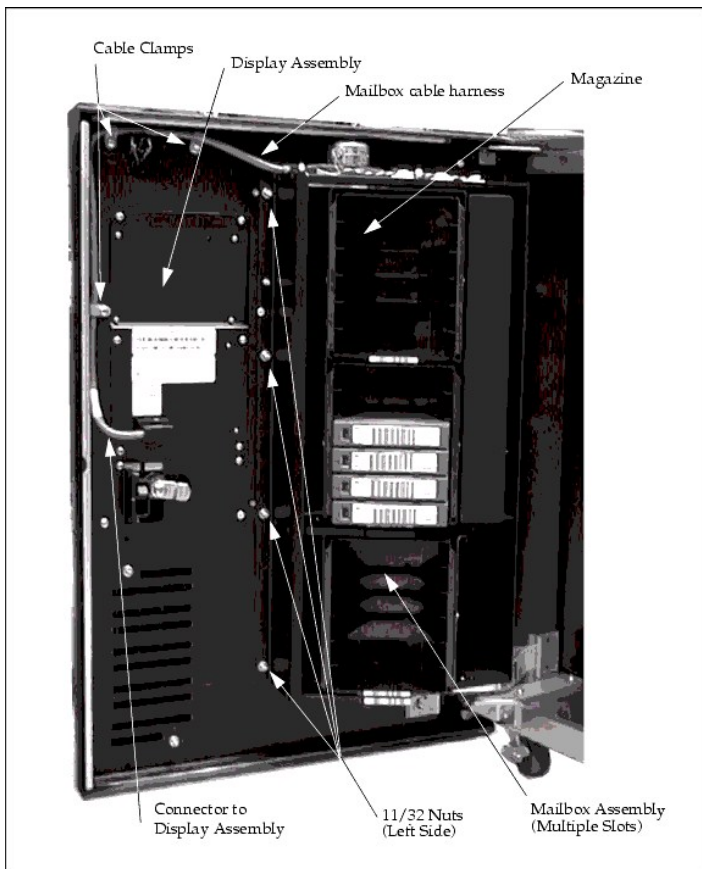


図 5. 複数スロットのメールボックス アセンブリの取り付け

ストレージコラムの取り付け

[図 7](#)を参照してください。

必要な工具: 11 mm または 7/16 ナットドライバー、T20 Torx ドライバー、および懐中電灯。

ステップ 1 AC 入力電源モジュールのメインスイッチをオフにして、Dell PowerVault 136T LTO ライブラリの電源を切ります。

ステップ 2 Dell PowerVault 136T LTO ライブラリの正面ドアを開けます。

ステップ 3 必要であれば、ピッカーアセンブリを Y 軸方向に移動してアクセスする余地を作り、ストレージコラムを所定の位置に丁寧に移動します。

注: Y 軸とは、ピッカーアセンブリの垂直方向の移動を意味します。優しく、手で動かすことができます。ロータリー軸とはスピン動作を指し、ロータリーモーター上にある歯車を手で回すことで、ピッカーアセンブリを回転させる必要があります。

ステップ 4 ストレージコラムの局部図については、[図 6](#)を参照してください。また、取り付け中のコラムによって、次の2つのステップのいずれか1つを実行します。

- 1 コラム 4 を取り付け中の場合、T20 Torx レンチを使用して、ストレージコラムを下部シャーシに取り付ける下部のねじ2個を締めます。
- 1 コラム 5 を取り付け中の場合、7/16 ナットドライバーを使用して、ストレージコラムをブラケットに取り付けるボルトを締めます。

ステップ 5 7/16 ナットドライバーを使用して、上部ボルトを取り付けます。

ステップ 6 ストレージコラムに任意のマガジンを取り付けます。

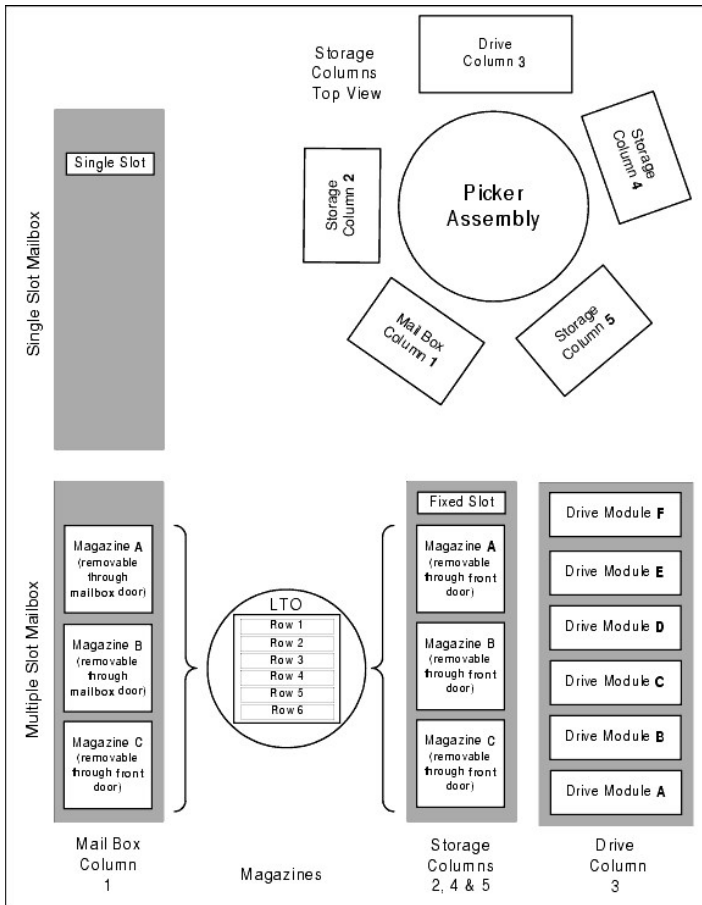


図 6. ストレージコラム局部図

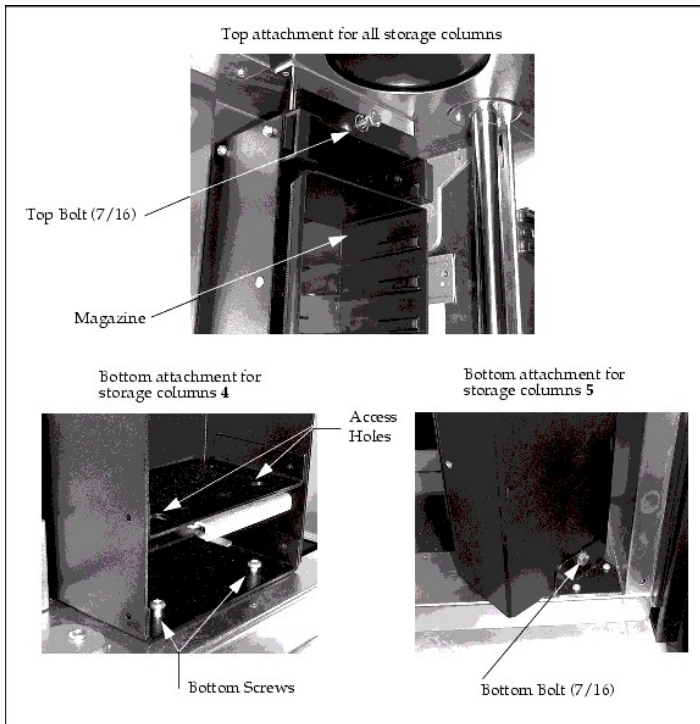


図 7. ストレージコラムの取り付け

ホストからのケーブル

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリは、68-ピン D-コネクタ使用の SCSI-3 P ケーブルを介して、SCSI-3 低電圧差動(LVD)に対応しています。

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリは、1 つの SCSI アダプタで構成されています。そのアダプタは SCSI バスに接続されており、このバスは各ライブラリと共に出荷されたターミネーターを使用して正しく終結させる必要があります。

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリは 1 バイト ワイドのプロトコルのみに論理的に対応できるので、ライブラリ SCSI ID 値は 0~7 の範囲内とする必要があります。

注: デフォルトのライブラリ SCSI ID は 0 (ゼロ)です。このデフォルト値は、新しい SCSI PCBA を取り付けした場合、またはマイクロコードの更新後に表示されます。

ターミネーター電源は、ホスト SCSI インターフェイス PCBA 上のジャンパを介して提供されます。ターミネーター電源ジャンパの場所については、[ホスト SCSI インターフェイス PCBA](#) を参照してください。

注意: デフォルト設定としてターミネーター電源を提供するために、工場でジャンパを取り付け済みにしてあります。

ホストからテープドライブへ

希望の構成にしたがって、ホストケーブルをテープドライブに取り付けます。ホストシステムからライブラリおよびテープドライブへの SCSI ケーブル接続例は、[図 8](#)に示されています。

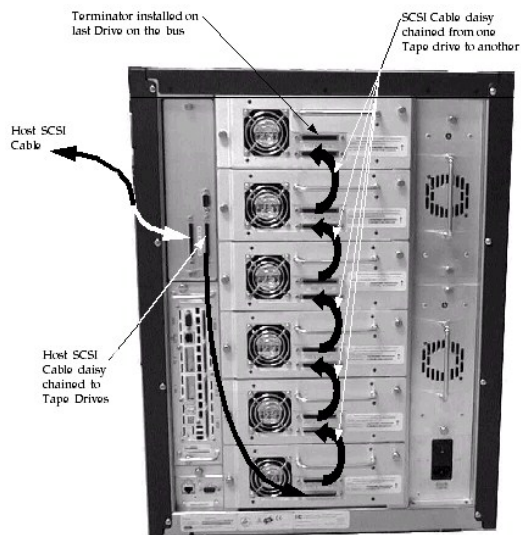


図 8. ホストからのSCSIケーブルの接続

ホストからライブラリへ

ステップ 1 ケーブルをホストから Dell PowerVault 136T LTO ライブラリの後部まで配線します。

ステップ 2 ホスト SCSI インターフェイス PCBA 上にある 2 個の SCSI コネクタの 1 つに、ケーブルをまっすぐに入れて接続します。

ステップ 3 これが SCSI バス上の最後のデバイスである場合、その SCSI PCBA のもう 1 つのコネクタ上に LVD ターミネーターを取り付けます。

ステップ 4 チェーン中に次のデバイスを取り付ける場合、ホスト SCSI インターフェイス PCBA のもう 1 つのコネクタに次のケーブルを取り付けます。

取り付けの確認

ステップ 1 ライブラリのストレージ領域にカートリッジが最低 1 つあることを確認します。ライブラリの正面ドアが閉まっていることを確認します。

ステップ 2 ライブラリ後部にある AC 入力電源モジュールのメインスイッチがオンになっていることを確認します。

ステップ 3 Dell PowerVault 136T LTO ライブラリ正面ドア上にある電源オン/オフスイッチをオンにします。

ステップ 4 ライブラリ ファームウェアが初期化され、ティーチング/在庫管理プロセスが自動的に開始されます。このプロセスは、ライブラリに取り付けられたドライブ数により、数分かかります。

ステップ 5 オペレーターパネルからライブラリ デモを実行します (Main Menu >More >Service >Library>Exercise >Demo)。

- 1 このテストは最低 5 サイクル実行してください。

[目次のページに戻る](#)

[目次のページに戻る](#)

イントロダクション: Dell™ PowerVault™ 136T LTO ライブラリ ユーザー ガイド

 [対象読者](#)

 [サポート](#)

 [規制に関する通知](#)

 [準拠の宣言](#)

対象読者

このガイドの対象読者は、オペレーター、訓練を受けた顧客専門担当者、および Dell PowerVault 136T ライブラリに関わるサービスパートナーのメンテナンス担当社員です。

⚠注意: 訓練を受けていない人間が Dell PowerVault 136T LTO ライブラリの操作を試みると、危険な状態が起きる可能性があります。その結果は、電気接続との接触による重症または致命的な負傷になる可能性があります。したがって、PowerVault 136T LTO ライブラリで作業するすべての人間が、Dell からの入門トレーニングを受講することをお勧めします。

オペレーターは、資格を持った社員のみが次の手順を機器に対して実行するように、確認する責任があります。

- 1 操作の準備
- 1 セットアップ
- 1 起動
- 1 操作
- 1 停止
- 1 メンテナンス
- 1 再起動

⚠注意: 一部の作業および修正は、適切な資格および訓練を受けている場合のみ実行できます。最重要項目として、機器を使って作業する前に、[安全](#)に関する規則を理解し、厳守する必要があります。

サポート

この文書を読んでも問題を解決できなかった場合、または推奨のトレーニングをご希望の場合は、Dell テクニカルサポート センターまでご連絡ください。

Dell にお問い合わせいただいた場合、Dell では多数のヘルプツールを提供しています。これらのツールについては、[ヘルプの使い方](#)セクションに記載されています。

規制に関する通知

連邦通信委員会 (FCC) A 級通知 (15条105)

この装置は、FCC 部に準じ、A 級デジタル・デバイスへの制限規格に従って検査され、その規定に達しています。これらの制限規格は、この装置が商業用に使用される時の、通信妨害に対する合理的な保護規定のために立案されています。この装置は無線電周波数エネルギーを発生・利用し、それを放射することもあります。取扱説明書に従って設置・使用しない場合は、無線通信妨害を発生させることがあります。居住地域内でのこの装置の使用は、通信妨害を発生させる可能性があります。この場合の妨害補正費用は、ユーザーに請求されます。

FCC 規制に従い、デバイスまたはこの文書で扱われているデバイスについて、以下の情報が提供されています。

製品名: Dell PowerVault 136T LTO ライブラリ
モデル番号: SC100
会社名: デルコンピュータ・コーポレーション

One Dell Way
Round Rock, TX 78682
512-338-4400

IC 通知 (カナダのみ)

この A 級デジタル装置は、カナダの ICES-003 に従っています。

Cet appareil numérique de la classe A est conforme • la norme NMB-003 du Canada.

⚠注意: カナダ工業規定は、この装置の変更や改修について、デル・コンピュータ社により認可明示されていない場合は、ユーザーの作動権限が無効であることを規定しています。

EN 55022 準拠 (チェコ共和国のみ)

このデバイスは、EN 55022の A 区分 (最高 30 メートルまでの保護半径) に属すると仕様ラベルに別途記載されていない限り、EN 55022 の B 区分に所属するものです。このデバイスのユーザーは、電信電話またはその他のデバイスへの妨害源を除去するために必要なすべての手続を実行する義務があります。

Pokud není na typovém štítku počítače uvedeno, že spadá do třídy A podle EN 55022, spadá automaticky do třídy B podle EN 55022. Pro zařízení zařazená do třídy A (ochranné pásmo 30m) podle EN 55022 platí následující. Dojde-li k rušení telekomunikačních nebo jiných zařízení, je uživatel povinen provést taková opatření, aby rušení odstranil.

CE 通知

シンボル **CE** によるマークは、このテープライブラリがヨーロッパ共同体の EMC (電磁気互換性) 指向性に準拠していることを示すものです。前述のマークは、このテープライブラリが次の技術水準を満たすことまたはそれ以上であることを示すものです。

- 1 EN 55022 情報技術装置の無線電信妨害特性測定の制限規格と方法。
 - このシステムは、EN50022 A級デバイスです。
- 1 EN 50081-1 電磁気互換性—汎用送波基準第1部: 宅地用、商用、および軽工業用。
- 1 EN 55024:1998 年情報技術装置-免除特性 - 測定制限規格と測定方法。
- 1 EN 61000-3-2 調波電流送波試験。
 - デバイス B 級。
- 1 EN 61000-3-3 電圧変動および低電圧供給系試験におけるゆらぎ現象。
- 1 EN 61000-4-2 静電気放出免責試験。重度レベル 3。
- 1 EN 61000-4-3 放出されるラジオ周波、電磁界免責試験。
 - 重度レベル 2。
- 1 EN 61000-4-4 電気の高速度瞬間的/バースト免責試験。
 - 重度レベル 2。
- 1 EN 61000-4-5 サージ免責試験。
 - 重度レベル 2。
- 1 EN 61000-4-6 ラジオ周波界により起こされる伝導妨害に対する免責。
 - 重度レベル 2。
- 1 EN 61000-4-8 電源周波磁界面積試験。
 - 重度レベル 2。
- 1 EN 61000-4-11 電圧落下、短時間断続、電圧変動免責試験。
 - 性能基準 B および C。
- 1 ENV 50204 デジタルラジオ電話からの放射電磁界。
- 1 EN 60950:1992 + Amd.1:1993 + Amd.2:1993、Amd.3:1995考慮
- 1 電気業機器を含む情報技術機器の安全性。

前述の基準に基づく準拠の宣言は実施済みであり、その記録はデルコンピュータ・コーポレーションにおいて保管されています。

VCCI 通知 (日本のみ)

これは、情報技術装置による妨害のための自主管理理事会 (VCCI) の規格に基づいた A 級製品です。この装置が国内で使用される場合は、無線通信妨害が発生する可能性があります。その場合は、ユーザーの補正処置が要求されることがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

注: VCCI 規制では、デルコンピュータ・コーポレーションにより明示的に許可されていない変更または修正を行った場合、お客様が本機器を使用する権限を無効にできる旨が規定されています。

準拠の宣言

準拠の宣言

EN 45014 に基づく

製造元名: デルコンピュータ・コーポレーション

製造元の住所: One Dell Way
Round Rock, TX 78682

USA

は、次の製品:

製品: Dell PowerVault 136T LTO ライブラリ

モデル番号: SC100

が次の国際基準に準拠することを宣言する。

送波: EN 50081-1:1992, EN-55022:1998 A 級

免責: EN 55024:1998

安全: EN 60950/A11:1997

品質: ISO 9001

補足情報:

署名: 記録にある署名

姓名:

役職:

日付:

場所: Round Rock, TX USA

[目次のページに戻る](#)


[目次のページに戻る](#)

メニューの使用: Dell™ PowerVault™ 136T LTO ライブラリ ユーザーガイド

- [オペレーターパネルメニューの使用](#)
- [オンライン/オフラインの選択](#)
- [コマンドメニューの選択](#)
- [サービスメニューの選択](#)
- [メインメニューの選択](#)
- [ステータスメニューの選択](#)
- [セットアップメニューの選択](#)
- [メニューの選択について](#)

オペレーターパネルは、PowerVault 136T LTO ライブラリに対し、オペレーターインターフェースによって操作されるメニューを提供します。メニューからパラメータやステータスおよび現在作動中の PowerVault 136T LTO ライブラリのパラメータについての情報の選択ができます。

オペレーターパネルメニューの使用

 **注:** 情報メニューは動的にはアップデートされません。変更を表示するためには、メニューを選択し直してください。

各メニューには、オペレーターパネル押しボタンでアクセスすることができます。押しボタンの全てのイラストおよび定義に関しては、[オペレーターパネル](#)を参照してください。メニューツリーマッピングのイラストは、[図 1](#)にあります。実際のメニューに関しては、[メインメニューの選択](#)を参照してください。

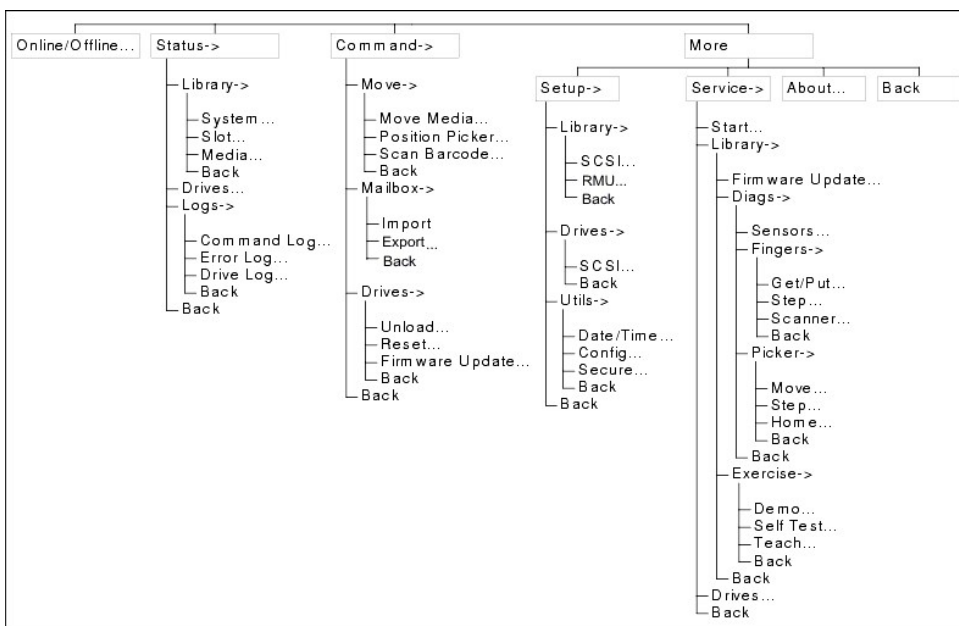



図 1. メニューツリー

メニューガイドライン

すべてのメニューおよび各オプションは、機能ごとにグループ化されています。いくつかのオプションには特殊な記号がついています。ソフトキーメニューのタイトルの後についている特殊な記号は下記のとおりです。

- 1 他メニューへつながるキーワードには小さな黒い矢印がついています。例：
- 1 ダイアログボックスへつながるキーワードには間隔の狭い3つの点がついています。例：...
- 1 すぐにアクションへつながるキーワードには、何もついていません。

メニュー、サブメニュー、ダイアログおよびスクリーン上のほとんどのフィールドは読み取り専用です。読み取り/書き込みのできるフィールドは反転映像で現れます。エクスポートの作業中、カートリッジの選択もまた反転映像によって表示されます。例 

オフライン状態を必要とするコマンドの使用

Command and Services ソフトキー以下にリストされているコマンドを実行するには、ライブラリがオフライン状態である必要があります。ライブラリがオンライン状態でそのようなコマンドを実行しようとした場合、オペレーターは、下記のダイアログによってライブラリをオフラインにするよう要求されます。下記に示された注ボックスは、適切なメニュー記述ページで見つけることができます。PowerVault 136T LTO ライブラリがオフラインになると、初期コマンドが実行されます。


 **注:** このコマンドを使用するには、ライブラリのドアが閉じられた状態のオフラインである必要があります。



図 2. ダイアログの変更

2つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Change** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[図 3](#)が表示されます。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、作業は取り消され、初期メニューが表示されます。

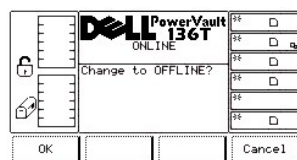


図 3. オフライン確認ダイアログ

2つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 2 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[図 4](#)が表示されます。ライブラリはオフラインになります。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、作業は取り消され、初期メニューが表示されます。

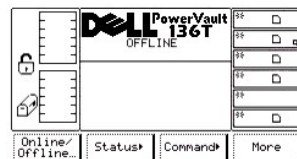



図 4. 確認完了ダイアログ

コマンドおよびエラーログの収集

何らかの問題からサービス処置コード (SAC) が発生した場合、コマンドおよびエラーログを収集してください。ログは問題解決のため、テクニカルサポートにより使用されます。ログを検索するには3つの手順があります。

 **注:** *RMU* を使用した手順が推奨されます。[診断ファイルダイアログ](#) を参照してください。

他の2つの手順は下記のとおりです:

Windows 稼働の PC で、直進シリアルケーブルのついた RS-232 ポートを使用してください。

 **注:** ヌル・モデムケーブルはこの手順では使用できません。

ステップ 1 PC から出ているシリアルケーブルを、ライブラリホスト SCSI PCBA にあるシリアルポートに接続します。[図 5](#)を参照してください。

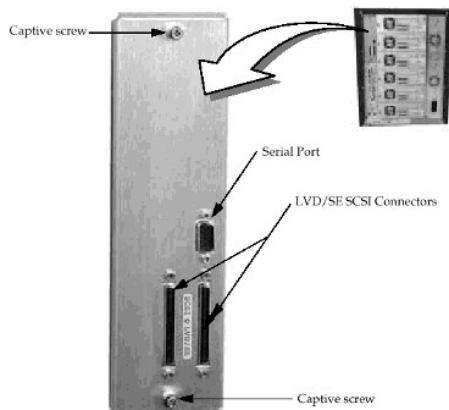


図 5. ホスト SCSI インターフェース PCBA

ステップ 2 HyperTerminal プログラムを設定および実行する手順に関しては、HyperTerminal ドキュメンテーションを参照してください。

ステップ 3 下記のパラメータで HyperTerminal を設定します：

- 1 一秒当たりのビット 38400
- 1 データビット 8
- 1 パリティ なし
- 1 ストップビット 1
- 1 フローコントロール なし
- 1 エミュレーション ANSI

ステップ 4 HyperTerminal を実行します。

ステップ 5 ログを PC で印刷するには、[コマンドログダイアログ](#)あるいは[エラー ログダイアログ](#)に示されている手順を使用してください。[Dell 顧客サポート](#)を受けるためにログは保存してください。

HyperTerminal が使用できない場合、[コマンドログダイアログ](#)もしくは[エラーログダイアログ](#)を使用して、手動でできるだけ多くのログを検索し、コピーしてください。

オペレーター介入メッセージ

らかの問題によりオペレーター介入メッセージが現われた場合は、メッセージにあるパラメータの説明に関して[表 2](#)を参照してください。

通常作業の間、オペレーター情報メッセージが表示されます。利用可能なメッセージリストに関しては、[表 3](#)を参照してください。

メインメニューの選択

電源を入れた後、最初にインタラクティブなメインメニューが表示されます。メインメニューは、初期画面と交替画面で構成されています。その後のメニューとオプションのすべてをメインメニューから選択することができます。8つのオプションが利用可能であり、そのうちの4つのオプションが常に提示されています。初期画面のイラストに関しては[図 6](#)を、メインメニューの交替画面に関しては[図 7](#)を参照してください。

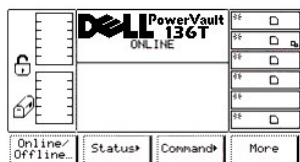


図 6. メインメニュー (初期画面)

More ソフトキーの下にあるボタンを押すと、メインメニュー (交替画面) が表示されます。

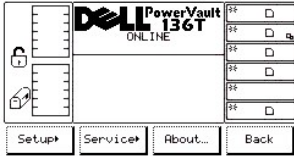


図 7. メインメニュー (交替画面)

Back ソフトキーの下にあるボタンを押すと、メインメニュー (初期画面) が表示されます。選択肢から選ぶには、希望の選択ソフトキーの下にあるボタンを押してください。

選択された作業が行われ、適切なメニューが表示されます。

オンライン/オフラインの選択

オンライン/オフラインの選択は、主として、立ち上げ後、シャットダウン前あるいは診断作業の前に、PowerVault 136T LTO ライブラリの作業状態を切り換えるために使用されます。手順に従うことで、オンライン/オフラインをメインメニュー (初期画面) から選択できます。

ステップ 1 オンライン/オフライン ソフトキー位置の下にあるボタンを押します。PowerVault 136T LTO ライブラリは、オフラインからオンライン状態に、あるいはオンラインからオフライン状態に変わります。メニューのこのグループについては [オフライン状態を必要とするコマンドの使用](#) で説明されています。

ステータスメニューの選択

ステータスメニューは主として、多種の静的および動的作業の統計資料を提供するために利用されます。この手順に従うことで、ステータスをメインメニュー (初期画面) から選択できます。

ステップ 1 メインメニューのステータスソフトキーの下にあるボタンを押します。ステータスメニューが表示されます。このメニューでは 4 つの選択ができます。図 8 を参照してください。

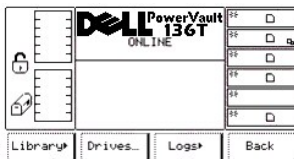


図 8. Main Menu > Status メニュー

4 つの選択肢の 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 2 希望のソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Library** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ライブラリサブメニュー](#)が表示されます。
- 1 **Drives** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ドライブダイアログ](#)が表示されます。
- 1 **Logs** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ログサブメニュー](#)が表示されます。
- 1 **Back** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[メインメニューの選択](#)が表示されます。

ライブラリサブメニュー

Library を選択すると、ライブラリサブメニューが表示されます。図 9 を参照してください。これは、特定のライブラリステータス オプションの収集です。このサブメニューでは 3 つの選択ができます。



図 9. Status > Library サブメニュー


3つの選択肢の1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望のソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 System ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[システムダイアログ](#)が表示されます。
- 1 Slot ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[スロットダイアログ](#)が表示されます。
- 1 Media ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[メディアダイアログ](#)が表示されます。
- 1 Back ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ステータスメニューの選択](#)が表示されます。

システムダイアログ

font face=" Arial, Helvetica, sans-serif">System を選択すると、システムダイアログが表示されます。[図 10](#)を参照してください。このオプションは、現在のライブラリの物理的および統計的特性を表示するために使用されます。このダイアログには2つのオプションがあります。

 **注:** すべてのフィールド値は読み取り専用です。

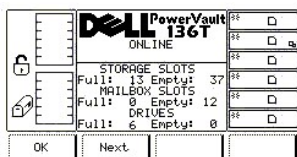


図 10. Status > Library > System ダイアログ

フィールド	値	説明
STORAGE SLOTS (ストレージスロット)	フル: 0 .. 72	使用されているスロットの数
	空き: 0 .. 72	空きスロットの数
MAILBOX SLOTS (メールボックススロット)	フル: 0 .. 12	使用されているスロットの数
	空き: 0 .. 12	空きスロットの数
DRIVES (ドライブ)	フル: 0 .. 6	使用されているドライブスロットの数
	空き: 0 .. 6	空きドライブスロットの数

2つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ライブラリサブメニュー](#)が表示されます。
- 1 Next ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[下記のダイアログ](#)が表示されます。[図 11](#)を参照してください。



図 11. Status > Library > System > Statistics ダイアログ

フィールド	値	説明
MOVES (移動)	0 .. 4,294,967,295	寿命期間中にスロットからスロットに移動できる数
MB accesses (MB アクセス)	0 .. 65535	寿命期間中にメールボックスドアを開いた数
Get retries (Get リトライ)	0 .. 65535	寿命期間中の Get での回復トライの数
Put retries (Put リトライ)	0 .. 65535	寿命期間中の Put での回復トライの数

Scan retries (Scan リトライ)	0 .. 65535	寿命期間中の Scan での回復トライの数
-----------------------------	------------	-----------------------

font face=" Arial, Helvetica, sans-serif">2 つの選択肢の 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 2 希望のソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ライブラリサブメニュー](#)が表示されます。
- 1 Next ソフトキーの下にある ボタンを押すと、[システムダイアログ](#)が表示されます。

スロットダイアログ

font face=" Arial, Helvetica, sans-serif">Slot を選択すると、スロットダイアログが表示されます。[図 12](#)を参照してください。このオプションは現在のスロットの物理的および統計的特性を表示するために使用されます。

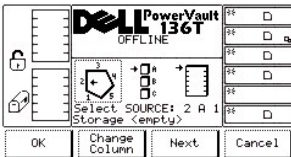



図 12. Status > Library> Slot ダイアログ

 **注:** <コラム、マガジンおよびスロットパラメータの選択はインタラクティブです。3 つのパラメータの組み合わせによってエレメントアドレスが生成されます。

4 つの選択肢からの 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すとソースパラメータが受け入れられ、[スロットステータス ダイアログ](#)が表示されます。
- 1 **Change Column** ソフトキー の下にあるボタンを選択すると、コラムインジケータが時計回りに次のコラムアドレスに動きます。希望するコラムが示されるまで繰り返してください。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、現在のソースパラメータはコラムからマガジンに変わり、マガジン変更ダイアログが表示されます。[図 13](#)を参照してください。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ライブラリサブメニュー](#)が表示されます。

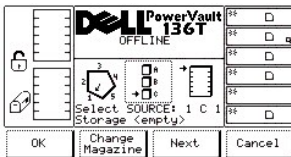



図 13. Status > Library > Slot > Change Magazine ダイアログ

ステップ 2 希望のソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、ソースパラメータが受け入れられ、[スロットステータス ダイアログ](#)が表示されます。
- 1 **Change Magazine** ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、マガジンインジケータは下向きに次のマガジンアドレスへ動きます。希望のマガジンが示されるまで繰り返してください。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、現在のソースパラメータはマガジンからスロットへ変わり、スロット変更ダイアログが表示されます。[図 14](#)を参照してください。

 **注:** 選択されたコラムエレメントがドライブ (コラム 3) の場合、スロットあるいはマガジンパラメータは使用できません。メニューは、ドライブパラメータから再びコラム変更パラメータに戻ります。

- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ライブラリサブメニュー](#)が表示されます。

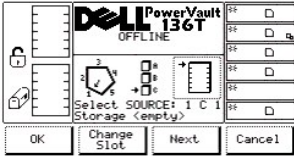


図 14. Status > Library > Slot > Change Slot ダイアログ

4つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 3 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OKソフトキーの下にあるボタンを押すと、ソースパラメータが受け入れられ、[スロットステータス ダイアログ](#)が表示されます。
- 1 Change Slot ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、スロットインジケータは下向きに次のスロットアドレスへ移ります。希望のスロットが指示されるまで繰り返してください。
- 1 Next ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、現在のソースパラメータは、スロットダイアログで示されているようにスロットからコラムに変わります。[図 12](#)を参照してください。
- 1 Cancel ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ライブラリサブメニュー](#)が表示されます。

スロットステータスダイアログ

OKを選択すると、スロットステータス ダイアログが表示されます。[図 15](#)を参照してください。この画面は現在のスロットの物理的および統計的特性を表示します。

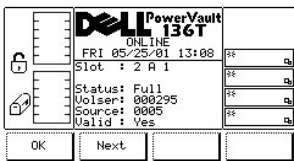


図 15. Status > Library > Slot > Slot Status ダイアログ

フィールド	値	説明
Slot (スロット)	1 .. 5	コラムにあるカートリッジの位置を示します。
	A, B, C	マガジン部分にあるカートリッジの位置を示します。
	1 .. 6	行にあるカートリッジの位置を示します。
Status (ステータス)	Empty (空き)	カートリッジが存在しません
	Full (フル)	カートリッジは存在します
Volser (Volser 番号)	0 .. 9, A .. Z	バーコード番号を提示します
Source (ソース)	なし	カートリッジの定位置を提示します
Valid (有効性)	Yes	スロットを使用できます
	No	スロットは使用できません

2つの選択肢からの1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

- 1 OKソフトキーの下にあるボタンを選択すると、[スロットダイアログ](#)が表示されます。
- 1 Nextソフトキーの下にあるボタンを選択すると、[スロット Get/Put ダイアログ](#)が表示されます。[図 16](#)を参照してください。

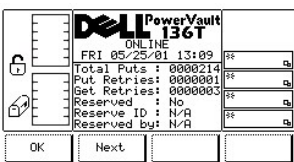


図 16. Status > Library > Slot > Slot Get/Put ダイアログ

フィールド	値	説明
-------	---	----

Total Put (Put の合計)	0000000 .. 9999999	font face=" Arial, Helvetica, sans-serif">put 作業の合計数を提示します
Put Retries (Put リトライ)	0000000 .. 9999999	put リトライ作業の合計数を提示します
Get Retries (Get リトライ)	0000000 .. 9999999	get リトライ作業の合計数を提示します
Reserved (予約済み)	Yes	スロットが SCSI ホストによって予約済みであることを提示します
	No	スロットが予約済みでないことを提示します
Reserve ID (予約 ID)	00 .. 72	予約 ID を提示します
Reserved by (予約者)		予約しているホストの ID を提示します

2つの選択肢からの1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 2 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、[スロットダイアログ](#)が表示されます。
- 1 Next ソフトキーの下にある ボタンを選択すると、予約済みスロットダイアログが表示されます。[図 17](#)を参照してください。

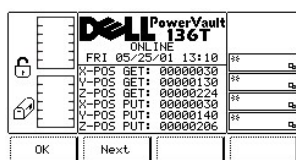


図 17. Status >Library > Slot > Reserved Slot ダイアログ

メモ: X, Y, Z は、ピッカーがカートリッジを選択するための、Get および Put スロットの座標です。この情報は、Dell サービス技術者により使用されます。

2つの選択肢からの1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 3 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、[スロットダイアログ](#)が表示されます。
- 1 Next ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、[スロットステータス ダイアログ](#)が表示されます。[図 15](#)を参照してください。

メディアダイアログ

Media を選択すると、メディアダイアログが表示されます。[図 18](#)を参照してください。このオプションは、各テープの volser 番号と現在の物理的 コラム、マガジン、スロットパラメータとセル番号を使用して、選択した LTO テープの詳細を表示するために使用されます。このダイアログには 4 つのオプションがあります。

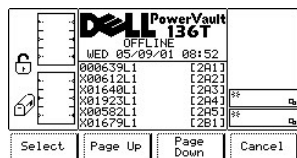


図 18. Status >Library > Media ダイアログ

4つの選択肢の1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望のソフトウェアキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Select** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、選択したフィールドがアクティブになります。[図 19](#)を参照してください。
- 1 **Page Up** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のページが前のページにスクロールされて戻ります。
- 1 **Page Down** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のページがスクロールされて次のページに進みます。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ライブラリサブメニュー](#)が表示されなくなります。

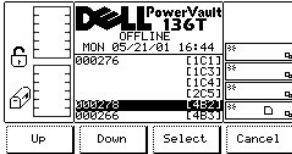


図 19. Status >Library > Media Selection ダイアログ

4つの選択肢の1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 2 希望するソフトキーの下のボタンを押します。

- 1 **Up** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在アクティブなフィールドが1つ上のフィールドに移動します。
- 1 **Down** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在アクティブなフィールドが1つ下のフィールドに移動します。
- 1 **Select** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在アクティブなフィールドの詳細が表示されます。 [図 20](#) を参照してください。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[メディアダイアログ](#) が表示されます。

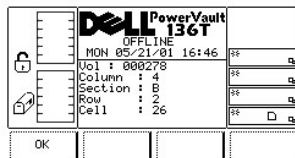


図 20. Status >Library > Media Selection > Media Details ダイアログ

フィールド	値	説明
Volser (Volser 番号)	0 .. 9, A .. Z	バーコード番号を提示します。
Column	1 .. 5	コラムにあるカートリッジの位置を提示します。
Section	A, B, C	マガジン内にあるカートリッジの位置を提示します。
Row	1 .. 6	スロットにあるカートリッジの位置を提示します。
Cell		スロットにあるカートリッジの位置を提示します。これは、Dell サービス技術者により使用される内部的な番号です。

選択するには、次のステップに従います。

ステップ 3 希望のソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[メディアダイアログ](#) が表示されます。

ドライブダイアログ

font face=" Arial, Helvetica, sans-serif">Drive を選択すると、ドライブダイアログが表示されます。 [図 18](#) を参照してください。このオプションは現在のドライブの物理的および統計的特性を表示するために使用されます。このダイアログには 2 つのオプションがあります。 >

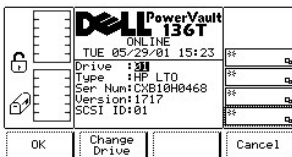


図 21. Status > Drives ダイアログ

フィールド	値	説明
Drive (ドライブ)	01 .. 06	現在選択されているドライブの番号
Type (タイプ)	HP LTO	現在選択されているドライブのタイプ

Ser Num (シリアル番号)	A..Z, 0..9	現在選択されているドライブのシリアル番号
Firmware (ファームウェア)	A..Z, 0..9	表示されたドライブに取り付けられたファームウェアのレベル
SCSI ID	00..15	現在選択されているドライブの SCSI ID

3つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下のボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下のボタンを押すと、[ステータスメニューの選択](#)が表示されます。
- 1 **Change Drive** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、インストールされた次のドライブに関する情報が表示されます。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ステータスメニューの選択](#)が表示されます。

ログサブメニュー

Logs を選択した場合、ログサブメニューが表示されます。[図 19](#)を参照してください。サブメニューは、多種のログ情報を提供します。このサブメニューでは、4つの選択肢ができます。

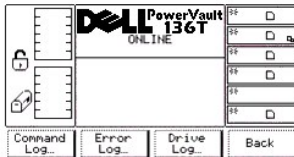


図 22. Status > Logs サブメニュー

4つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Command Log** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[コマンドログダイアログ](#)が表示されます。
- 1 **Error Log** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[エラーログダイアログ](#)が表示されます。
- 1 **Drive Log** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ドライブログダイアログ](#)が表示されます。
- 1 **Back** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ステータスメニューの選択](#)が表示されます。

コマンドログダイアログ

コマンドを選択すると、コマンドログが表示されます。[図 23](#)を参照してください。このオプションは、ログをシリアルポートへダンプするオプション付きのライブラリ作業の履歴ログを表示するために使用されます。このダイアログでは、4つの選択肢ができます。

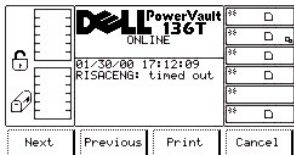


Figure 23. Status > Logs > Command Log ダイアログ

フィールド	値	説明
日付	月 / 日 / 年	エラーの日付
時間	時 : 分 : 秒	エラーの時間
メッセージ	テキスト	このメッセージは Dell 顧客サポート に対してのみ有効です

ログ表示は最新の入力から始まります。最大 50 の入力まで保存されます。

4つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、次のコマンドが表示されます。

- 1 **Previous** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、前のコマンドが表示されます。
- 1 **Print** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[印刷ダイアログ](#) が表示されます。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ログサブメニュー](#) が表示されます。

印刷ダイアログ

Print が選択されると、印刷ダイアログが表示されます。[図 24](#) を参照してください。このオプションは、ライブラリ作業の履歴ログを印刷するために使用されます。このダイアログには 2 つの選択肢があります。



図 24. Status > Logs > Command Log > Print ダイアログ

2 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、コマンドログはシリアルポートに出力されます。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[コマンドログ ダイアログ](#) が表示されます。

エラーログダイアログ

Error Log を選択すると、エラーログダイアログが表示されます。[図 25](#) を参照してください。このオプションは、ログをシリアルポートにダンプするという選択によって発生したエラー状態の履歴ログを表示するために使用されます。

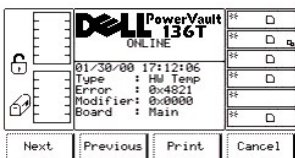


図 25. Status > Logs > Error Log ダイアログ

フィールド	値	説明
Date (日付)	月 / 日 / 年	エラーの日付
Time (時間)	時 : 分 : 秒	エラーの時間
Type (タイプ)	テキスト	このメッセージは Dell 顧客サポート に対してのみ有効です
Error (エラー)	16 進数番号	このメッセージは Dell 顧客サポート に対してのみ有効です
Modifier (モディファイヤー)	16 進数番号	このメッセージは Dell 顧客サポート に対してのみ有効です
Board (ボード)	全ての PCBA	エラーと関連する PCBA

ログの表示は最新の入力から始まります。最大 213 の入力が保存されます。

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、次のエラーが表示されます。
- 1 **Previous** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、前のエラーが表示されます。
- 1 **Print** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[印刷ダイアログ](#) が表示されます。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ログサブメニュー](#) が表示されます。

印刷ダイアログ

Print を選択すると、印刷ダイアログが表示されます。[図 26](#) を参照してください。このオプションは、ライブラリエラーの履歴ログを印刷するために使用されます。このダイアログでは 2 つの選択ができます。



図 26. Status > Logs > Error Log > Print ダイアログ

2つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OKソフトキーの下にあるボタンを押すと、エラーログはシリアルポートに出力されます。
- 1 Cancelソフトキーの下にあるボタンを押すと、[エラーログダイアログ](#)が表示されます。

<ドライブログダイアログ

Drive log を選択した場合、ドライブダイアログの選択が表示されます。[図 27](#)を参照してください。このオプションは、発生したエラー状態の履歴ログを表示するために使用されます。RMU 経由でドライブログレポートにアクセスするためには、[診断ファイルダイアログ](#)を参照してください。



図 27. Status > Logs > Drive Log > Select Drive ダイアログ

フィールド	値	説明
Drive (ドライブ)	01 .. 06	表示されるログのドライブ番号

3つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OKソフトキーの下にあるボタンを押すと、ドライブパラメータが受け入れられ、ドライブログダイアログが表示されます。[図 28](#)を参照してください。
- 1 Change Driveソフトキーの下にあるボタンを押すと、ドライブフィールドは増加します。
- 1 Cancelソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ログサブメニュー](#)が表示されます。

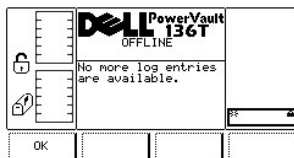


図 28. Status > Logs > Drive Log ダイアログ

コマンドメニューの選択

コマンドメニューの選択 コマンドメニューは、主としてライブラリを動作コマンドレベルで操作するために使用されます。下記の手順に従ってコマンドをメインメニューから選択できます。

 **注:** コマンドメニューの選択以下にリストされているコマンドは、オフライン状態が必要となります。詳細については、[オフライン状態を必要とするコマンドの使用](#)を参照してください。

ステップ 1 メインメニューから、コマンドソフトキーの下にあるボタンを押してください。

コマンドメニューが表示されます。このメニューでは 4 つの選択ができます。図 29 を参照してください。

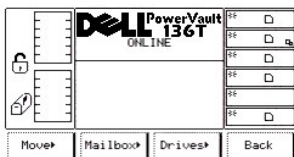


図 29. Main Menu > Command メニュー

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 2 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 Move ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[移動サブメニュー](#)が表示されます。
- 1 Mail Box ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[メールボックスサブメニュー](#)が表示されます。
- 1 Drive ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ドライブサブメニュー](#)が表示されます。
- 1 Back ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[メインメニューの選択](#)が表示されます。

移動サブメニュー

Move を選択すると、移動サブメニューが表示されます。図 30 を参照してください。このサブメニューには、移動オプションのグループが含まれています。サブメニューでは 4 つの選択をすることができます。

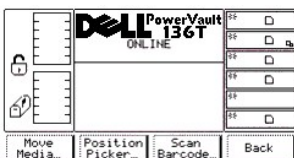


図 30. Command > Move サブメニュー

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 Move Media ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[メディアの移動ダイアログ](#)が表示されます。
- 1 Position Picker ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ポジションピッカーダイアログ](#)が表示されます。
- 1 Scan Barcode ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[バーコードのスキニングダイアログ](#)が表示されます。
- 1 Back ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[コマンドメニューの選択](#)が表示されます。

メディアの移動ダイアログ

Move Media を選択すると、Source Move Media Dialog (メディア移動ソースダイアログ) が表示されます。図 31 を参照してください。このオプションはカートリッジをひとつの元素位置から他の元素位置に移動させます。

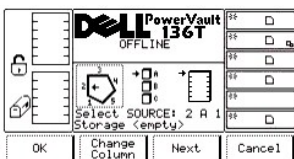


図 31. Command > Move > Move Media > Source Move Media ダイアログ

 注: コラム、マガジンおよびスロットパラメータの選択はインタラクティブです。3 つのパラメータの組み合わせが元素アドレスを生成します。

4 つの選択肢から 1 つを選択するには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望のソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、ソースパラメータが受け入れられ、[Destination Move Media \(メディア移動行先\) ダイアログ](#)が表示さ

れます。

- 1 **Change Column** ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、コラムインジケータは時計回りに次のコラムアドレスに移ります。希望のコラムが表示されるまで繰り返してください。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、現在のソースパラメータはコラムからマガジンに変わり、[マガジン変更ダイアログ](#)が表示されます。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[移動サブメニュー](#)が表示されます。

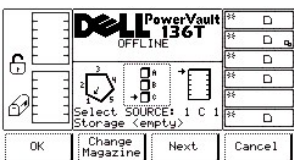



図 32. Command > Move > Move Media > Change Magazine ダイアログ

ステップ 2 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、ソースパラメータが受け入れられ、[メディア移動行先ダイアログ](#)が表示されます。
- 1 **Change Magazine** ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、マガジンインジケータが下向きに次のマガジンアドレスに移ります。希望のマガジンが表示されるまで繰り返してください。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、現在のソースパラメータがマガジンからスロットに変わり、[スロット変更ダイアログ](#)が表示されます。

 **注:** 選択されたコラム元素がドライブ（コラム 3）の場合、利用可能なスロットあるいはマガジンパラメータはありません。メニューはドライブパラメータからコラム変更パラメータに戻ります。

- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[移動サブメニュー](#)が表示されます。

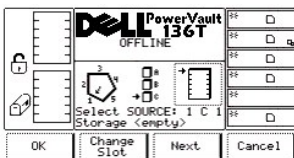


図 33. Command > Move > Move Media > Change Slot ダイアログ

4 つの選択肢から 1 つを選択するには、下記のステップに従ってください。

ステップ 3 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、ソースパラメータが受け入れられ、[メディア移動行先ダイアログ](#)が表示されます。
- 1 **Change Slot** ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、スロットインジケータが下向きに次のスロットアドレスに移ります。希望するスロットが表示されるまで繰り返してください。
- 1 font face="Arial, Helvetica, sans-serif">**Next** ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、現在のソースパラメータは、[メディア移動ソースダイアログ](#)で示されているようにスロットからコラムへ変わります。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[移動サブメニュー](#)が表示されます。

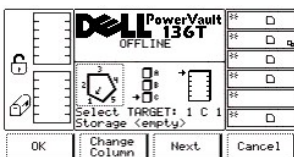


図 34. Command > Move > Move Media > Destination Move Media ダイアログ

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 4 行先移動元素アドレスを確立するために、ソース移動手順の ステップ 1 から ステップ 3 を繰り返してください。

- 1 カートリッジは、選択された元素アドレス位置から、選択された行先元素アドレス位置に移動されます。

ポジションピッカーダイアログ

Position picker を選択すると、ポジションピッカー ダイアログが表示されます。図 35 を参照してください。このオプションは、特定の元素の前にあるピッカーの位置を定めます。

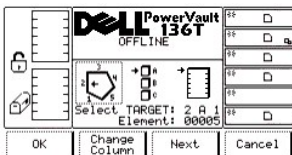


図 35. Command > Move > Position Picker ダイアログ

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、ステップに従ってください。

注: コラム、マガジンおよびスロットパラメータの選択はインタラクティブです。3 つのパラメータの組み合わせが元素アドレスを生成します。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にある ボタンを押すと、ソースパラメータが受け入れられ、ピッカーが選択された元素アドレス位置に移動します。
- 1 Change Column ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、コラムインジケータが時計回りに次のコラムアドレスに移ります。希望するソフトキーが指し示されるまで繰り返してください。
- 1 Next ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、現在のソースパラメータはコラムからマガジンへ変わり、マガジンの変更ダイアログが表示されます。図 36 を参照してください。
- 1 Cancel ソフトキーの下にあるボタンを押すと、移動サブメニューが表示されます。

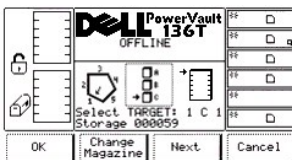


図 36. Command > Move > Position Picker > Change Magazine ダイアログ

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 2 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、ソースパラメータが受け入れられ、ピッカーが選択された元素アドレス位置に移動します。
- 1 Change Magazine ソフトキーの下にあるボタンを選択した場合、マガジンインジケータが下向きに次のマガジンアドレスに移ります。希望のマガジンが指し示されるまで繰り返してください。
- 1 Next ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、現在のソースパラメータはマガジンからスロットへ変わり、スロット変更ダイアログが表示されます。図 37 を参照してください。

注: 選択されたコラム元素がドライブ（コラム 3）の場合は、スロットやマガジンパラメータは利用できません。メニューは、ドライブパラメータからコラムの変更パラメータへ戻ります。

- 1 Cancel ソフトキーの下にあるボタンを押すと、移動サブメニューが表示されます。

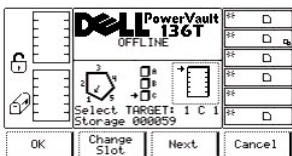



図 37. Command > Move > Position Picker > Change Slot ダイアログ

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 3 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、ソースパラメータが受け入れられ、ピッカーが選択されたエレメントアドレスに移動します。
- 1 **Change Slot** ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、スロットインジケーターが下向きに次のスロットアドレスに移ります。希望するスロットが指し示されるまで繰り返してください。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、現在のパラメータは、ポジションピッカー ダイアログで示されるようにスロットからコラムに変わります。 [図 35](#) を参照してください。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、 [移動サブメニュー](#) が表示されます。

バーコードのスキニングダイアログ

 **注:** Dell 提供のバーコードレベルを使用することによって、理想的なスキニング結果が得られます。

Scan Barcode を選択すると、バーコードスキャン ダイアログが表示されます。 [図 38](#) を参照してください。このオプションは、スロットの範囲内での在庫管理を行います。

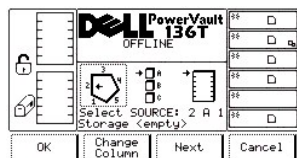



図 38. Command > Move > Scan Barcode ダイアログ

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

 **注:** コラム、マガジンおよびスロットパラメータの選択はインタラクティブです。3 つのパラメータの組み合わせが位置座標を生成します。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、フィールドが受け入れられ、続きのダイアログが表示されます。 [図 41](#) を参照してください。
- 1 **Change Column** ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、コラムインジケーターが時計回りに次のコラムアドレスに移ります。希望するコラムが指し示されるまで繰り返してください。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、現在のソースパラメータはコラムからマガジンに変わり、マガジン変更ダイアログが表示されます。 [図 39](#) を参照してください。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、 [移動サブメニュー](#) が表示されます。

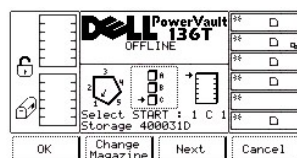



図 39. Command > Move > Scan Barcode > Change Magazine ダイアログ

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 2 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、フィールドが受け入れられ、続きのダイアログが表示されます。 [図 41](#) を参照してください。
- 1 **Change Magazine** ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、マガジンインジケーターが下向きに次のマガジンアドレスに移ります。希望するマガジンが示されるまで繰り返してください。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、現在のソースパラメータはマガジンからスロットに変わり、スロット変更ダイアログが表示されます。 [図 40](#) を参照してください。

 **注:** 選択されたコラムエレメントがドライブ（コラム 3）の場合、スロットあるいはマガジンパラメータは使用できません。メニューはドライブパラメータからコラム変更パラメータに戻ります。

- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、 [移動サブメニュー](#) が表示されます。

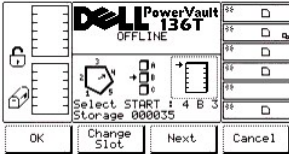


図 40. Command > Move > Scan Barcode > Change Slot ダイアログ

4つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 3 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OKソフトキーの下にあるボタンを押すと、フィールドが受け入れられ、スロットの選択ダイアログが表示されます。図 41 を参照してください。
- 1 Change Slot ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、スロットインジケータが下向きに次のスロットアドレスに移ります。希望するスロットが表示されるまで繰り返してください。
- 1 Next ソフトキーの下にあるボタンを選択すると、現在のソースパラメータは、バーコードスキャンダイアログで示されるようにスロットからコラムに変わります。図 38 まで戻って参照してください。
- 1 Cancel ソフトキーの下にあるボタンを押すと、移動サブメニューが表示されます。

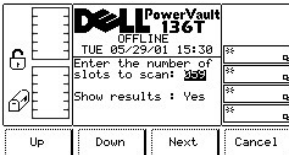


図 41. Command > Move > Scan Barcode > Select Slots ダイアログ

フィールド	値	説明
Slots to Scan (スキャンするスロット)	0 .. 72	スキャンするスロットの番号
Show Results (結果の提示)	Yes	スキャンの結果の表示
	No	スキャンの結果を表示しない

4つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 Up ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドの値が増加します。
- 1 Down ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドの値は減少します。
- 1 Next ソフトキーの下にあるボタンを押すと、リストの次のフィールドはアクティブフィールドになります。図 42 を参照してください。
- 1 Cancel ソフトキーの下にあるボタンを押すと、移動サブメニューが表示されます。

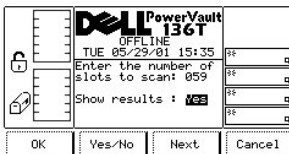


図 42. Command > Move > Scan Barcode > Confirm ダイアログ

フィールド	値	説明
Show Results (結果の提示)	Yes	スキャンの結果の表示
	No	スキャンの結果を表示しない

4つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 <OKソフトキーの下にあるボタンを押すと、フィールドが受け入れられ、続きのダイアログが表示されます。図 43 と 図 44 を参照してください。

しい。

- 1 **Yes/No** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドの値が切り替わります。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、リストの次のフィールドはアクティブフィールドになります。 [図 41](#) に戻って参照してください。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[移動サブメニュー](#) が表示されます。



図 43. Command > Move > Scan Barcode > Progress ダイアログ

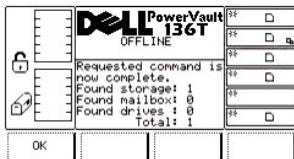


図 44. Command > Move > Scan Barcode > Completion ダイアログ

メールボックスサブメニュー

Mailbox を選択すると、メールボックスサブメニューが表示されます。 [図 45](#) を参照してください。このサブメニューは、カートリッジをライブラリにインポート、あるいはカートリッジからエクスポートします。このサブメニューでは 3 つの選択ができます。

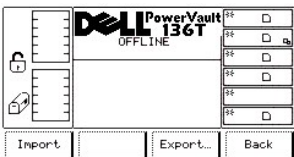


図 45. Command > Mailbox Import/Export ダイアログ

3 つの選択肢から 1 つを選択するには、次のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Import** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[インポート画面](#) が表示されます。
- 1 **Export** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[エクスポートダイアログ](#) が表示されます。
- 1 **Back** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[コマンドメニューの選択](#) が表示されます。

インポート画面

Import を選択すると、インポート画面が表示されます。 [図 46](#) を参照してください。この画面では、カートリッジをライブラリにインポートするための初期作業を行うことができます。

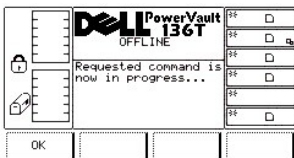


図 46. Command > Mailbox > Import > Command in Process 画面

ピッカーは、カートリッジを空いている最初のスロットに移動します。

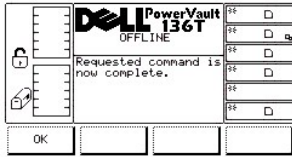


図 47. Command > Mailbox > Import > Command Completed 画面

選択肢を選択するには、次のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 ピッカーはインポート作業を完了させます。
- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[メールボックスサブメニュー](#) が表示されます。

エクスポートダイアログ

Export を選択すると、エクスポート画面が表示されます。[図 48](#) を参照してください。このダイアログでは、ライブラリからのカートリッジのエクスポートのための初期作業を行います。最大エクスポート限度は、カートリッジをエクスポートするたびに減っていきます。



図 48. Command > Mailbox > Export ダイアログ

フィールド	値	説明
Export limit (エクスポート限度)	0 .. 12	メールボックスの中の空のスロットの番号

2 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、続きのダイアログが表示されます。[図 49](#) を参照してください。
- 1 Cancel ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[メールボックスサブメニュー](#) が表示されます。

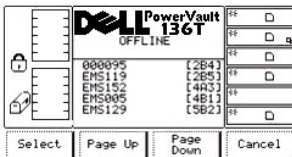


図 49. Command > Mailbox > Export List ダイアログ

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 2 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 Select ソフトキーの下にあるボタンを押すと、アイテムリストの最初のアイテムの隣に選択カーソルが表示されます。[図 50](#) を参照してください。
- 1 Page Up ソフトキーの下にあるボタンを押すと、ダイアログはリストアイテムの前のセットに戻ります。
- 1 Page Down ソフトキーの下にあるボタンを押すと、ダイアログは、リストアイテムの次のセットに変わります。
- 1 Cancel ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[メールボックスサブメニュー](#) が表示されます。

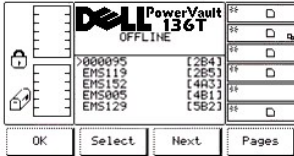


図 50. Command > Mailbox > Export > Export Select ダイアログ

4つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ3 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押して、カートリッジを選択すると、選択されたリストは受け入れられ、エクスポート作業が始まります。アイテムが選択されなかった場合、このソフトキーは使用できません。
- 1 **Select** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、有効な選択であることを示す逆反転映像で現在のアイテムがハイライトされます。図 51 を参照してください。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、選択カーソルがアイテムリストの次のアイテムの横に表示されます。
- 1 **Pages** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、ダイアログは、エクスポートリストダイアログに戻ります。図 49 まで戻って参照してください。追加の選択をすることができます。あるいはエクスポート作業を取り消すことができます。



図 51. Command > Mailbox > Export Selected ダイアログ

4つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ4 ステップ3の指示を繰り返します。

結果は、ステップ3と同じです。

ドライブサブメニュー

Drives を選択すると、ドライブサブメニューが表示されます。図 52 を参照してください。このサブメニューには、ドライブコマンドの集合体が含まれています。サブメニューでは4つの選択ができます。

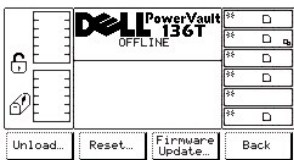


図 52. Command > Drives サブメニュー

4つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Unload** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、アンロードダイアログが表示されます。
- 1 **Reset** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、リセットダイアログが表示されます。
- 1 **Firmware 更新** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、ファームウェア更新ダイアログが表示されます。
- 1 **Back** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、コマンドメニューが表示されます。

アンロードダイアログ

Unload を選択すると、アンロードダイアログが表示されます。図 53 を参照してください。このオプションは、特定のドライブからテープをアンロードし、それをホームスロットに戻すために使用されます。



図 53. Command > Drives > Unload ダイアログ

フィールド	値	説明
Drive (ドライブ)	01 .. 06	アンロードするドライブの番号

3つの選択肢から1つを選択するには、次のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、進行中のコマンドが表示されます。図 54 を参照してください。
- 1 Change Drive ソフトキーの下にあるボタンを押すと、次のドライブが選択されます。
- 1 Cancel ソフトキーの下にあるボタンを押すと、ドライブサブメニューが表示されます。



図 54. Command > Drives > Unload > Command in Progress ダイアログ

選択されたドライブはテープをアンロードし、そしてピッカーはそのテープを定位置に置きます。コマンド完了ダイアログが表示されます。図 55 を参照してください。

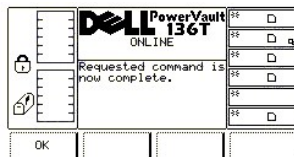


図 55. Command > Drives > Unload > Command Complete ダイアログ

リセットダイアログ

Reset を選択すると、リセットダイアログが表示されます。図 56 を参照してください。このオプションは選択されたドライブをリセットするために使用されます。



図 56. Command > Drives > Reset ダイアログ

フィールド	値	説明
Drive (ドライブ)	01 .. 06	リセットするドライブの番号
Reset type (リセットタイプ)	SOFT (ソフト)	ドライブリセットコマンドを発行します
	HARD (ハード)	ドライブから電源を取り除きます

4つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドが受け入れられ、[進行中のコマンドダイアログ](#) および [コマンド完了ダイアログ](#) が表示されます。
- 1 **Change Drive** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、選択されたドライブは次のドライブに変わります。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、次のフィールドがアクティブになります。[図 57](#) を参照してください。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ドライブサブメニュー](#) が表示されます。



図 57. Command > Drives > Reset > Reset Type ダイアログ

フィールド	値	説明
Reset type (リセットタイプ)	SOFT (ソフト)	ドライブリセットコマンドを発行します
	HARD (ハード)	ドライブから電源を取り除きます

4つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドが受け入れられ、[進行中のコマンドダイアログ](#) および [コマンド完了ダイアログ](#) が表示されます。
- 1 **Change** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、リセットタイプフィールドは、リストの次の値に変わります。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、前のフィールドがアクティブになります。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ドライブサブメニュー](#) が表示されます。



図 58. Command > Drives > Reset > Command in Progress ダイアログ

選択されたドライブはリセットされ、コマンド完了ダイアログが表示されます。[図 59](#) を参照してください。

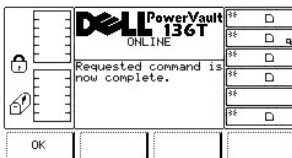


図 59. Command > Drives > Reset > Command Complete ダイアログ

ファームウェア 更新ダイアログ

Firmware Update を選択すると、ファームウェア更新ダイアログが表示されます。[図 60](#) を参照してください。このオプションはドライブファームウェアを更新するために使用されます。



図 60. Command > Drives > Firmware Update ダイアログ

現在のドライブファームウェアを更新するには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 メールボックスを開きます。

ステップ 2 新しいドライブファームウェアの入ったテープをメールボックスの 1 番上のスロットに置きます。

ステップ 3 メールボックスを閉じます。

- 1 ライブラリは、 ティーチングおよび在庫管理作業を実行します。

ステップ 4 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[Select Drive ダイアログ](#)が表示されます。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ドライブサブメニュー](#)が表示されます。

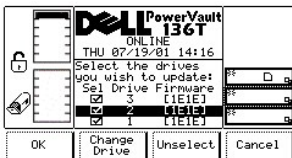


図 61. Command > Drives > Firmware Update > Select Drive ダイアログ

フィールド	値	説明
Sel	<input checked="" type="checkbox"/>	ドライブファームウェアが更新されます。
	<input type="checkbox"/>	ドライブファームウェアは更新されません。
Drive (ドライブ)	1..6	ドライブ番号
Firmware (ファームウェア)	A..Z, 0..9	現在ロードされているドライブファームウェアのバージョン

ステップ 5 希望のソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ファームウェア更新開始ダイアログ](#)が表示されます。
 - o ピッカーにより、新しいドライブファームウェア アップデート テープカートリッジが最初のメールボックススロットから取り出され、それが選択した最初のドライブに配置されます。
 - o ドライブにより、ファームウェアがアップデートされ、テープがアンロードされます。
 - o ピッカーにより、ドライブからテープが取り出され、それが選択した次のドライブに配置されます。
 - o 選択した最後のファームウェアがアップデートされると、ピッカーによりドライブからテープが取り出され、メールボックスの最初のスロットに戻されます。
 - o [ドライブサブメニュー](#)が表示されます。

メモ: ドライブファームウェアのアップデートが終わったら、[Select Drive ダイアログ](#)に戻り、各ドライブにロードされたファームウェアの現在のバージョンを確認します。

- 1 **Change Drive** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、リストの次のドライブがアクティブなドライブフィールドとなり黒く表示されます。
- 1 **Unselect** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、黒く表示されたアクティブなドライブフィールドのチェックボックスのチェックが解除されます。
 - o また、**Unselect** ソフトキーは、**Select** になります。
 - n **Select** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、黒く表示されたアクティブなドライブフィールドがチェックされ、**Select** ソフトキーが **Unselect** ソフトキーになります。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ドライブサブメニュー](#)が表示されます。

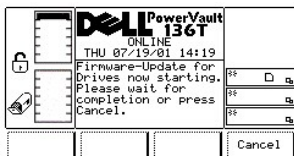


図 62. Command > Drives > Firmware > Update > Firmware Update Starting ダイアログ

ステップ 6 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、選択されている現在のドライブのアップデートが完了した後でドライブファームウェアのアップデートが停止します。[Drives サブメニュー](#)が表示されます。
 - o たとえば、ドライブ 1、2、3 が新しいドライブファームウェアタイプでアップデートされるように選択されているとします。
 - n ドライブ 1 はアップデート済み、ドライブ 2 はアップデートの途中、ドライブ 3 はアップデートされていません。
 - n **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、ドライブ 2 のアップデートが完了し、ドライブ 3 はアップロードされません。
 - n ドライブ 1 と 2 には、新しいバージョンのファームウェアがロードされていますが、ドライブ 3 にはロードされていません。

 **メモ:** ドライブファームウェアのアップデートをキャンセルした後、[Select Drive ダイアログ](#)を参照して、各ドライブにロードされているファームウェアの現在のバージョンを確認してください。

セットアップメニューの選択

セットアップメニューは主としてシステムを設定するために使用されます。セットアップは、下記の手順に従うことでメインメニューの選択画面から選べます。このメニューでは 4 つの選択ができます。

ステップ 1 メインメニューの Setup ソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 セットアップメニューが表示されます。このメニューでは 4 つの選択ができます。[図 63](#)を参照してください。



図 63. Main Menu > More > Setup メニュー

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 2 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Library** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ライブラリサブメニュー](#)が表示されます。
- 1 **Drives** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ドライブサブメニュー](#)が表示されます。
- 1 **Utils** ソフトキーの下にあるボタンを選択した場合、[ユーティリティサブメニュー](#)が表示されます。
- 1 **Back** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[メインメニューの選択](#)が表示されます。

ライブラリサブメニュー

Library を選択すると、ライブラリサブメニューが表示されます。[図 64](#)を参照してください。このサブメニューはライブラリを設定するためのルーチンの収集を含みます。このサブメニューでは 3 つの選択ができます。

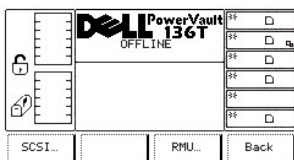


図 64. Setup > Library サブメニュー

3 つの選択肢から 1 つを選択するには、次のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **SCSI** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[SCSI ダイアログ](#) が表示されます。
- 1 **RMU** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[RMU ダイアログ](#) が表示されます。
- 1 **Back** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[セットアップ メニューの選択](#) が表示されます。

SCSI ダイアログ

SCSI を選択すると、SCSI ダイアログが表示されます。[図 65](#) を参照してください。このオプションにより、SCSI ID が設定できます。

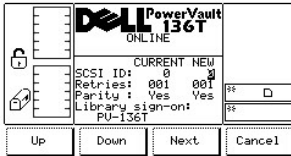


図 65. Setup > Library > SCSI ダイアログ

フィールド	値	説明
SCSI ID	CURRENT (現在): 0 .. 7	現在の SCSI アドレス
	NEW (新): 0 .. 7	新しく要求される SCSI アドレス
Retries (リトライ)	現在 : 0 .. 255	リトライのための現在のスレシヨルド番号
	新 : 0 .. 255	リトライのための新しいスレシヨルド番号
Parity (パリティ)	Yes	パリティを有効化 (デフォルト)
	No	パリティを無効化
Library sign-on (ライブラリサインオン)	PV-136T	PowerVault 136T LTO Library
	Scalar 100 EMU	ライブラリ エミュレーション

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Up** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドの値は増加します。
- 1 **Down** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドの値は減少します。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、リスト中の次のフィールドがアクティブフィールドになります。
 - o 次のフィールドが **Parity** フィールドの場合は、[図 66](#) を参照してください。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ライブラリサブメニュー](#) が表示されます。

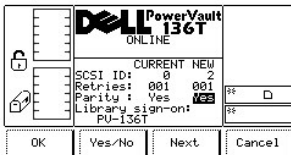


図 66. Setup > Library > SCSI > Parity ダイアログ

フィールド	値	説明
Parity (パリティ)	Yes	パリティ可 (デフォルト)
	No	パリティ不可

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 2 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、フィールドの値が受け入れられます。
- 1 **Yes/No** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドの値が切り替わります。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、リストの次のフィールドがアクティブフィールドになります。次のフィールドが **Library sign-on** (ライブラ

リサインオン)フィールドの場合、[図 67](#)を参照してください。

- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ライブラリサブメニュー](#)が表示されます。

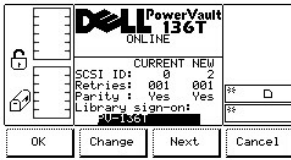


図 67. Setup > Library > SCSI > Library Sign-On ダイアログ

フィールド	値	説明
Library sign-on (ライブラリ サインオン)	PV-136T	PowerVault 136T LTO ライブラリ
	Scalar 100 EMU	ライブラリ エミュレーション

4つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 3 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、フィールドの値が受け入れられます。
- 1 **Change** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドの値が切り替わります。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、リストの最初のフィールドがアクティブフィールドになります。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ライブラリサブメニュー](#)が表示されます。

RMU ダイアログ

RMU が選択されると、RMU ダイアログが表示されます。[図 68](#)を参照してください。このオプションによって、ユーザーが遠距離管理ユニット (RMU) コミュニケーションを設定することができます。

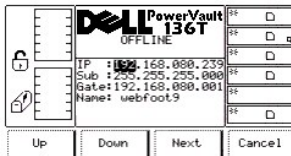


図 68. Setup > Library > RMU ダイアログ

フィールド	値	説明
IP	000.000.000.000 .. 255.255.255.255	IP アドレスを提示します
Sub (サブ)	000.000.000.000 .. 255.255.255.255	サブネットマスクを提示します
Gate (ゲート)	000.000.000.000 .. 255.255.255.255	ゲートウェイを提示します
Name (名前)	A..Z, 0..9	RMU 経由でのライブラリとのコミュニケーションのためにRMUに割当てられたホスト名を提示します

4つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Up** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、アクティブフィールドは増加します。
- 1 **Down** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、アクティブフィールドは減少します。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、アクティブフィールドは受け入れられ、リストの次のフィールドがアクティブフィールドになります。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ライブラリサブメニュー](#)が表示されます。

ドライブサブメニュー

ドライブを選択すると、ドライブサブメニューが表示されます。[図 69](#)を参照してください。このサブメニューはライブラリを設定するためのルーチンの収集を含みます。サブメニューでは2つの選択ができます。

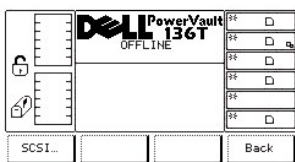


図 69. Setup > Drives サブメニュー

2つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **SCSI** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[SCSI ダイアログ](#) が表示されます。
- 1 **Back** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ドライブサブメニュー](#) が表示されます。

SCSI ダイアログ

SCSI を選択すると、SCSI ダイアログが表示されます。[図 70](#) を参照してください。このオプションによって、ユーザーがドライブの SCSI ID が設定できます。



図 70. Setup > Drives > SCSI ダイアログ

フィールド	値	説明
Drive (ドライブ)	01 .. 06	ドライブ番号
SCSI ID: CURRENT (現在)	00 .. 15	選択されたドライブの現在の SCSI ID
SCSI ID: NEW (新規)	00 .. 15	選択されたドライブの新しい SCSI ID
Drives with this ID (この ID をもつドライブ)	1 .. 10	選択されたドライブと同じ SCSI ID をもつドライブを提示します
	なし	同じ SCSI ID をもつドライブはありません

4つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドの値が受け入れられ、[ドライブサブメニュー](#) が表示されます。
- 1 **Change Drive** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、ドライブ番号が変わります。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、リストの次のフィールドがアクティブフィールドになります。[図 71](#) を参照してください。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ドライブサブメニュー](#) が表示されます。

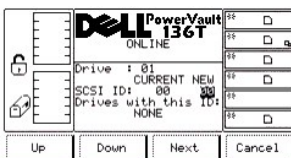


図 71. Setup > Drives > SCSI > SCSI ID New ダイアログ

[図 70](#) に関連する表を参照してください。

4つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Up** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のアクティブフィールドが増加します。
- 1 **Down** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のアクティブフィールドが減少します。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、ドライブフィールドはアクティブフィールドになります。 [図 70](#) を参照してください。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、 [ドライブサブメニュー](#) が表示されます。

ユーティリティサブメニュー

Utils を選択すると、ユーティリティサブメニューが表示されます。 [図 72](#) を参照してください。このサブメニューには、ユーティリティルーチンの集合体が含まれます。このサブメニューでは 4 つの選択ができます。

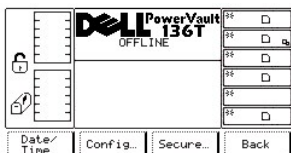


図 72. Setup > Utils サブメニュー

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Date/Time** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、 [日付/時間 ダイアログ](#) が表示されます。
- 1 **Config** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、 [ダイアログの設定](#) が表示されます。
- 1 **Secure** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、 [ダイアログの保護](#) が表示されます。
- 1 **Back** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、 [メニュー選択のセットアップ](#) が表示されます。

日付/時間ダイアログ

Date/Time を選択すると、日付/時間ダイアログが表示されます。 [図 73](#) を参照してください。このオプションはライブラリの日付と時間をセットします。

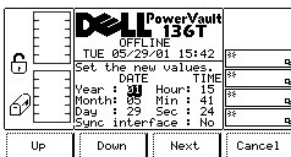


図 73. Setup > Utils > Date/Time ダイアログ

フィールド	値	説明
Year (年)	00 .. 99	西暦
Month (月)	1 .. 12	月
Day (日)	1 .. 31	日付
Hour (時)	0 .. 23	時間
Min (分)	0 .. 59	分
Sec (秒)	0 .. 59	秒
Sync interface (シンクインターフェース)	Yes	シンク可
	No	シンク不可 (デフォルト設定)

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Up** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドの値は増加します。
- 1 **Down** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドの値は減少します。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、リストの次の値がアクティブフィールドになります。次のフィールドが最後のフィールドの場合は、 [図 74](#) を参照してください。

- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ユーティリティサブメニュー](#)が表示されます。

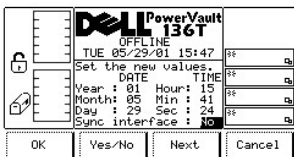


図 74. Setup > Utils > Date/Time > Sync ダイアログ

フィールド	値	説明
Sync interface (シンクインターフェース)	Yes	シンクロ可
	No	シンクロ不可 (デフォルト設定)

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、フィールドの値が受け入れられます。
- 1 **Yes/No** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドの値が切り替わります。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、アクティブフィールドはリストの最初のフィールドに戻ります。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ユーティリティサブメニュー](#)が表示されます。

構成ダイアログ

Config を選択すると、ダイアログ構成がデフォルト設定で表示されます。[図 75](#) を参照してください。このオプションは、ライブラリ構成をセットします。



図 75. Setup > Utils > Config ダイアログ

フィールド	値	説明
(Backlight on) 背景光オン	YES	背景光をオンにします
	No	背景光をオフにします
Audio on (オーディオ オン)	Yes	オーディオ出力可
	No	オーディオ出力不可
Scan on Init (初期化時におけるスキャン)	Yes	ピッカーはライブラリ初期化に際し、全カートリッジに対するスキャンを行います
	No	ピッカーはライブラリ初期化に際し、全カートリッジのためのスキャンを行いません
Touch on Init (初期化時におけるタッチ)	Yes	カートリッジが存在するかどうかを確かめるために、ピッカーはスロット位置で閉じます
	No	カートリッジが存在するかどうかを確かめるために、ピッカーはスロット位置で閉じません
Mailbox (メールボックス)	Imprt/Exprt (インポート/エクスポート)	メールボックスは、カートリッジインポート/エクスポート位置として構成されます。
	Storage (ストレージ)	メールボックスは、カートリッジストレージ セルとして構成されます

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドの値は受け入れられ、[ユーティリティサブメニュー](#) が表示されます。
- 1 **Yes/No** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、選択されたフィールドは Yes または No / 変わります。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、リストの次のフィールドはアクティブフィールドになります。次のフィールドが最後のフィールドの場合は、[図 76](#) を参照してください。

- 1 Cancel ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ユーティリティサブメニュー](#) が表示されます。

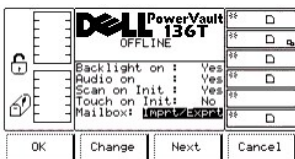


図 76. Setup > Utils > Config > Mailbox ダイアログ

フィールド	値	説明
Mailbox (メールボックス)	Imprt/Exprt (インポート/エクスポート)	メールボックスは、カートリッジのインポート/エクスポート位置（デフォルト）として構成されます。
	Storage (ストレージ)	メールボックスは、カートリッジストレージ セルとして構成されます。

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールド値は受け入れられ、[ユーティリティサブメニュー](#) が表示されます。
- 1 Change ソフトキーの下にあるボタンを押すと、メールボックスフィールドの値は、インポート/エクスポートあるいはストレージに変わります。
- 1 Next ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[設定ダイアログ](#) が表示されます。
- 1 Cancel ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ユーティリティサブメニュー](#) が表示されます。

保護ダイアログ

Secure を選択すると、保護ダイアログがデフォルト設定で表示されます。図 77 を参照してください。このオプションによって、ユーザーはオペレーターパネル セキュリティを構成し、使用できるようにしたりできないようにすることができます。

注意: 新しいライブラリを初めて初期化する際に、ユーザー選択のパスワードを設定し、今後の参考のためにコピーを安全な場所に保管します。[保護ダイアログ](#)を参照してください。Next ソフトキーの下にあるボタンを押すと、Set/Change Password フィールドがアクティブとなり黒く表示されます。Change ソフトキーの下にあるボタンを押します。メッセージが表示されたら、そこにユーザーが選択したパスワードを入力して、OK を選択します。図 80 を参照してください。変更を保存するには、[保護ダイアログ画面](#) の OK ソフトキーの下にあるボタンを押します。

注意: セキュリティが立ち上げられた場合、いくつかの例外を除き、Dell PowerVault 136T LTO ライブラリ全体を通じて、すべてのメニュー選択においてユーザーが選択したパスワードが要求されます。[パスワード入力ダイアログ](#)を参照してください。セキュリティが立ち上がっており、ユーザーが選択したパスワードを紛失してしまった場合は、[Dell 顧客サポート](#) にご連絡ください。

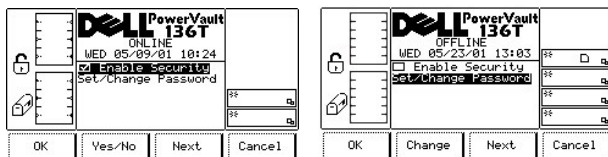


図 77. Setup > Utils > Secure ダイアログ

アクティブなフィールド	値	説明
Enable Security	<input checked="" type="checkbox"/>	チェックすると、オペレーターパネルセキュリティを使用できます。図 77 を参照してください。
	<input type="checkbox"/>	チェックを解除すると、オペレーターパネルセキュリティは使用できません。

4 つの選択肢から 1 つを選択するには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 セキュリティを変更していない場合、OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ユーティリティサブメニュー](#) が表示されます。

注意: セキュリティやパスワードを変更した場合、OK ソフトキーの下にあるボタンを押した時点で保存されます。

- 1 **Enable Security** がアクティブなフィールドで黒く表示されている場合、[図 77](#) を参照してください。
 - o **Yes/No** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、チェックボックスの状態が変わります。
 - n Yes の場合、チェックボックスがチェックされ、[セキュリティオンダイアログ](#) が表示されます。
 - n No の場合、チェックボックスのチェックが解除され、[セキュリティオフダイアログ](#) が表示されます。
 - o **Next** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、次のフィールドである Set/Change Password がアクティブなフィールドになります。
- 1 **Set/Change Password** がアクティブなフィールドとして黒く表示されている場合、Yes/No ソフトキーは Change ソフトキーに変わります。[図 77](#) を参照してください。
 - o **Change** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[パスワードの変更ダイアログ](#) が表示されます。
 - o **Next** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、次のフィールドである Enable Security がアクティブなフィールドになります。[図 77](#) を参照してください。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押したとき、
 - o セキュリティやパスワードが**変更されていない**場合、[ユーティリティサブメニュー](#)が表示されます。
 - o セキュリティやパスワードが**変更されている**場合、[図 78](#) を参照してください。




図 78. Setup > Utils > Secure > Security On > Cancel Security Changes ダイアログ

2つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 2 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、セキュリティやパスワードの変更が取り消され、[ユーティリティサブメニュー](#) が表示されます。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[保護ダイアログ](#) が再表示されます。

 **注:** セキュリティの変更内容を保存して、[保護ダイアログ](#)を終了するには、保護ダイアログ画面の **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押します。

セキュリティ使用可

セキュリティ使用可能フィールドが、現在アクティブになっており、Yes/No ソフトキーの下にあるボタンを押してチェックされているときには、[セキュリティオンダイアログ](#) が表示されます。[図 79](#) を参照してください。

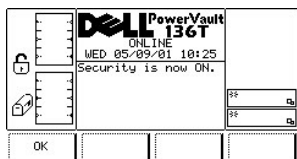


図 79. Setup > Utils > Secure > Security On ダイアログ

選択肢を選択するには、次のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[保護ダイアログ](#) が、ボックスがチェックされた状態で表示されます。

セキュリティの使用不可

Enable Security フィールドは、現在**使用可能**として保存され、アクティブなフィールドで黒く表示されています。[保護ダイアログ](#) を参照してください。Yes/No ソフトキーの下にあるボタンを押すことにより、チェックされた状態からチェックされていない使用不可の状態に変えると、[パスワードの入力ダイアログ](#)が表示されます。

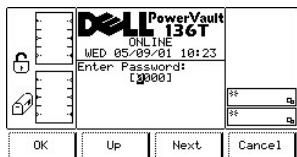


図 80. Setup > Utils > Secure > Enter Password ダイアログ

フィールド	値	説明
Password (パスワード)	0000 .. 9999	現在のパスワード

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、パスワードが入力されます。
 - o Enable Security フィールドが使用可能として保存されている場合には、チェックボックスのチェックを解除することで使用不可にすることができ、[セキュリティオフダイアログ](#)が表示されます。
- 1 Up ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のアクティブフィールドが増加します。
- 1 Next ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のアクティブフィールドが受け入れられ、次のフィールドがアクティブとなります。
- 1 Cancel ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ユーティリティサブメニュー](#)が表示されます。

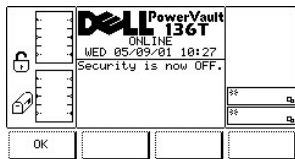


図 81 . Setup > Utils > Secure > Security Off ダイアログ

選択肢を選択するには、次のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[保護ダイアログ](#)が、ボックスがチェックされていない状態で表示されます。

パスワード変更ダイアログ

Set/Change Password は、現在アクティブなフィールドで黒く表示されています。[図 77](#) を参照してください。Change ソフトキーの下にあるボタンを押すと、OK が選択され、[パスワードの変更ダイアログ](#)が表示されます。

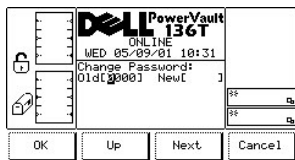


図 82. Setup > Utils > Secure > Change Password ダイアログ

フィールド	値	説明
Old (旧)	0000 .. 9999	現在のパスワード
New (新)	0000 .. 9999	新しいパスワード

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、古いパスワードと新しいパスワードが入力されます。[図 82](#) を参照してください。
 - o 正しいパスワードを Old フィールドに入力したら、OK ソフトキーの下にあるボタンを押します。
 - n 次に、新しいパスワードを New フィールドに入力して、OK ソフトキーの下にあるボタンを押します。パスワードは変更されますが、保存されていません。[図 83](#) を参照してください。

メモ: パスワードへのセキュリティ変更は、[保護ダイアログ](#)画面の OK ソフトキーの下にあるボタンを押すまでは保存されません。パスワードの変更を取り消すには、[保護ダイアログ](#)画面の Cancel ソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 Up ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在選択されているフィールドは増加します。
- 1 Next ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドは受け入れられ、次のフィールドがアクティブフィールドになります。

- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[保護ダイアログ](#) が表示されます。

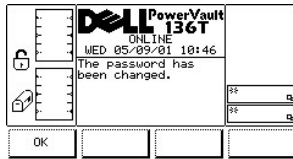


図 83. Setup > Utils > Secure > Password Changed ダイアログ

選択肢を選択するには、次のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[保護ダイアログ](#) が表示されます。

サービスマニューの選択

サービスマニューは主として、システムの維持に関連する多種のルーチンを提供するために使用されます。サービスはメインメニュー選択スクリーンから下記の手順に従って選択されます。

注: サービスメニューの選択にリストされたコマンドには、オフライン状態が必要です。詳細は、[オフライン状態を必要とするコマンドの使用](#) を参照してください。

ステップ 1 [メインメニュー](#)で、**Service** ソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 サービスメニューが表示されます。このメニューでは 4 つの選択ができます。 [図 84](#) を参照してください。

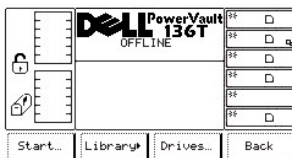


図 84. Main Menu > More > Service メニュー

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 2 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Start** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[開始ダイアログ](#) が表示されます。
- 1 **Library** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ライブラリサブメニュー](#) が表示されます。
- 1 **Drives** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ドライブダイアログ](#) が表示されます。
- 1 **Back** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[メインメニューの選択](#) が表示されます。

開始ダイアログ

Start が選択されると、開始ダイアログが表示されます。 [図 85](#) を参照してください。

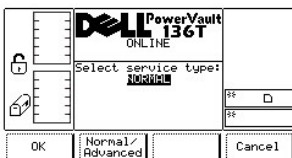


図 85. Service > Start ダイアログ

フィールド	値	説明
-------	---	----

Service type (サービスタイプ)	Normal (ノーマル)	報告された SAC を表示します。
	Advanced (アドバンス)	Dell 顧客サポートエンジニアのみ使用

3つの選択肢から1つを選択するには、次のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ノーマルサービスダイアログ](#) が表示されます。
- 1 **Normal/Advanced** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[アドバンスサービスダイアログ](#) が表示されます。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[サービスメニュー](#) が表示されます。

ノーマルサービスダイアログ

開始ダイアログから **Normal** を選択すると、ノーマルサービスダイアログが表示されます。[図 86](#) を参照してください。このオプションは SAC の報告を行います。より詳しい説明が必要な場合は、[サービス処置コード](#) を参照してください。




図 86. Service > Start > Normal Service ダイアログ

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、サービスメニューが表示されます。[図 84](#) を参照してください。

アドバンスサービスダイアログ

アドバンスサービスダイアログ [図 87](#) を参照してください。

 **注:** このオプションは、Dell サービス技術者によってのみ使用されます。

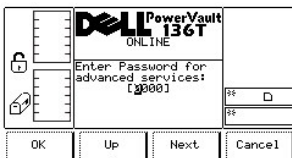


図 87. Service > Start > Advanced > Enter Password ダイアログ

ライブラリサブメニュー

Library が選択されると、ライブラリサブメニューが表示されます。[図 88](#) を参照してください。このダイアログでは、特にライブラリに役に立つルーチンの収集が表示されます。

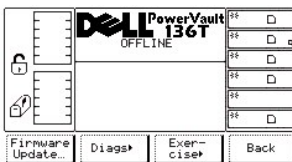


図 88. Service > Library サブメニュー

4つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Firmware Update** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ファームウェア更新ダイアログ](#) が表示されます。

- 1 Diags ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[診断サブメニュー](#) が表示されます。
- 1 Exercise ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[実行ダイアログ](#) が表示されます。
- 1 Back ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[サービスメニューの選択](#) が表示されます。

ファームウェア更新ダイアログ

Firmware Update が選択されると、ファームウェア更新ダイアログが表示されます。[図 89](#)を参照してください。このオプションは、サービスエンジニアによってライブラリファームウェアを更新するために使用されます。遠隔管理ユニット (RMU) セクションの [ファームウェアダイアログ](#)を参照してください。



図 89. Service > Library > Firmware Update ダイアログ

診断サブメニュー

Diag を選択すると、診断サブメニューが表示されます。[図 90](#)を参照してください。このオプションは、ライブラリの実行と診断の集合体です。



図 90. Service > Library > Diags サブメニュー

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 Sensors ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[センサーダイアログ](#) が表示されます。
- 1 Fingers ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[フィンガーサブメニュー](#) が表示されます。
- 1 Picker ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ピッカーサブメニュー](#) が表示されます。
- 1 Back ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ライブラリサブメニュー](#) が表示されます。

センサーダイアログ

Sensors を選択すると、センサーダイアログが表示されます。[図 91](#)を参照してください。このオプションは、センサーの状態をリアルタイムで表示し、メールボックスを閉めたり開けたりする手段を提供します。



図 91. Service > Library > Diags > Sensor ダイアログ

注: すべてのフィールドの値は読み取り専用です。

2 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 Lock/Unlock ソフトキーの下にあるボタンを押すと、メールボックスの開閉が切り替わります。
- 1 Cancel ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[診断サブメニュー](#) が表示されます。

フィンガーサブメニュー

Fingers を選択すると、フィンガーサブメニューが表示されます。図 92 を参照してください。このオプションは、開閉動作およびリーチ/リトラクト動作を操作するためのルーチンの収集です。

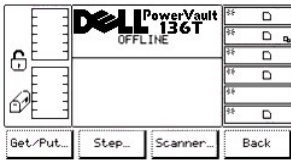


図 92. Service > Library > Diags > Fingers サブメニュー

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Get/Put** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[Get/Put ダイアログ](#) が表示されます。
- 1 **Step** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ステップダイアログ](#) が表示されます。
- 1 **Scanner** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[スキャナーダイアログ](#) が表示されます。
- 1 **Back** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[診断サブメニュー](#) が表示されます。

Get/Put ダイアログ

Get/Put を選択すると、Get/Put ダイアログが表示されます。図 93 を参照してください。このオプションは、ストレージスロットあるいはドライブのどちらかにカートリッジを出し入れします。



図 93. Service > Library > Diags > Fingers > Get/Put ダイアログ

フィールド	値	説明
Cycles to run (起動サイクル)	0 .. 9999	起動サイクルの番号
Number of slots (スロットの番号)	0 .. 72	サイクルで使用されるスロットの番号
Starting slot (開始スロット)	0 .. 72	この開始セルを使用してください。これは読み取り専用であり、新しい開始スロットが選択された後のみに変更します。
New start slot (新規開始のスロット)	No	この開始スロットを使用してください
	Yes	開始スロットの変更

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Up** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドの値は増加します。
- 1 **Down** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドの値は減少します。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、リストでの次のフィールドはアクティブフィールドになります。Next ボタンによってフィールドが New start slot (新規開始スロット) に移動したら、続きのダイアログが表示されます。図 94 を参照してください。フィールドリストの最後までいった後、アクティブフィールドはリストの最初のフィールドに戻ります。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[フィンガーサブメニュー](#) が表示されます。



図 94. Service > Library > Diags > Fingers > Get/Put > New Start Slot ダイアログ

フィールド	値	説明
New start slot (新規開始のスロット)	No	この開始スロットを使用してください
	Yes	開始スロットの変更

ステップ 2 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、フィールドの値が受け入れられます。
- 1 Yes/No ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドの値が切り替わります。
- 1 Next ソフトキーの下にあるボタンを押すと、リストの最初のフィールドがアクティブフィールドになります。
- 1 Cancel ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[フィンガーサブメニュー](#) が表示されます。

Step ダイアログ

Step を選択すると、ステップダイアログが表示されます。[図 95](#) を参照してください。このオプションは、増分ステップで開閉およびリーチ/リトラクトを操作するためのルーチンの収集です。




図 95. Service > Library > Diags > Fingers > Step ダイアログ

2 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、続きのダイアログが表示されます。[図 96](#) を参照してください。

 **注:** これは高度の診断ツールであり、通常作業での使用を意図していません。

- 1 Cancel ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[フィンガーサブメニュー](#) が表示されます。

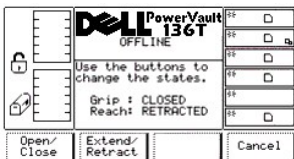


図 96. Service > Library > Diags > Fingers > Step > Gripper Finger ダイアログ

フィールド	値	説明
Grip (グリッパ)	OPEN (開)	グリッパーのフィンガー (指) は開いています
	CLOSED (閉)	グリッパーのフィンガー (指) は閉じています
Reach (リーチ)	EXTENDED (伸びる)	グリッパーのフィンガー (指) は伸びています
	RETRACTED (戻る)	グリッパーのフィンガー (指) はもとに戻っています

3つの選択肢から1つを選択するには、次のステップに従ってください。

ステップ 2 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Open/Close** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、グリッパーのフィンガーの開閉が切り替わり、画面がその状態を反映して更新されます。
- 1 **Extend/Retract** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、グリッパーのフィンガーの伸縮が切り替わり、画面がその状態を反映して更新されます。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[フィンガーサブメニュー](#) が表示されます。

スキャナーダイアログ

Scanner を選択すると、スキャナーダイアログが表示されます。[図 97](#) を参照してください。このオプションは、バーコード スキャナーを起動させ、ラベル情報を読み取ります。



図 97. Service > Library > Diags > Fingers > Scanner ダイアログ

2つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Scan** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、スキャナーの前にあるバーコードラベルが直ちに読み取られます。[図 98](#) を参照してください。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[フィンガーサブメニュー](#) が表示されます。

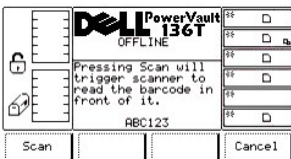


図 98. Service > Library > Diags > Fingers > Scanner > Scan > Barcode Label ダイアログ

ピッカーサブメニュー

Picker を選択すると、ピッカーサブメニューが表示されます。[図 99](#) を参照してください。これは垂直軸および回転軸を操作するルーチンの収集です。

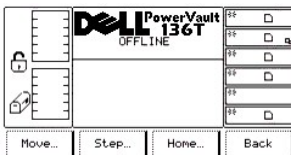


図 99. Service > Library > Diags > Picker サブメニュー

4つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Move** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[移動ダイアログ](#) が表示されます。
- 1 **Step** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ステップダイアログ](#) が表示されます。
- 1 **Home** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ホームダイアログ](#) が表示されます。
- 1 **Back** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[診断サブメニュー](#) が表示されます。

Move ダイアログ

Move を選択すると、移動ダイアログが表示されます。[図 100](#) を参照してください。このオプションでは、動作パターンにおける垂直軸と回転軸をサイ

クルします。



図 100. Service > Library > Diags > Picker > Move ダイアログ

フィールド	値	説明
Cycle to run (起動サイクル)	0 .. 9999	移動サイクルの番号
Use Vertical (垂直軸の使用)	Yes	垂直軸を続行します
	No	垂直軸を続行しません
Use horizontal (水平軸の使用)	Yes	水平軸を続行します
	No	水平軸を続行しません

4つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Up** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドの値は増加します。
- 1 **Down** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドの値は減少します。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、リスト中の次のフィールドがアクティブフィールドになります。図 101 を参照してください。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ピッカーサブメニュー](#) が表示されます。

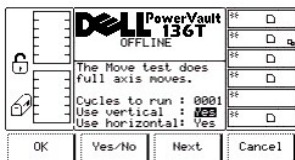


図 101. Service > Library > Diags > Picker > Move > Use Axes ダイアログ

フィールド	値	説明
Use Vertical (垂直軸の使用)	Yes	垂直軸を続行します
	No	垂直軸を続行しません
Use horizontal (水平軸の使用)	Yes	水平軸を続行します
	No	水平軸を続行しません

4つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 2 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、フィールドの値が受け入れられます。
- 1 **Yes/No** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドの値が切り替わります。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、リストの次のフィールドがアクティブフィールドになります。フィールドリストの最後まで行った後、アクティブフィールドはリストの最初のフィールドに戻ります。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ピッカーサブメニュー](#) が表示されます。

ステップダイアログ

Step が選択されると、ステップダイアログが表示されます。図 102 を参照してください。このオプションは、増分ステップにおける垂直軸および回転軸を操作するためのルーチンの収集です。



図 102. Service > Library > Diags > Picker > Step ダイアログ

2つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[図 103](#) が表示されます。これは高度な診断ツールであり、通常の作業での使用を意図していません。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ピッカーサブメニュー](#) が表示されます。



図 103. Service > Library > Diags > Picker > Step > Axes ダイアログ

フィールド	値	説明
Pivot axis (ピボット軸)	000.0 .. 360.0	回転位置の角度
Vert. axis (垂直軸)	000.0 .. 最大範囲	ピッカーの高さ (ミリ)
Step amount (ステップ合計)	001 .. 100	10ミリ単位のステップ

4つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ2 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Up** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドの値は増加します。
- 1 **Down** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドの値は減少します。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、リストの次のフィールドがアクティブフィールドになります。最後のフィールドの後、最初のフィールドが表示されます。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ピッカーサブメニュー](#) が表示されます。

Home ダイアログ

Home が選択されると、ホームダイアログが表示されます。[図 104](#) を参照してください。このオプションは、垂直軸と回転軸を定位置に戻します。



図 104. Service > Library > Diags > Picker > Home ダイアログ

2つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、ピッカーは定位置に戻り、作業が終了します。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ピッカーサブメニュー](#) が表示されます。

実行サブメニュー

Exercise を選択すると、実行サブメニューが表示されます。図 105 を参照してください。このオプションは、ライブラリ実行コマンドの収集です。

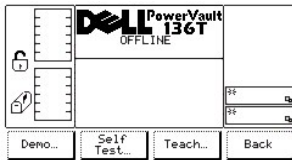


図 105. Service > Library > Exercise Submenu

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Demo** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[デモダイアログ](#) が表示されます。
- 1 **Self Test** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[自己テストダイアログ](#) が表示されます。
- 1 **Teach** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ティーチングダイアログ](#) が表示されます。
- 1 **Back** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ライブラリサブメニュー](#) が表示されます。

デモダイアログ

Demo を選択すると、デモダイアログが表示されます。図 106 を参照してください。このオプションは、オペレーター構成のデモンストレーションルーチンを実行します。



図 106. Service > Library > Exercise > Demo Using Cycles ダイアログ

フィールド	値	説明
デモモード:	Cycle	サイクル数を使用したライブラリのデモ
Cycles to run (実行するサイクル数)	0 .. 9999	実行するデモサイクル数
デモモード:	Time	デモの時間数
Hours to run (実行する時間)	0 .. 9999	デモを実行する時間数
Include drives (ドライブを含む)	Yes	デモサイクルにドライブを含む
	No	デモサイクルにドライブを含まない
Mailbox (メールボックス)	Yes	デモサイクルにメールボックスを含む
	No	デモサイクルにメールボックスを含まない

4 つの選択のうち 1 つを選ぶには、下記の手順に従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、フィールドの値が適用され、デモが開始されます。図 109 を参照してください。
- 1 **Change** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、フィールドの値が変更されます。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、リストの次のフィールドがアクティブフィールドになります。図 107 を参照してください。フィールドリストの終わりまで来ると、アクティブフィールドはリストの最初のフィールドに戻ります。図 106 を参照してください。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[実行サブメニュー](#) が表示されます。

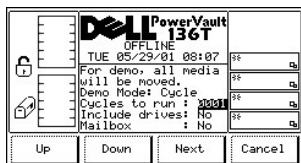


図 107. Service > Library > Exercise > Demo > Cycles to run Dialog

4つの選択肢から1つを選択するには、下記のステップに従って下さい。

ステップ 2 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 Up ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在選択されているフィールドが増加します。
- 1 Down ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在選択されているフィールドが減少します。
- 1 Next ソフトキーの下にあるボタンを押すと、リストの次のフィールドがアクティブフィールドになります。図 108 を参照してください。
- 1 Cancel ソフトキーの下にあるボタンを押すと、実行サブメニュー が表示されます。

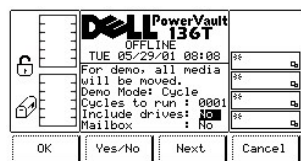


図 108. Service > Library > Exercise > Demo Using Cycles > Include ダイアログ

4つの選択肢から1つを選択するには、下記のステップに従って下さい。

ステップ 3 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、フィールドの値が適用され、デモが開始されます。図 109 を参照してください。
- 1 Yes/No ソフトキーの下にあるボタンを押すと、状況に応じてドライブやメールボックスが含まれるかどうか決定されます。
- 1 Next ソフトキーの下にあるボタンを押すと、リストの次のフィールドがアクティブフィールドになります。フィールドリストの最後に来ると、アクティブフィールドはリストの最初のフィールドに戻ります。
- 1 Cancel ソフトキーの下にあるボタンを押すと、実行サブメニュー が表示されます。

サイクルが完了すると、テスト結果が表示されます。図 109 を参照してください。

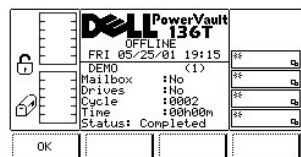


図 109. Service > Library > Exercise > Demo Using Cycles > Execution ダイアログ

フィールド	値	説明
Cycle (サイクル)	0000 .. 9999	完了したサイクル数
Time (時間)	00h00m .. 23h59m	完了した時間数 (単位: 時間および分)

選択肢を選択するには、次のステップに従ってください。

ステップ 4 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、実行サブメニュー が表示されます。



図 110. Service > Library > Exercise > Demo Using Time ダイアログ

図 106 に関連した表を参照してください。

4 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、フィールドの値が適用され、デモが開始されます。図 111 を参照してください。
- 1 Yes/No ソフトキーの下にあるボタンを押すと、状況に応じてドライブやメールボックスが含まれるかどうかが決まります。
- 1 Next ソフトキーの下にあるボタンを押すと、リストの次のフィールドがアクティブフィールドになります。フィールドリストの最後に来ると、アクティブフィールドはリストの最初のフィールドに戻ります。
- 1 Cancel ソフトキーの下にあるボタンを押すと、実行サブメニューが表示されます。

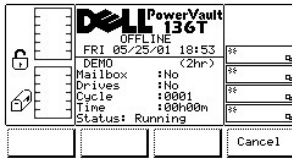


図 111. Service > Library > Exercise > Demo Using Time > Execution ダイアログ

選択肢を選択するには、次のステップに従ってください。

ステップ 2 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 Cancel ソフトキーの下にあるボタンを押すと、図 112 が表示されます。

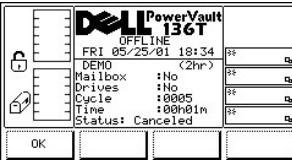


図 112. Service > Library > Exercise > Demo Using Time > Canceled ダイアログ

自己テストダイアログ

Self Test を選択すると、自己テストダイアログが表示されます。図 113 を参照してください。このオプションは、システムを試すために事前にプログラムされた一連のテストを実行します。

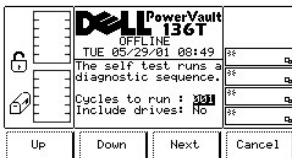


図 113. Service > Library > Exercise > Self Test ダイアログ

フィールド	値	説明
Cycles to run (起動サイクル)	0 .. 999	起動するサイクルの番号

Include drives (ドライブを含む)	Yes	自己テストにドライブを含みます
	No	自己テストにドライブを含みません

4つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **Up** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドの値は増加します。
- 1 **Down** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドの値は減少します。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、リストの次のフィールドはアクティブフィールドになります。図 114 を参照してください。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[実行サブメニュー](#) が表示されます。

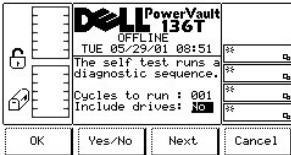


図 114. Service > Library > Exercise > Self Test > Include Drives ダイアログ

フィールド	値	説明
Include drives (ドライブを含む)	Yes	自己テストにドライブを含みます
	No	自己テストにドライブを含みません

4つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ2 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、フィールドの値が適用され、デモ作業が始まります。図 115 を参照してください。
- 1 **Yes/No** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、回答に応じてドライブが含まれたり含まれなかったりします。
- 1 **Next** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、リスト中の次のフィールドはアクティブフィールドになります。フィールドリストの最後までいった後、アクティブフィールドはリストの最初のフィールドに戻ります。
- 1 **Cancel** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[実行サブメニュー](#) が表示されます。

サイクルが一旦起動すると、テストが結果を表示します。図 115 を参照してください。

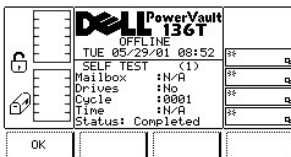


図 115. Service > Library > Exercise > Self test > Self Test Execution ダイアログ

ティーチングダイアログ

Teach を選択すると、ティーチングダイアログが表示されます。図 116 を参照してください。このオプションは、ライブラリを測定します。このダイアログでは3つの選択ができます。

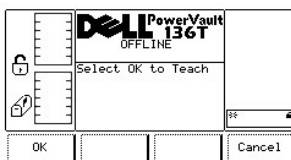


図 116. Service > Library > Exercise > Teach ダイアログ

2つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、フィールドの値が適用されます。図 117 と 図 118 を参照してください。
- 1 Change ソフトキーの下にあるボタンを押すと、フィールドの値がストレージあるいは、インポート/エクスポートに切り替わります。



図 117. Service > Library > Exercise > Teach > Teach in Progress ダイアログ

- 1 Cancel ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[実行サブメニュー](#) が表示されます。

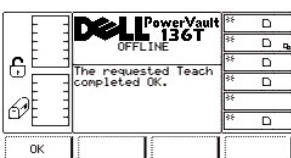


図 118. Service > Library > Exercise > Teach > Teach Completed ダイアログ

ドライブダイアログ

Drives を選択すると、ドライブダイアログが表示されます。図 119 を参照してください。オプションによってユーザーがサービスされるドライブを選択することができます。



図 119. Service > Drives ダイアログ

フィールド	値	説明
Drive (ドライブ)	01 .. 06	サービスされるドライブ

3 つの選択肢から 1 つを選択するには、次のステップに従ってください。

ステップ 1 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、現在のフィールドが受け入れられ、ドライブサービス機能サブメニューが表示されます。図 120 を参照してください。
- 1 Change Drive ソフトキーの下にあるボタンを押すと、サービスされるドライブが変わります。
- 1 Cancel ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[サービスメニューの選択](#) が表示されます。

ドライブサービスダイアログ

ドライブが選択されると、ドライブサービスダイアログが表示されます。図 120 を参照してください。

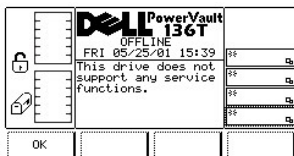


図 120. Service > Drives Service ダイアログ

選択肢を選択するには、次のステップに従ってください。

ステップ 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[ドライブダイアログ](#)が表示されます。

メニューの選択について

アバウトメニューは、システムのシリアル番号、インストールされたファームウェア改訂そしてピッカー、スレッドそしてディスプレイのためのアプリケーションとブートコードを表示します。アバウトメニューはメインメニューの選択画面から下記の手順によって選択できます。

ステップ 1 メインメニュー（選択画面）のソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 About Menu が表示されます。このメニューでは 2 つの選択肢ができます。[図 121](#) を参照してください。

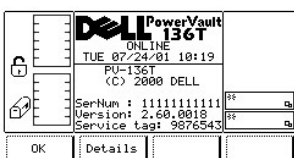


図 121. Main Menu > More > About メニュー

2 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 2 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[メインメニューの選択](#) (選択画面) が表示されます。
- 1 Details ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[詳細ダイアログ](#) が表示されます。

詳細ダイアログ

font face=" Arial, Helvetica, sans-serif">Details を選択すると合、詳細ダイアログが表示されます。[図 122](#) を参照してください。このオプションは、ピッカー、ドライブモジュールそしてディスプレイのためのライブラリの現在のアプリケーションとブートコードを見るために使用されます。このダイアログでは 2 つの選択肢ができます。

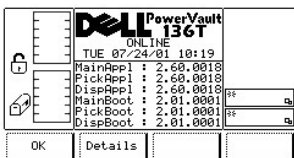



図 122. About > Details ダイアログ (初期画面)

 **注:** すべてのフィールドは読み取り専用です。

2 つの選択肢から 1 つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 3 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 OK ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[メインメニューの選択](#) (選択画面) が表示されます。
- 1 Details ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[続きのダイアログ](#)が表示されます。[図 123](#) を参照してください。

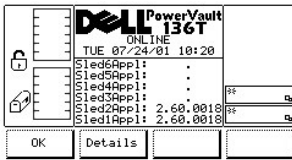


図 123. About > Details ダイアログ (第 2 画面)

2つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 4 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[メインメニューの選択](#) (選択画面)が表示されます。
- 1 **Details** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[続きのダイアログ](#)が表示されます。[図 124](#)を参照してください。

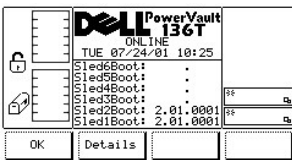


図 124. About > Details ダイアログ (第 3 画面)

2つの選択肢から1つを選ぶには、下記のステップに従ってください。

ステップ 5 希望するソフトキーの下にあるボタンを押します。

- 1 **OK** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、[メインメニューの選択](#) (選択画面)が表示されます。
- 1 **Details** ソフトキーの下にあるボタンを押すと、元のアバウトメニューに表示が切り替わります。[メニューの選択について](#)まで戻って参照してください。

[目次のページに戻る](#)

[目次のページに戻る](#)

トラブルシューティング:Dell™ PowerVault™ 136T LTO ライブラリユーザーガイド

[サービス処置コード](#)

[オペレーター介入メッセージ](#)

[オペレーター情報メッセージ](#)

[ファームウェアのダウンロード手順](#)

不良発生時、PowerVault 136T LTO ライブラリ ファームウェアはエラー復旧と報告を実行します。サービス・コールを必要とする誤動作の場合、2 バイトのサービス処置コード (SAC) が出力され、オペレーターパネルに表示されます。以下に、2 バイト定義の詳細を説明します。

- 1 nn は、サービス・アクション・コードを表します。
- 1 xx は、サービス・アクション・コードへのモディファイアーを表します。
 - 00 は、メイン・コントローラを表します。
 - 10 は、ピッカー・コントローラを表します。
 - 20 は、ディスプレイ・アセンブリを表します。
 - 3x は、ドライブ・スレッドを表します。
 - x は、ドライブ ID を表します。
 - 40 は、SCSI コントローラを表します。
 - 50 リモート管理ユニット (RMU) を表します。

オペレーターの介入を必要とする場合、オペレーターパネルにメッセージが表示されます。オペレーター介入メッセージとパラメータに関しては、[表 2](#) をご覧ください。

さらに、現在のオペレーションに関連する情報メッセージは、オペレーターパネルに表示されます。[表 3](#) をご覧ください。

サービス処置コード


表 1 には、SAC とオペレーターが実行できるそれぞれの対処方法が記載されています。表示されている対処方法で SAC コードが解消されない場合、Dell の顧客サポートへのお問い合わせに関する情報は[ヘルプの使い方](#)のセクションに記載されています。

表 1. サービス処置コード

SAC レポート	これらの処置を実行してください
01 xx	マイクロコードおよびオペレーティングシステムのエラーを含むタイプ 1 ソフトウェアのエラー。 PowerVault 136T LTO ライブラリの電源を切ってから、再度電源を入れて、エラー復旧します。後部スイッチを使用してこの処置を実行し、電源を切ってから入れるまでの間、最低 1 分間お待ちください。
02 xx	マイクロコード ロジックおよびオペレーティングシステムのエラーを含むタイプ 2 ソフトウェアのエラー。 PowerVault 136T LTO ライブラリの電源を切ってから、再度電源を入れて、エラー復旧します。後部スイッチを使用してこの処置を実行し、電源を切ってから入れるまでの間、最低 1 分間お待ちください。
03 xx	マイクロコード ロジックおよびオペレーティングシステムのエラーを含むタイプ 3 ソフトウェアのエラー。 PowerVault 136T LTO ライブラリの電源を切ってから、再度電源を入れて、エラー復旧します。後部スイッチを使用してこの処置を実行し、電源を切ってから入れるまでの間、最低 1 分間お待ちください。
04 xx	マイクロコードおよびオペレーティングシステムのエラーを含むタイプ 4 ソフトウェアのエラー (インタープロセッサ)。 PowerVault 136T LTO ライブラリの電源を切ってから、再度電源を入れて、エラー復旧します。後部スイッチを使用してこの処置を実行し、電源を切ってから入れるまでの間、最低 1 分間お待ちください。
05 xx	回復不能なオペレーティングシステムのエラーが発生した。 PowerVault 136T LTO ライブラリの電源を切ってから、再度電源を入れて、エラー復旧します。後部スイッチを使用してこの処置を実行し、電源を切ってから入れるまでの間、最低 1 分間お待ちください。 顧客サポートまでお問い合わせください。
10 xx	バーコードスキャナの通信が失敗した。 誤動作を再試行します。 PowerVault 136T LTO ライブラリの電源を切ってから、再度電源を入れて、エラー復旧します。後部スイッチを使用してこの処置を実行し、電源を切ってから入れるまでの間、最低 1 分間お待ちください。 Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。
	バーコードスキャナの通信は良いが、バーコードスキャナから受信されたデータが不良である。

11 xx	<p>バーコードラベルが Dell もしくは Dell が承認するベンダーから提供されていることを確認します。</p> <p>Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。</p>
13 xx	<p>バーコードのラベルが読めないか、ラベルが不良である。</p> <p>バーコードラベルが Dell もしくは Dell が承認するベンダーから提供されていることを確認します。</p> <p>カートリッジのラベルをチェックして、ラベルが仕様を満たし、適切に取り付けられ、損傷や汚れがないことを確認してください。問題のカートリッジスロットは、サービス処置コードと共に表示されています。</p> <p>スキャンビームが遮断されていないことを確認します。</p> <p>誤動作を再試行します。</p> <p>PowerVault 136T LTO ライブラリの電源を切ってから、再度電源を入れて、エラーから復旧します。後部スイッチを使用してこの処置を実行し、電源を切ってから入れるまでの間、最低 1 分間お待ちください。</p> <p>Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。</p>
14 xx	<p>シリアル番号が NVRAM にないとシステムが検出した。</p> <p>次の 2 つのどちらかの方法で、システムシリアル番号を記録し、再入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 シリアルケーブルおよびハイパーターミナルを使用して、ハイパーターミナルプロンプトで、setser コマンドを入力してください。 1 メニューパネルを使用して、Menu>More>Service>Start と進んでください。Service>Advanced では、パスワードに 4535 を使用してください。Serial # を選択し、シリアル番号を入力してください。 <p>Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。</p>
15 xx	<p>間欠走査エラーが検出されました。デモの間、各デモのサイクル完了後、ライブラリが目録を実行し、スキャンされたカートリッジ番号と以前のデータベース情報との不一致を検出します。</p> <p>ライブラリに設置されたカートリッジ番号に注意し、オペレータ・パネルを使用して、ライブラリで報告されるカートリッジ番号と、この情報を比べて下さい。設置されているのに正しいカートリッジ・ラベルがライブラリで報告されていないカートリッジを調べ、必要な場合は、ラベルを取り換えて下さい。カートリッジのコラムがすべて見つからない場合は、コラムの基準ラベルに欠陥があるかもしれません。この場合は、ストレージ・コラムをすべて取り換えなければなりません。</p> <p>ラベルがすべて正しい場合は、SAC(サービス・アクション・コード)をクリアして、デモ・プログラムを再試行して下さい。</p> <p>Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。</p>
21 xx	<p>NVRAM の誤動作。</p> <p>ライブラリ構成をチェックし、すべてのデータ(SCSI ID、時間/日付、ライブラリシリアル番号等)を再入力してください。</p> <p>Dell PowerVault 136T LTO ライブラリの電源を切ってから、再度入れることを数回繰り返し、同じエラーが再表示されるかどうか見ます。後部スイッチを使用してこの処置を実行してください。電源を切ってから入れるまでの間、最低 1 分間お待ちください。</p> <p>Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。</p>
39 xx	<p>リモート管理ユニット(RMU)が外部ネットワークエラーを検出した。</p> <p>ネットワークケーブルが適切に RMU に接続されていることを確認します。</p> <p>RMU が接続されているネットワークが正常に作動していることを確認してください。</p> <p>Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。</p>
40 xx	<p>ライブラリがサーボ電源がないことを検出した。</p> <p>Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。</p>
42 xx	<p>誤ったライブラリ構成が検出された。メールボックス ストレージコラムがない。</p> <p>メールボックスコラムがインストールされ、基準ラベルが適切に据え付けられ、破損していないことを確認するためにチェックします。基準ラベルは単一スロットメールボックスおよび複数スロットメールボックスの両方にあります。</p> <p>Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。</p>
43 xx	<p>不明のライブラリ構成が検出された。ティーチング操作時、バーコードスキャナがストレージコラムもしくはストレージマガジン上にある基準ラベルを読み込めない。</p> <p>PowerVault 136T LTO ライブラリにおけるマイクロコードのレベルがインストールされたハードウェアをサポートすることを確認します。メニューの選択についてをご覧ください。</p> <p>ライブラリ内のストレージアレーに位置する基準ラベルが、汚れているか、破損、紛失、もしくは誤っているかチェックしてください。</p> <p>Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。</p>
44 xx	<p>ティーチング操作時に、不明の基準ラベルが検出された。</p> <p>PowerVault 136T LTO ライブラリにおけるマイクロコードのレベルがインストールされたハードウェアをサポートすることを確認します。メニューの選択についてをご覧ください。</p> <p>ピッカーが配置されている場所の基準ラベルが、汚れたり、破損、紛失もしくは誤っていないかチェックしてください。</p>

	Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。
45 xx	<p>テープドライブ上に設置された基準ラベルがドライブモジュールにインストールされたドライブと一致しない。SAC の "xx" 部分がドライブを特定します。</p> <p>テープドライブモジュールを DELL 認定部品と交換してください。</p> <p>Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。</p>
46 xx	<p>バーコードスキャナが予期されない時にカートリッジを検出した。これは、マガジンの基準ラベルがライブラリによりスキャンされなかったのが起こりました。ゆえに、ライブラリはコラムに設置されているマガジンを認識しません。</p> <p>この問題の原因は、バーコードスキャナにとって、反射しすぎるマガジンの基準ラベルです。基準ラベルを半透明のセロハンテープで覆い、この問題を解消してください。</p> <p>問題のカートリッジを含むマガジン上の基準ラベルが、汚れたり、破損、紛失もしくは誤っていないかチェックしてください。</p> <p>Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。</p>
60 xx	<p>ロックアンロック メールボックスコマンドを終了できない。</p> <p>オペレーターパネルからロック診断を実行し、機械的結合がないかどうか調べてください。センサーダイアログをご覧ください。</p> <p>Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。</p>
70 xx	<p>ピッカーアセンブリ グリップフィンガー オープン操作において、誤動作が検出された。</p> <p>グリップフィンガー診断を実行してください。ピッカーサブメニューをご覧ください。</p> <p>Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。</p>
71 xx	<p>ピッカーアセンブリ グリップフィンガー クローズ操作において、誤動作が検出された。</p> <p>グリップフィンガー診断を実行してください。ピッカーサブメニューをご覧ください。</p> <p>Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。</p>
72 xx	<p>取得コマンドが出されたが、カートリッジはピッカーアセンブリにすでに存在するとセンサーが示した。</p> <p>ピッカーアセンブリの中を見て、カートリッジが装填されているか調べてください。ピッカーの中にカートリッジがあれば、カートリッジを回収して任意の空きスロットに置き、ドアを閉め、誤動作を再試行してください。</p>
73 xx	<p>ピッカーアセンブリ フィンガー オープン/クローズ操作において、誤動作が検出された。</p> <p>Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。</p>
74 xx	<p>取得コマンドが出されたが、ソースの場所が空であるとセンサーが示した。</p> <p>このエラーの原因は、故障しているスロット上のストレージスロットの中に完全に挿入されていないカートリッジです。この状況が続くようであれば、カートリッジをそのスロットの中に押しこみ、ライブラリのドアを閉めます。</p> <p>Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。</p>
77 xx	<p>リトラクト操作中、ピッカーアセンブリに誤動作が検出された。</p> <p>Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。</p>
78 xx	<p>取得コマンドが出されたが、カートリッジがピッカーアセンブリに存在しないとセンサーが示した。</p> <p>Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。</p>
7A xx	<p>ピッカーアセンブリ リーチ/リトラクト操作中に誤動作が検出された。</p> <p>Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。</p>
7C xx	<p>ピッカーアセンブリ リーチ操作において、誤動作が検出された。</p> <p>スロット内の遮断をチェックします。遮断には以下の形態が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ┆ ラベルのないカートリッジ。 ┆ Put 操作中、スロット内にカートリッジがある。 ┆ マガジン内のスロット壁がきつ過ぎる。 ┆ カートリッジが適切に挿入されるのを妨害するテープドライブの故障。 <p>障害物を除去するかマガジンを交換し、ドアを閉め、誤動作を再試行してください。</p> <p>Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。</p>
7E xx	<p>テープドライブのフィードスロットにカートリッジを装填している最中に誤動作が検出された。</p> <p>物的損害がないか、カートリッジをチェックしてください。</p> <p>故障しているドライブモジュールを交換してください。</p>
80 xx	<p>ロータリー軸サーボシステム中で誤動作が検出された。</p> <p>Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。</p>
81	<p>Y 軸サーボシステム中で誤動作が検出された。</p>

XX	Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。
82	予期しないモーションコントロール状態が経験された。
XX	Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。
83	基準特定コマンドが、ターゲットなしで失敗した。この誤動作は、ライブラリ サブシステムの初期インストール時に最も起こる。
XX	すべての基準ラベルがメールボックス、ストレージコラム、マガジン、およびドライブに存在していることを確認します。基準ラベルを有しない部品は交換してください。
	ティーチング基準ラベルはすべてクリーニングしてください。
	Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。
89	モーションコントローラーとの通信中に、誤動作が検出された。
XX	Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。
8A	モーションコマンドが予期されたより早く終了したとリターンセンサーが示した。
XX	結合しているかどうか Y 軸をチェックしてください。結合は、Y 軸がホーミングやターゲットに正しく達するのを妨害する物質が原因である可能性があります。
	Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。
8B	サーボの誤動作がロータリーおよびもしくはリーチ軸で検出された。
XX	Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。
93	ライブラリ内部のドライブ通信ハードウェアの中で誤動作が検出された。ひとつ以上のドライブとライブラリが通信できない(故障しているドライブの物理的な位置を書き留めてください。この情報は SAC に提出されます。)
XX	ライブラリは特定の 1 台のテープドライブと通信不可能という付随メッセージが表示された場合: <ul style="list-style-type: none"> 1 2 つのつまみネジを緩め、ドライブを取り出した後、同じドライブスロットに再インストールして、問題のドライブを再配置してください。 1 故障しているテープドライブモジュールを交換してください。
94	ライブラリとテープドライブ間の通信は当初は確立されていたが、現在通信不可か、ドライブステータスが予期されないとライブラリが検出した。
XX	 注: 故障しているテープドライブ スレッドの調整はオペレーターパネルに表示されますが、オペレーターがこの情報をリセットした場合、エラーログでエラー モディファイア "xxxx" を参照すれば、エラーの読み出しが可能です。この値は、故障しているドライブを示します。 SAC モディファイア> "xx" = "00" の場合: <ul style="list-style-type: none"> 1 2 つのつまみネジを緩め、ドライブを取り出した後、同じドライブスロットに再インストールして、問題のドライブを再配置してください。 1 ドライブが準備完了になるのを妨げるカートリッジが故障しているテープドライブの中にあるかチェックしてください。カートリッジを取り出し、その操作を再試行してから、適切であれば、テープドライブ モジュールを交換してください。
	Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。
95	ピッカーアセンブリはカートリッジをテープドライブに運んだが、ドライブはテープ装着ステータスを確認しない。SAC の "xx" 部分がドライブを特定する。
XX	テープドライブにカートリッジを手動で装着して、操作を再試行してください。この操作が失敗した場合、故障しているドライブ モジュールを交換してください。
	Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。
98	テープドライブにインストールされたファームウェア バリエーションがライブラリによってサポートされていない。SAC の "xx" 部分がドライブを特定する。
XX	ユーザーが予備の認定済みテープドライブ モジュールを有していれば、疑わしいテープドライブ モジュールを交換してください。
	Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。
A0	メインコントローラとリモート管理ユニットが通信の確立に失敗した。
00	リモート管理ユニットがしっかりと取り付けられ、また適切に接続されていることを確認してください。
	Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。
A1	ライブラリ メインコントローラは補助コントローラの 1 つと通信を確立したが、その後、通信不可。
XX	Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。
A2	メインコントローラ PCBA とピッカーコントロール PCBA の間の通信は、当初確立されたが、現在は通信不可。
XX	Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。
A3	メインコントローラ PCBA とディスプレイコントロール PCBA の間の通信は、当初確立されたが、現在は通信不可。
XX	Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。

	DC 電源供給の中の 1 つのファンの故障をライブラリが検出した。
D2 xx	このライブラリの DC 供給電源が 1 つだけであれば DC 供給電源を交換してください。 このライブラリの DC 電源供給が 2 つであれば、各供給電源の後ろに位置しているファンの音を聴いてください。ファンが作動していない供給電源を交換してください。
E0 xx	ピッカーアセンブリの中で引っ掛かっている。カートリッジをグリップフィンガーから取り出すのにオペレーターの介入が必要。 カートリッジを取り出してください。
E2 xx	正面ドアが完全に閉まっていない。ドアを閉めるのにオペレーターの介入が必要。 正面ドアを閉めてください。 予防メンテナンスが必要です。
E7 xx	グリップフィンガーの中にカートリッジが存在しないことをピッカーアセンブリが検出した。カートリッジがグリップフィンガーの中に適切に置かれていないか、もしくは、取得操作が成功しない。問題のカートリッジを見つけてください。 カートリッジがグリップフィンガーの中に適切に置かれていない場合、カートリッジを取り出し、任意の空のスロットに挿入して、操作を再試行してください。 カートリッジがピッカーの中ではなく、オリジナルのスロットにある場合、カートリッジはスロットの中に窮屈に置かれている可能性があります。マガジンを交換し、再度在庫管理を実施し、操作を再試行してください。 Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。
E8 xx	取得コマンドの成功後のカートリッジの装填の際、グリップフィンガーの中にカートリッジが存在しないことをピッカーアセンブリが検出した。不明のカートリッジを見つける。 カートリッジが見つかった場合、カートリッジを回収し、再度ライブラリの在庫管理を実施し、操作を再試行してください。 Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。
FB xx	予防メンテナンスが必要です。 Dell 顧客サポートまでお問い合わせください。

オペレーター介入メッセージ

表 2 では、オペレーター介入メッセージを説明します。各介入メッセージは、4 行で構成されています。第 3 行もしくは第 4 行は、メッセージに特定の変数の情報を含んでいることがあります。SAC の表示については、[サービス処置コード](#)をご覧ください。

表 2. オペレーター介入メッセージ

メッセージライン	変数
アラームはありません。 OK を押してください。	なし
-=>エラー！ <= 初期エラー コード: 0x%Y	%Y = 4 桁 エラーモディファイア
-=>回復不能なエラー！ <= ユーザーガイドをご覧ください。 SAC : %X コード : x%Y	%X = 2 桁 16 進法 %Y = 4 桁 エラーモディファイア
-=>回復不能なエラー！ <= システムが再起動します SAC : %X コード : 0x%Y	%X = 2 桁 16 進法 %Y = 4 桁 エラーモディファイア
->システムが再起動しました< 新規コード搭載済み バージョン %X.%YY.%ZZZ	現在のバージョン %X = 1 桁 大幅な改訂 %Y = 2 桁 少々の改訂 %Z = 4 桁 少々の改訂
->システムが再起動しました< エラーから復旧しました SAC : %X コード : 0x%Y	%X = 2 桁 16 進法 %Y = 4 桁 エラーモディファイア
->システムが再起動しました< サービスコール SAC : %X コード 0x%Y	%X = 2 桁 16 進法 %Y = 4 桁 エラーモディファイア
->エラー多数！ < サービスまでご連絡ください SAC : %X	%X = 2 桁 16 進法 %Y = 4 桁 エラーモディファイア

コード: 0x%Y	
介入が必要です! メールボックスを閉じて、処置を終了してください。	なし
介入が必要です! 予期せぬドアの開放が検出されました。ドアが閉じていることを確認してください。	なし
介入が必要です! 平衡型 (differential) バス上で不平衡型 (single-ended) デバイスが検出されました。	なし
介入が必要です! SCSI バスのポート 0 コネクタおよび/もしくはターミネートされているかチェックしてください。	なし
介入が必要です! ピッカーの中のカートリッジを取り出し、ストレージに戻してください。	なし
不良メディア タイプが不明です。 メディアにラベルを貼付してください。 スロット [%X %Y %Z]	%X = コラム番号 %Y = マガジン番号 %Z = 行番号
介入が必要です! カートリッジをスロットから取り出してください。 スロット [%X %Y %Z]	%X = コラム番号 %Y = マガジン番号 %Z = 行番号
メディアが上下逆です カートリッジがスロットの中に適切に置かれていることを確認してください。 スロット [%X %Y %Z]	%X = コラム番号 %Y = マガジン番号 %Z = 行番号
スロットが遮断されています スロットが空であるかチェックしてみてください。 スロット [%X %Y %Z]	%X = コラム番号 %Y = マガジン番号 %Z = 行番号
スロットが空です スロットが満杯であるかチェックしてみてください。 スロット [%X %Y %Z]	%X = コラム番号 %Y = マガジン番号 %Z = 行番号
通信が失敗しました ドライブを再起動して、通信を再試行してください。 ドライブ %N [%X %Y %Z]	%N = ドライブ番号 %X = コラム番号 %Y = マガジン番号 %Z = 行番号
ドライブ通信が失敗しました ドライブの通信バスを確認してください。 ドライブ %N [%X %Y %Z]	%N = ドライブ番号 %X = コラム番号 %Y = マガジン番号 %Z = 行番号
ドライブ SCSI ID が失敗しました ドライブ %N [%X %Y %Z] のドライブ SCSI id 設定を確認してください。	%N = ドライブ番号 %X = コラム番号 %Y = マガジン番号 %Z = 行番号
テープ PUSH が失敗しました ドライブからテープを取り出してください。 ドライブ %N [%X %Y %Z]	%N = ドライブ番号 %X = コラム番号 %Y = マガジン番号 %Z = 行番号
ドライブ初期化が失敗しました ドライブ %N [%X %Y %Z] のドライブ初期化を修正してください。	%N = ドライブ番号 %X = コラム番号 %Y = マガジン番号 %Z = 行番号
ドライブクリーニングが失敗しました ドライブ %N [%X %Y %Z] のクリーニング操作が失敗しました。	%N = ドライブ番号 %X = コラム番号 %Y = マガジン番号 %Z = 行番号

ラベルが無効です ラベルが有効であるかどうかメディアをチェックしてください。 スロット[%X %Y %Z]	%X = コラム番号 %Y = マガジン番号 %Z = 行番号
ラベルが重複しています エレメントのアドレスにおいてボリューム・シリアル番号をチェックしてください。 [%X および %Y]	%X = エレメントアドレス %Y = エレメントアドレス
シリアル番号がない モニターを介してシステムのシリアル番号を入力してください。	なし
ライブラリ ファームウェアのバージョンが一致していません。最新バージョンをライブラリに ダウンロード して下さい。	なし
1つ以上のドライブにダウンレベルファームウェアがあります。これらのドライブをアップデートする必要があるかもしれません。 ユーザーガイドを参照して下さい 。を参照してください。	なし

オペレーター情報メッセージ

表 3 では、オペレーター情報メッセージを説明します。各情報メッセージは、1 行です。

表 3. オペレーター情報メッセージ

メッセージライン	変数
初期化	なし
オフライン	なし
オンライン	なし
ホームिंगピッカー	なし
ティーチング コラム [%X]	%X = コラム番号
スキャニングコラム [%X]	%X = コラム番号
ドライブの初期化	なし
準備完了	なし
ドアが開放されている	なし
ピッカーホームの失敗	なし
ピッカーがホームにない	なし
オンラインにする	なし
オフラインにする	なし
=>エラー！<=	なし
再起動	なし
カートリッジを取り出す	なし
ピッカーの中のカートリッジ	なし
セルフテストの失敗	なし

ファームウェアのダウンロード手順

ファームウェアはリモート管理ユニットを介してダウンロードされます。Dell PowerVault 136T LTO ライブラリ ユーザーズガイドの操作のセクションにある [図 11](#) を参照し、また、RMU の中のファームウェアタブにお進みください。

[目次のページに戻る](#)

[目次のページに戻る](#)

操作: Dell™ PowerVault™ 136T LTO ライブラリユーザーガイド

- [オペレーターパネル](#)
- [ライブラリスタートアップ](#)
- [ライブラリ再始動](#)
- [リモート管理ユニット \(RMU\)](#)
- [ライブラリシャットダウン](#)

通常は、ホストが Dell PowerVault 136T LTO ライブラリコマンドを出します。オペレーターコントロールはオペレーターパネルを通して供給されます。オペレーターには以下の責任があります:

- 1 Dell PowerVault 136T LTO ライブラリの起動。
- 1 Dell PowerVault 136T LTO ライブラリのシャットダウン。
- 1 メディアの取り扱い。

メディアの取り扱い手順のための [メディアの挿入](#) および [メディアの取り出し](#) を参照してください。機器不良の場合には、オペレーターがメディア処理を実行することができます。

オペレーターパネル

オペレーターパネルは、オペレーターと Dell PowerVault 136T LTO ライブラリの間に対話型パスを供給します。ビジュアル表示および押しボタンで、オペレーターが Dell PowerVault 136T LTO ライブラリをコントロールすることができます。オペレーターパネルの実例に関しては、図 1 を参照してください。

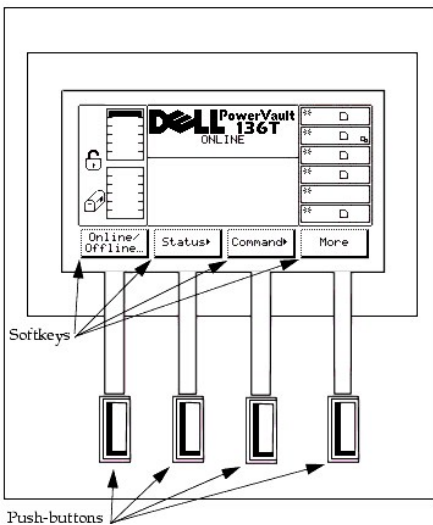


図 1. オペレーターパネル

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリ オペレーターパネルは、左端、中央上部、右端、および中央下部の個別の 4 つのエリアに分割されています。左端画面領域は、メールボックスに関する一定のステータスを供給します。

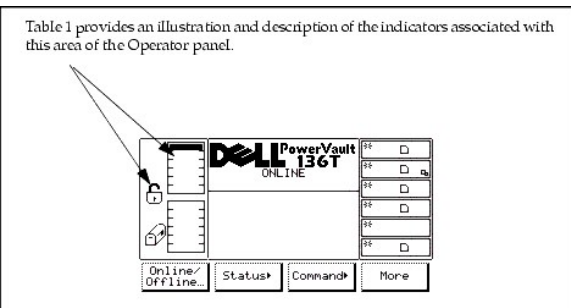



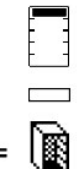


表 1. メールボックス表示

インジケータ	記述
	ホストが PREVENT/ALLOW MEDIUM REMOVAL (媒介取り外しの拒否/許可) コマンドを出しメールボックスをロックした場合、このインジケータが画面上に表示されます。
	メールボックスがロックされた場合、インジケータが画面上に表示されます。次の条件のどちらかによりメールボックスをロックすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> ホストが PREVENT/ALLOW MEDIUM REMOVAL SCSI コマンドを出しメールボックスをロックする。 Dell PowerVault 136T LTO ライブラリが、メールボックススロットにアクセスしている。 メールボックスがすべて保存として配列されている。 メールボックスがロックされていない場合、インジケータが表示されます。
	これらのインジケータは、メールボックスの 6 つの段階を画面上に表示されます。 段階 1: メールボックスのドアが開いています。メールボックス中のカートリッジは予め目録に記入されています。 段階 2: メールボックスのドアは部分的に開いています。メールボックス中のカートリッジは予め目録に記入されています。 段階 3: メールボックスのドアは完全に開いています。メールボックス中のカートリッジは予め目録に記入されています。インポートオペレーションのためにカートリッジを挿入することができます。 段階 4: メールボックスのドアは閉じています。カートリッジはエクスポートされていますがまだ取り外されていません。 段階 5: メールボックスのドアは部分的に開いています。カートリッジはエクスポートされていますが、まだ取り外されていません。 段階 6: メールボックスのドアは完全に開いています。カートリッジはエクスポートされていますがまだ、取り外されていません。この段階にある間は、エクスポートされたカートリッジを取り外すことができます。
	これらのインジケータは、3 つのタイプの正面ドアパネル保存用画面上に表示されます。 タイプ 1: 黒く塗りつぶされたスロットによって示されるカートリッジを表すメールボックスインジケータ。合計 12 のスロットが利用できます。 タイプ 2: 単一スロットメールボックス インジケータ。 タイプ 3: 連続的な記憶インジケータ。1 つあるいは 12 のスロットの合計が利用できます。

中央上部画面領域は、情報、ステータスおよび注意メッセージを表示します。表 2 は、オペレーターパネルに関連した上部画面領域の実例および記述を提供します。

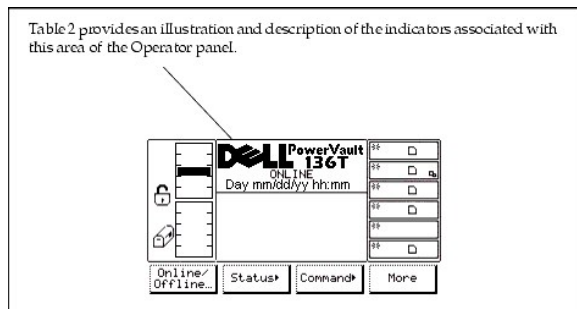


表 2. PowerVault 136T LTO ライブラリ表示

パラメータ	記述
テキストライン	このテキストラインは、ライブラリの現在の状態、活動あるいは状態を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> オフライン - 機器はオフライン状態です。 オンライン - 機器はオンライン状態です。 ステータスあるいは注意メッセージ - 機器がステータスあるいはオペレーター介入を求めるメッセージを報告します。

右端画面領域は、ドライブに関する一定のステータスを供給します。表 3 は、オペレーターパネルに関連した右端画面領域の実例および記述を供給します。

Table 3 provides an illustration and description of the indicators associated with this area of the Operator panel.

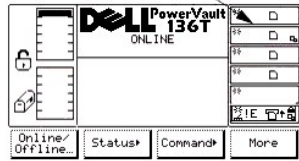


表 3. ドライブ表示

インジケータ	記述
ドライブの存在	テープドライブが存在する場合、初期の黒いアウトラインボックスが表示されます。
電源オン	電源がテープドライブに適用される場合、電源オン表示が示されます。
必要なクリーニング	テープドライブのクリーニングが必要とされる場合、クリーニングが必要な指示が表示されます。
エラーコード	ドライブエラー条件が存在する場合、エラーコード指示が表示されます。全てのエラーは、ドライブエラーコードによって続き、「!」の文字に先行します。「!」はライブラリによって検知されたドライブ不良を示し、ドライブがエラーを報告することはできません。
圧縮オン	テープドライブがテープ上のデータを圧縮している場合、圧縮オンインジケータが表示されます。
書き込み保護	テープが書き込み保護されている場合、書き込み保護インジケータが表示されます。
Tape Activity	テープドライブは存在しますが、カートリッジを含んでいません。
	テープドライブにロードされたカートリッジがあります。
	テープドライブはカートリッジをロードしています。
	テープドライブはカートリッジを巻き戻しています。
	テープドライブはカートリッジをアンロードしています。
	テープドライブにアンロードされたカートリッジがあります。
	テープドライブはカートリッジからデータを読み込んでいます。
	テープドライブはカートリッジにデータを書き込んでいます。
	テープドライブはカートリッジからデータを削除しています。
	テープドライブはカートリッジにデータを置いています。

中央下部画面領域は、6 行のテキスト、図表描写あるいはそれらの組み合わせを表示します。各テキストのラインは長さ 20 文字以内です。これらのラインは、インタラクティブダイアログ、特殊メッセージ、警告、およびライブラリ配置を通信します。[オペレーターパネルメニューの使用](#) で更なる詳細を得ることができます。

リモート管理ユニット (RMU)

RMU は各システムに存在し、工場ですべてインストールされています。RMU はウェブブラウザを経由しライブラリへのリモートアクセスを可能にします。RMU は、ネットスケープ・ナビゲーターのバージョン 4.01、4.5、4.7X およびそれより上のバージョンと同様にマイクロソフト・インターネットエクスプローラーのバージョン 4.0 とそれ以上のバージョンをサポートします。下記に記述されているように、すべての利用可能な機能は、専用のサーバー (あるいは個別のソフトウェア) を必要とせずに遂行されます。

RMU は次の機能を実行します：

- 1 ユーザーがライブラリとドライブ条件、ファームウェアレベル、および他の有益な情報を含むシステムに素早くアクセスできるようにします。
- 1 ウェブブラウザを経由してすべてのライブラリ オペレーターパネル (LCD) 機能のリモートオペレーションを供給します。

- 1 RMU のファームウェアおよびライブラリのコントローラをアップデートします。
- 1 シンプルネットワーク管理プロトコル (SNMP) バージョン 2.0 をサポートし、SNMP トラップを発生しながら SNMP リクエストに 응답し、SNMP サーバーとして働きます。
- 1 連続インターフェイスポート上のライブラリからテータ警告 3.0 互換性情報を得て、SNMP サーバーへその情報を送ります。
- 1 電源ロスを検知し、通知するため SNMP トラップを発生させます。
- 1 ライブラリコマンド、エラーログおよび RMU エラーログの検索を可能にします。
- 1 管理者が、ネットワーク、ユーザーおよび日付/時間変更といった構成変更を加えられるようにします。

補足情報に関しては、[RMU ダイアログ](#) を参照してください。

システム管理者責任

システム管理者 (SA) は、適切な操作のために RMU をセットアップしなければなりません。SA の責任には、RMU のためのネットワークアドレスを確立することおよび Uniform Resource Locators (URL) を確立することが含まれています。ネットワークアドレスは、インターネット プロトコル (IP) アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイ IP アドレスから成ります。オペレーターパネル経由のネットワークアドレス設定に関する情報は [RMU ダイアログ](#) を参照してください。ネットワークアドレスが確立された後、SA はウェブブラウザによって RMU および URL をテストしなければなりません。一度 URL が確認され、アカウントが作成されたら、SA は、潜在的な RMU ユーザーへの URL アドレスを通知することができます。SA は、ユーザーを削除およびユーザーパスワードを変更することができます。

メニュー構造に関する記述

RMU スタートアップ ダイアログ (図 2) は、2 つのナビゲーションフレーム セグメントおよび単一の情報フレームセグメントに分割されます。3 つのイラスト入りのセグメント記述の 1 番めは、左側ナビゲーションフレームです。左側ナビゲーションフレームには、次のリストで示されるような 6 つのハイパーリンクがあります：

- 1 ログアウト
- 1 目次
- 1 SNMP MIB
- 1 サポート
- 1 バージョン
- 1 www.Dell.com

ダイアログおよびハイパーリンク記述に関しては、[左側ナビゲーションフレーム](#) を参照してください。

第 2 のセグメントは上部情報フレームです。この構造のためのハイパーリンクあるいは後に続くダイアログはありません。このフレームに関連した 1 つのフィールド値は以下の通りです：

- 1 URL 識別子および機器タイプ

ダイアログに関しては、[上部情報フレーム](#) を参照してください。

第 3 のセグメントは中央ナビゲーションフレームです。中央ナビゲーションフレームには、次のリストで示されるような 6 つのタブスタイル ハイパーリンクがあります：

- 1 ステータス
- 1 構成
- 1 ファームウェア
- 1 診断ファイル
- 1 オペレーターパネル
- 1 ログ

ステータスタブはオープンダイアログです。残りの 5 つのタブは保護されたパスワードです。これらのタブには有効なユーザーアカウントか 管理者アカウントそして問題のないログインが必要です。

ダイアログおよびハイパーリンク記述に関しては、[中央ナビゲーションフレーム](#) を参照してください。

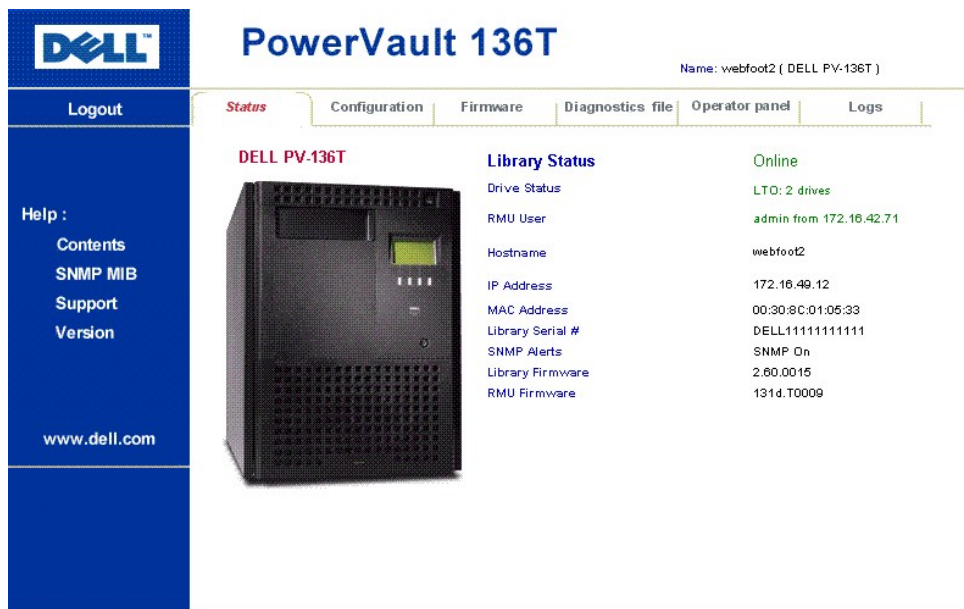



図 2. スタートアップ ディスプレイ

左側ナビゲーションフレーム

左側ナビゲーションフレーム ダイアログおよび記述を以下に示します。

	ハイパーリンク	記述
Logout	ログアウト	このハイパーリンクは、現在のユーザーをログアウトし、ステータスダイアログに戻ります。
Help : Contents SNMP MIB Support Version www.dell.com	目次	このハイパーリンクは 新しいページを開き、ステータス、構成、ファームウェア、診断ファイル、オペレーターパネル、およびログタブの簡潔な記述を表示します。図 3 を参照してください。
	SNMP MIB	このハイパーリンクは新しいページを開き、ダウンロード ハイパーリンクが SNMP MIB 情報をユーザーに誘導する SNMP MIB ウェブページを表示します。図 4 を参照してください。
	サポート	このハイパーリンクは 新しいページを開き、さらなるハイパーリンクが Dell 顧客サポートのサポートセンターにユーザーを誘導する サポートウェブページを表示します。図 5 を参照してください。
	バージョン	このハイパーリンクは新しいページを開き、RMU アプリケーションに関する現在のバージョン情報を表示します。図 6 を参照してください。
	www.Dell.com	このハイパーリンクは新しいページ開き、Dell ウェブサイト ホームページへユーザーを転送します。



Remote Management Unit (RMU)

Help Content :

- Status

The status page shows the current status of the Remote Management Unit, the attached library, and any drives within that library. From this page the user can easily see if there are any problems with the system

- Configuration (*Password Protected*)

The configuration page allows the user to configure the Remote Management Unit. Network configuration (including SNMP), user configuration, and date/time setup are all on this page.

- Firmware (*Password Protected*)

The firmware page allows the user to update the firmware on both the Remote Management Unit and the attached library.

- Diagnostic Files (*Password Protected*)

The diagnostic files page allows the user to upload (to their local computer) the diagnostic information from the attached library that may be useful to service personnel in diagnosing problems. Both information from the library (command and error logs) and information from the RMU (error log) can be retrieved in text form.

- Operator Panel (*Password Protected*)

The operator panel page is a direct interface to the attached library's operator panel. The user will see what is happening on the attached library and any interaction the user performs (button presses) will be reflected both on this web page and the attached library.

- Logs (*Password Protected*)

The log page shows the last few entries of the library's log. To see the entire log, please download it using the *Diagnostic Files* page.

Notes

1. Usernames and passwords are case sensitive.

図 3. ヘルプコンテンツ ダイアログ



DELL PV-136T



SNMP MIB

The SNMP MIB file will allow an SNMP Management Application to understand the SNMP traps generated by the RMU. If you are running an SNMP Management Application and need the PowerVault 136T MIB, right click on the link below, save the file locally on your SNMP Management machine, and load the MIB into your application.

[Download SNMP MIB](#)

図 4. SNMP MIB ダイアログ



DELL PV-136T



TECHNICAL SUPPORT

America:

Dell's support website: <http://support.dell.com>
Server/Storage Email address: DellServers@Dell.Com
Phone: 1-888-560-8324

Europe:

Dell's support website: <http://support.euro.dell.com>
Server/Storage Email address: Country Specific - See Website
Phone: Country Specific - See Website

Japan:

Dell's support website: <http://support.jp.dell.com>
Server/Storage Email address: snwks_ap@dell.com
Phone: 0120-1984-35

Asia/Pacific:

Dell's support website: <http://support.sg.dell.com>
Server/Storage Email address: apsupport@dell.com
Phone: Country Specific - See Website

図 5. テクニカルサポート ダイアログ



Remote Management Unit

131d.T0009

Portions of the firmware were derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm.


図 6. バージョンダイアログ

上部情報フレーム

上部情報フレームダイアログおよび記述は、下記に示されています。

 PowerVault 136T Name: webfoot9 (DELL PV-136T)	
ハイパーリンク	記述
名前	この位置は、RMU サイトおよび添付されているライブラリタイプの URL 確認者を示します。

中央ナビゲーションフレーム



PowerVault 136T

Name: webfoot2 (DELL PV-136T)


[Logout](#)

 Help :
[Contents](#)
[SNMP MIB](#)
[Support](#)
[Version](#)

www.dell.com

Status
Configuration
Firmware
Diagnostics file
Operator panel
Logs

DELL PV-136T



Library Status Online

Drive Status LTO: 2 drives

RMU User admin from 172.16.42.71

Hostname webfoot2

IP Address 172.16.49.12

MAC Address 00:30:8c:01:05:33

Library Serial # DELL1111111111

SNMP Alerts SNMP On

Library Firmware 2.60.0015

RMU Firmware 1314.T0009

ステータスで始まる中央ナビゲーションフレーム ダイアログおよび記述のすべては、下記に示されています。

ハイパーリンク	記述
ステータス	ステータスタブは、ライブラリの現在の要約ステータスを表示します。このタブは、ユーザーが RMU にログインしていない 時でもアクティブな状態です。タブは保護されたパスワードではありません。このタブに関係しているフィールドおよび値は下記に示されています。この画面は現在の状態を反映するために周期的に更新されます。
ライブラリステータス	
ドライブステータス	
RMU ユーザー	
ホストネーム	
IP アドレス	
MAC アドレス	
ライブラリシリアル #	
SNMP 警告	
ライブラリファームウェア	
RMU ファームウェア	

ステータスタブ以外のいずれかのタブをクリックすることによって、ログインダイアログを始めます。図 7 を参照してください。

図 7. ログイン ダイアログ

フィールド	記述
ログインネームの入力	ユーザーはご自分のユーザー名を入力します。デフォルトユーザー名は admin でケースセンシティブ (大文字と小文字の区別が必要) です。
パスワードの入力	ユーザーはご自分のパスワードを入力します。デフォルトパスワードは password でケースセンシティブです。
提出	ユーザーは、ログイン認証のために名前およびパスワードを提出します。ユーザー名あるいはユーザーパスワードのいずれかが確認されない場合、ログインが拒否されます。

注: Admin ユーザーが初めて RMU にログインした際に、Admin ユーザーはデフォルトのパスワードを変更することをお勧めします。既存の Admin ユーザーが RMU にログインしている間、一般ユーザーは RMU にログインすることができません。その時 RMU にログインできるのは一般ユーザー一人のみです。

構成ダイアログおよび記述は下記に示されています。

図 8. 構成ダイアログ

ハイパーリンク	記述
構成	構成タブは、RMU およびユーザーカウントの現在の構成ステータスを表示します。このタブに関係しているフィールド および値は下記に示されています。
ホストネーム	
サブネット マスク	
ゲートウェイ	
SNMP 警告	
SNMP サーバー	
パブリックネーム	
個人名	
管理処置	管理処置
ユーザー名	ユーザー名
パスワード	
パスワードの再入力	
日付 (月/日/年)	
時間 (時:分)	
提出	
提出	

ユーザーが構成を変更すると、確認構成変更ダイアログが現われます。このダイアログは、古い構成および変更を表示します。図 9を参照してください。

図 9. 確認構成変更ダイアログ

ハイパーリンク	記述
パスワード	ユーザーはパスワードを入力しなければなりません。
確認	このボタンは構成変更を確認します。

ファームウェアダイアログおよび記述は下記に示されています。



図 10. ファームウェアダイアログ

ハイパーリンク	記述
ファームウェア	ファームウェアタブは、RMU のファームウェアバージョン、ドライブ、またはライブラリを更新します。このタブに関係しているフィールドおよび値は下に示されています。
	アップグレードのためのターゲット選択
	ファームウェアファイルの選択
	ファームウェアのアップデート

診断ファイルダイアログおよび記述は下記に示されています。



図 11. 診断ファイルダイアログ

ハイパーリンク	記述
診断ファイル	診断ファイルタブは、ライブラリコマンド エラーログ、ライブラリ エラーログあるいは RMU エラーログを表示します。このタブに関連しているフィールドおよび値は下記に示されます。
検索するファイルを選択します。	
選択されたファイルの検索	

オペレーターパネルダイアログおよび記述は下記に示されています。

図 12. オペレーターパネル ダイアログ

注: RMU は、接続されたライブラリへの直接のインターフェイスです。ユーザーは接続されたライブラリ上で何が起きているか、また、ユーザーが実行する任意のインタラクション (ボタンを押すなど) がこのウェブページや接続されたライブラリの両方にどのような影響を与えるかが分かります。

ハイパーリンク	記述
オペレーターパネル	オペレーターパネルタブは、ライブラリオペレーターを表示し、オペレーターパネルの機能性を重複します。このメニューへのアクセスは、ライブラリの正面パネルをロックしません。ライブラリメニューの現在の状態は、ディスプレイ上で反復され継続的に更新されます。このタブに関連しているフィールドおよび値は下記に示されています。
	ソフトキー

ログダイアログおよび記述は下に示されています。



図 13. ログダイアログ

ハイパーリンク	記述
ログ	ログタブはライブリログを表示します。

ライブリ スタートアップ

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリを起動するには次の手順に従ってください。

- ステップ 1 正面ドアが閉じており機械的にロックされていることを確認してください。
- ステップ 2 右下後部パネルに後部電源スイッチを位置付けます。
- ステップ 3 後部電源スイッチの電源を入れるために上部に向かってロッカーを押します。
- ステップ 4 右上正面パネルに正面電源スイッチを位置付けます。
- ステップ 5 電子機器に電源を入れるために正面電源スイッチを内部へ押してください。

▲警告: Dell PowerVault 136T LTO ライブラリにおける機械的なコンポーネントの動作は、負傷の原因となることがあります。後部電源スイッチを入れる前に、作業者または所有物に危険が及ばないことを確認してください。

▲警告: 電源は、Dell PowerVault 136T LTO ライブラリに適用されます。

ファームウェアは導入のブラッシュ画面でブート処理を始めます。図 14 を参照してください。



図 14. スプラッシュ画面

ファームウェアは、SELF-TEST、TEACH (自動構成)、および INVENTORY 操作を始めます。ファームウェアの手順がすべて完成した後、オペレーターパネル上の LCD 画面は、メインメニュー (初期画面) を表示します。メインメニューは図 15 に示されています。

ライブリ シャットダウン

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリは、通常あるいは緊急の終了方式によって終了することができます。

▲注意: 緊急の場合を除いて、後部電源スイッチを切る前に、通常のシャットダウン手順を備えたDell PowerVault 136T LTO ライブラリを終了させてください。Dell は、後部電源スイッチの不適当な使用によって引き起こされた損害に責任を負いません。リスクはすべて完全にユーザーにあります。

通常のシャットダウン

問題なくDell PowerVault 136T LTO ライブラリをシャットダウンするためには、手順に従ってください。

ステップ 1 [図 15](#) に示すように、Dell PowerVault 136T LTO ライブラリがオンラインである場合、オンライン/オフライン ソフトキーの下のボタンを押します。

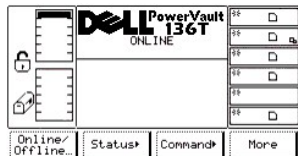


図 15. メインメニュー(初期画面)

- 1 オフライン確認画面が表示されます。[図 16](#)を参照してください。

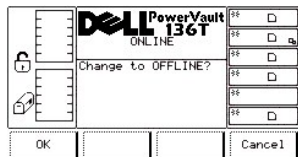


図 16. オフライン確認ダイアログ

ステップ 2 OK ソフトキーの下のボタンを押します。

- 1 オフラインダイアログが表示されます。[図 17](#)を参照してください。

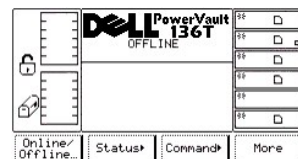


図 17. オフラインダイアログ

ステップ 3 Dell PowerVault 136T LTO ライブラリがオフライン状態に変わったことを目で確認してください。

- 1 ピッカーが現在のタスクを完了します。中央上部画面のテキストラインがオフラインに変わります。

ステップ 4 右上正面パネルに正面電源スイッチを位置付けます。

ステップ 5 電子機器から電源を抜くために正面電源スイッチを内部へ押しします。

▲警告: 電源はライブラリの内部にまだ存在しています。ライブラリの内部で作業する場合、嚴重に注意してください。

ステップ 6 後部パネルの右下角に後部電源スイッチを位置付けます。

ステップ 7 電源を抜くために後部電源スイッチロッカーを低の方に押ししてください。

電源は Dell PowerVault 136T LTO ライブラリから取り除かれます。

緊急シャットダウン

▲注意: 緊急の場合のみ、緊急シャットダウンに記述された方法を使用してください。

緊急の事態が発生した場合、次の手順に従ってください。

ステップ1 バックパネルの右下角に後部電源スイッチを探してください。

ステップ2 電源を切るためにロッカー後部電源スイッチを底の方へ押しします。

電源は Dell PowerVault 136T LTO ライブラリから取り除かれます。すべてのピッカー動作は直ちに停止します。

ライブラリ再起動

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリを再起動させるために次の手順に従ってください。

ステップ 1 該当する場合、Dell PowerVault 136T LTO ライブラリをシャットダウンする必要があるすべての状況を修正してください。

ステップ 2 正面ドアが開いており機械的にロックされている事を確認してください。

ステップ 3 後部パネルの右下に後部電源スイッチを位置付けます。

ステップ 4 電源を入れるために後部電源スイッチロッカーを上部に押します。

ステップ 5 右上正面パネルに正面電源スイッチを位置付けます。

ステップ 6 電子機器に電源を入れるために正面電源スイッチを内部へ押します。

[目次のページに戻る](#)

[目次のページに戻る](#)

メディアの取り扱い: Dell™ PowerVault™ 136T LTO ライブラリ ユーザーガイド

● [メディアの挿入](#)

● [メディアの取り出し](#)

● [メディアの取り扱い](#)

● [メディアの処理](#)

● [バーコードラベル](#)

● [ドライブのクリーニング](#)

通常操作の際に、ライブラリに、あるいはライブラリからストレージカートリッジを追加または取り外す必要がある場合があります。ストレージカートリッジの挿入または取り外しには 2 つの方法があります。どちらの方法で作業を行うにしろ、メールボックスのロックは解除されていなければなりません。メールボックスのロックは、ホストアプリケーションソフトウェアによって出される PREVENT/ALLOW MEDIUM REMOVAL (メディア取り外しの保護/許可) SCSI コマンドによって解除することができます。

メモ : PREVENT/ALLOW MEDIUM REMOVAL および Move Medium (メディアの移動) のような SCSI コマンドは、一般的にホストアプリケーションソフトウェアによって取り扱われます。

通常、メールボックスはロックを解除された状態です。補足情報は、メディアの処理、メディアの保護およびメディアクリーニングの使用に関するこの章で提供されています。

メディアの挿入

メールボックスを使用することにより、最適に新しいメディアをライブラリに挿入することができます。あるいは、オペレーターによって特定のストレージスロット位置にカートリッジを直接入れることができる場合もあります。

メールボックス

カートリッジの挿入にメールボックスを使用することにより、ライブラリの操作を混乱させません。メールボックスを通してカートリッジを挿入するには、この手順に従ってください。

ステップ 1 メールボックスのドアを開ける。

ステップ 2 カートリッジまたはマガジンを空のストレージスロットに挿入する。

ステップ 3 メールボックスを閉じる。

- 1 ライブラリはメールボックスをロックします。ピッカーはティーチング (Teach) およびインベントリ (Inventories) を行います。ライブラリはメールボックスのロックを解除します。

ステップ 4 ホストアプリケーションソフトウェアによって出される SCSI MOVE MEDIUM コマンドで希望するストレージスロットにカートリッジを移動させます。

-または-

オペレーターパネルからインポートコマンドを出してください。 [インポート画面](#) を参照してください。

ライブラリは、オフラインにすることを要求します。インポートオプションが実行される時、カートリッジがピッカーによって最初の利用可能な空のスロットに移動されている間はメールボックスがロックされます。移動が完了した後、メールボックスのロックは解除されます。

-または-

オペレーターパネルで Move Media コマンドを発行します。 [メディアの移動ダイアログ](#) を参照してください。

- 1 ライブラリは、オフラインにすることを要求します。オフライン手順が実行された後、オンライン/オフライン選択を参照し、ピッカーにより指定されたストレージスロット位置にカートリッジを移動することができます。

ステップ 5 インポートまたはメディアの移動オプションが使用された場合、ライブラリをオンライン状態にしてください。 [オンライン/オフライン選択](#) を参照してください

PowerVault 136T LTO ライブラリへの直接挿入

アクセスコントロールのレベルが 1 つあります。キーによって操作される機械的なロックです。

直接メディアを挿入するには、この手順に従ってください。

ステップ 1 ライブラリをオフライン状態にするには オペレーターパネルを使用してください。 [オンライン/オフライン選択](#) を参照してください。

ステップ 2 ピッカーは現在のタスクを終了します。

ステップ 3 キーを使用し、ライブラリのドアのロックを解除し開きます。

ステップ 4 希望のストレージスロットにカートリッジかマガジンを入れます。

ステップ 5 ドアを閉めてロックします。

ライブラリはティーチングおよびインベントリを実行します。

メディアの取り出し

メールボックスを使用することにより、ライブラリからメディアを最適に取り外すことができます。あるいは、オペレーターによって特定のストレージスロット位置から直接カートリッジを取り外すことができる場合があります。

メールボックス

メールボックスを使用することにより、カートリッジの取り外しがライブラリの操作を混乱させません。メールボックスを通してカートリッジを取り外すには、この手順に従ってください。

ステップ 1 ソースストレージ要素アドレスおよび目的地メールボックス要素アドレスとともにホストから SCSI MOVE MEDIUM コマンドを発行します。

? または?

オペレーターパネルからエクスポートコマンドを実行してください。[エクスポートダイアログ](#)を参照してください。

- 1 ライブラリは、オフラインにすることを要求します。エクスポートオプションが実行される時、カートリッジがピッカーによってメールボックスに移動されている間はメールボックスがロックされます。移動が完了した後、メールボックスのロックは解除されます。

ステップ 2 メールボックスを開けるためにハンドルを引っ張ります。

ステップ 3 ストレージスロットからカートリッジを取り外します。

ステップ 4 メールボックスを閉じます。

- 1 ライブラリはティーチングおよびインベントリを実行します。

ステップ 5 エクスポートオプションが使用された場合、ライブラリをオンライン状態にしてください。[オンライン/オフライン選択](#)を参照してください。

PowerVault 136T LTO ライブラリからの直接取り外し

アクセスコントロールのレベルが 1 つあります。キーによって操作される機械的なロックです。

直接メディアを取り外すには、この手順に従ってください。

ステップ 1 ライブラリをオフライン状態にするには、オペレーターパネルを使用してください。[オンライン/オフライン選択](#)を参照してください。

- 1 ピッカーは現在のタスクを終了します。

ステップ 2 キーの使用して、ライブラリのドアのロックを解除し開きます。

ステップ 3 希望のストレージスロットからカートリッジかマガジンを取り外してください。

ステップ 4 ドアを閉めてロックします。

ライブラリはティーチングおよびインベントリを実行します。

メディアの取り扱い

信頼性について、ライブラリが Dell の仕様と合致することを保証するため、Dell により供給された LTO Ultrium データカートリッジをご使用ください。[図 1](#)を参照してください。他社の LTO 保証済みメディアを使用することもできますが、Dell が確立した信頼性の基準を満たさない場合があります。

データカートリッジは、プラスチックのケースに収容されており、ネイティブでは 100GB 容量、圧縮された場合は 200GB 容量 (平均 2:1 の圧縮を仮定) を持つ 0.5 インチの金属粒子テープを使用しています。カートリッジはさらに、リアテープオープン カートリッジメモリ (LTO-CM) テープを含み、このチップはカートリッジおよびテープに関する情報を含みます。その情報には、テープ製造メーカーの名前、カートリッジ容量シリアル (volser) 番号、カートリッジ使用に関する統計上の情報およびテープ上のデータディレクトリが含まれます。

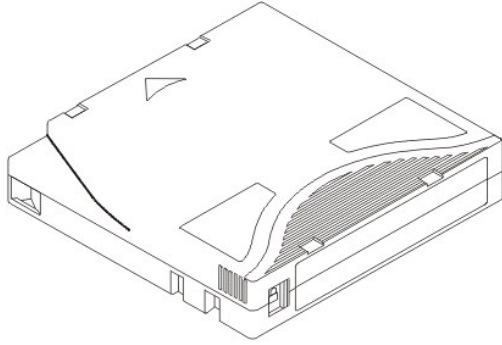




図 1. テープカートリッジ

書き込み保護スイッチ

各テープカートリッジには、書き込み保護スイッチがあります。テープカートリッジをロードする前に、指示されるようにカートリッジの正面に書き込み保護スイッチを位置付けます。

スイッチが  (閉じる) にセットされている場合、データをテープに書き込むことができません。

スイッチが  (開く) にセットされている場合、データをテープに書き込むことができます。

書き込み保護スイッチは、既存のデータ上への記録の上書きを防ぐために使用されます。記録の上書きまたは削除を防ぐには、書き込み保護スイッチを「閉じる」の位置にセットします。ドライブは、スイッチの位置を感知し、この状態では書き込みを可能にしません。

カートリッジの保護

可能な場合は常に、LTO Ultrium データカートリッジを次の室内環境条件で保管してください：


- 1 理想温度 20 °C、± 5 °C (68°F、± 9°F)
- 1 理想湿度 50 % (±20%)

表 1. 環境に関する仕様

環境的要素	操作時	保管時	出荷時
温度	10 °C ~ 40 °C (50°F ~ 104°F)	16 °C ~ 32 °C (61°F ~ 90°F)	-23 °C ~ 49 °C (-9°F ~ 120°F)
相対湿度 (凝縮なし)	20% ~ 80%	20% ~ 80%	20% ~ 80%
湿球温度	26 °C (79°F)	26 °C (79°F)	26 °C (79°F)

さらに：

- 1 カートリッジを落としたりぶつけたりしないでください。こうしたことによりテープリーダーが外れ、カートリッジが使用できなくなったり、場合によってはドライブが破損する恐れがあります。
- 1 テープカートリッジを直射日光、ヒーターおよび他の発熱源より離して置いてください。
- 1 カートリッジの寿命を長くするために、カートリッジは必ず付属のプラスチック製コンテナに入れるようにしてください。
- 1 テープカートリッジは埃のない場所に保管してください。
- 1 テープカートリッジが極端な高温あるいは低温に露出される場合、露出された時間と同じ時間 (24 時間以内) の間、室温でカートリッジを安定させてください。
- 1 端末、電動機、およびビデオあるいは X 線機器のような電磁妨害源の近くにカートリッジを置かないでください。
- 1 識別ラベルの貼り付け場所は、カートリッジの正面にあるスライドイン式スロット内のみです。

 **注意:** ラベルは、スライドイン式スロット内以外には、貼り付けしないでください。

メディアの処理

PowerVault 136T LTO ライブラリの各テープカートリッジは、オペレーターおよび機械が容量シリアル番号を識別するために読むことができる外部ラベルを有する必要があります。外部ラベルは volser 用に 13 字以内の文字を含みます。volser は A-Z の大文字および 0-9 の数値で表されます。PowerVault 136T LTO ライブラリは現在 Code 39 ラベルをサポートしています。外側にラベルのないテープカートリッジがある場合、**Touch on Init** (初期化時におけるスキャン) を有効化する必要があります。[構成ダイアログ](#)を参照してください。

バーコードラベル

バーコードラベルを印刷したいお客様のために、ANSI MH10.8M-1983 標準および他の追加的な必要条件に合致する場合、個々のメディアラベルはサポートされます。必要条件は次のとおりです：

- 1 ANSI MH10.8M-1983 標準
- 1 桁数: 6
- 1 背景反射: 最低 25 パーセント
- 1 印刷差異: 最低 75 パーセント
- 1 比率: 最低 2.2
- 1 モジュール: 250 mm
- 1 印刷寛容: 7 57 mm

品質テスト

これらの仕様に対する準拠は、Laetus Company 社製造の Ergilaser 3000 高密度バーコード測定装置で確認および文書化することができます。

バーコードスキャン ラベルを購入する場合、それらが[表 2](#)に掲載された販売元から得られる場合に個々のメディアラベルはサポートされます。

表 2. サポートされるバーコードラベル

販売元	メディア	ラベル
Dell	LTO	どれでも

バーコードラベルに関する規制

ラベルはすべて 13 文字以下の volser 番号に制限されます。

ラベルの適用

バーコードスキャン ラベルはすべて、カートリッジの正面に適用します。バーコードラベルを上下逆さまに適用しないよう十分な注意が必要です。

ドライブのクリーニング

ドライブのクリーニング方法はホストアプリケーション ソフトウェアによって制御され、その方法は PowerVault 136T LTO ライブラリのすべてのドライブタイプに当てはまります。ホストアプリケーション ソフトウェア制御のドライブクリーニングは初期設定条件です。

[目次のページに戻る](#)

[目次のページに戻る](#)


安全: Dell™ PowerVault™ 136T LTO ライブラリ ユーザーガイド

 [意図された用途](#)

 [危険警告メッセージ](#)

 [アプリケーション領域](#)

 [保護装置](#)

 **注:** このガイドの中で示された安全に関する指示事項に加えて、地方および職業上の安全性に関する規則が当てはまります。

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリを操作する間は、安全性手続きに全て従い、機器を注意深く操作することで、危険な状況を回避してください。このガイドの指示事項をすべて読み、従ってください。Dell PowerVault 136T LTO ライブラリのオペレーターは、このガイドおよび関連する文書に含まれるすべての指示事項を理解し従う義務があります。

意図された用途

この機器は次の処理のために設計されています:




- 1 磁気テープカートリッジ

他のアプリケーションは、意図された用途と見なされません。Dell には、ライブラリの不正な使用から発生する損害に対する責任がありません。ユーザーがこの点におけるリスクをすべて引き受けるものとします。


危険警告メッセージ

このガイドにおける強調されたパラグラフは、危険を警告したり、あるいは重要な情報に注意を促します。Dell は、いくつかの分類に危険を分類しています。表 1 は、記号、標記される文字、実際の危険、および可能性のある結果の相互関連性を示します。

表 1. 危険警告メッセージ

記号	損害の対象	標記される文字	定義	結果
	作業者	警告	切迫した危険のある電氣的あるいは機械的な状況	死亡や重傷
	機材	注意	損傷の可能性のある状態	製品、データあるいは環境への損傷が発生しうる
		注	システムのより良い利用を支援する重要な情報を示します。	危険や損傷につながる恐れはありません。

アプリケーションの領域

 **注:** 他のメーカー資料は、Dell PowerVault 136T LTO ライブラリ ユーザーガイド資料セットの統合された一部分です。

この情報は、Dell PowerVault 136T LTO ライブラリグループ全体に当てはまります。機器に使用されるコンポーネントに対する詳しい安全に関する指示事項は、これらの指示事項によって無効になるものではありません。


保護装置

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリは次の保護装置を装備しています:

- 1 ライブラリへのモニターされたアクセス
- 1 正面電源スイッチ
- 1 後部電源スイッチ

ライブラリ格納装置

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリは、格納装置によって完全に囲まれます。ライブラリにはモニターされたアクセス領域によってのみアクセスすることができます。ライブラリ周辺の格納装置は、Dell PowerVault 136T LTO ライブラリの危険領域を正常な作動領域から分離します。ライブラリの危険領域は、作業者がコンポーネント動作によって負傷する可能性がある領域です。

 **警告:** ライブラリ中の機械的なコンポーネントの動作は、重傷を引き起こす可能性があります。ライブラリへのアクセスは、認定を受けた

担当者のみに制限されるべきです。

機械的なロック（複数でない）

ライブラリのアクセスドアは、外部からのキーのみで開けることができます。認定を受けた担当者はキーを安全に確保する責任があります。

正面電源スイッチ

正面電源スイッチを切ることで、ピッカーを直ちに停止させる電子機器から電源を外します。このスイッチは、さらにドライブから電源を外します。ライブラリはまだスタンバイ電源を適用します。したがって、ライブラリは、電源から完全には分離されていません。

後部電源スイッチ

後部電源スイッチのスイッチを切ることで、ライブラリから電源をすべて外します。作業員または所有物に対する危険がある場合には、直ちに後部電源スイッチを切ってください。

▲ 警告: 電源をすべて完全に外すには、後部電源スイッチを使用するか、コンセントからコード線を抜いてください。

▲ 警告: 緊急の場合を除いて、後部電源スイッチのスイッチを切る前に、正常なシャットダウンの手順で Dell PowerVault 136T LTO ライブラリを終了してください。Dell は、後部電源スイッチの不適当な使用によって引き起こされた損害に対する責任を負いません。そのようなリスクは完全にユーザーにあります。

▲ 警告: Dell PowerVault 136T LTO ライブラリ中の機械的なコンポーネントの動作が、重傷を引き起こすことがあります。正面あるいは後部電源スイッチをオンにして、Dell PowerVault 136T LTO ライブラリの再起動する前に、危険が作業員または所有物に及ばないことを確認してください。

[目次のページに戻る](#)

[目次のページに戻る](#)

仕様: Dell™ PowerVault™ 136T LTO ライブラリ ユーザーガイド

[物理仕様](#)

[電気仕様](#)

[パフォーマンス仕様](#)

[環境仕様](#)

文書のこのセクションは、物理、電気、パフォーマンス、環境上、および Dell PowerVault 136T LTO ライブラリの規制上の仕様について記述しています。

物理仕様

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリ に関する物理仕様は表 1 に示されています。

表 1. 物理仕様

構成	高さ	幅	奥行き	最大重量(1)
スタンドアロン	25 インチ	18.9 インチ	28.8 インチ	250 ポンド
	0.635 メートル	0.48 メートル	0.732 メートル	113.6 キログラム
ラックマウント (14 ラックユニット)	24.5 インチ	17.4 インチ	28.8 インチ	250 ポンド
	0.625 メートル	0.442 メートル	0.732 メートル	113.6 キログラム

(1) 6 つの LTO ドライブ重量を含む。

電気仕様

ライブラリは、90~260V~を許容する内部自動変動電源供給を含んでおり、自動的な入力電圧および周波数選択を供給します。ライブラリは、AC 電源変動、電圧振動、および電圧スパイク期間中に操作を継続して行うことができます。伝導された放射は AC ラインフィルタによって縮小されます。Dell PowerVault 136T LTO ライブラリ用の電気仕様は表 2 に示されています。

表 2. 電気仕様

供給電源タイプ	電圧	周波数 (Hz)	アンペア
自動範囲	90 - 260	50 - 60	3.0 - 6.0

パフォーマンス仕様

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリのパフォーマンス情報は表 3 に示されています。

表 3. パフォーマンス仕様

最大許容時間	
カートリッジ 交換	カートリッジ 交換
10 秒	10 秒

環境仕様

Dell PowerVault 136T LTO ライブラリの環境情報は表 4 に示されています。

表 4. 環境仕様

操作温度	操作湿度	高度
50 - 104 F (10°C - 40°C)	20 - 80% (圧縮なし)	30,000 フィート (9,144 メートル)

[目次のページに戻る](#)

[目次のページに戻る](#)

保証および返品の方針: Dell™ PowerVault™ 136T LTO ライブラリ ユーザーガイド

- [3年間の限定保証\(米国のみ\)](#)
- [3年間の限定保証\(カナダのみ\)](#)
- [1年間のエンドユーザー製造元保証](#)
- [トータル・サティスファクション \(完全なるご満足を\) 返品方針 \(米国およびカナダのみ\)](#)

3年間の限定保証 (米国のみ)


デルコンピュータ・コーポレーション(「Dell」)は、業界基準の慣行に従い、新規または新規と同等のパーツおよびコンポーネントからハードウェア製品を製造しています。Dell は、製造するハードウェア製品の素材及びその製作品に欠陥がないことを保証します。次の本文に記述されるように、限定保証の期間は請求書の日付より3年間です。

お客様への製品出荷時に発生した損害は、この限定保証で保証されます。そうでない場合、この限定保証は、事故、乱用、誤用、電力に関する問題、Dell によって認可されていないサービス、製品指示事項に従わない使用法、必要な予防的メンテナンスの不履行、および Dell によって供給されないパーツおよびコンポーネントの使用によって引き起こされた問題を含む、外部要因による損害を保証しません。

この限定保証は、次の分類内の1つ以上のいかなる項目をも保証しません:ソフトウェア。外部装置(特に言及されているものを除く)。システムがDell から出荷された後 Dell システムに加えられたアクセサリあるいはパーツ。Dell のシステム調整部門によって Dell システムに加えられたアクセサリあるいはパーツ。Dell の工場でインストールされないアクセサリあるいはパーツ。または DellWare™ 製品。Dell 商標である、または Dell の標準価格表に含まれているモニター、キーボード、およびマウスは、この限定保証で保証されます。その他のすべてのモニター、キーボード、およびマウス(DellWare プログラムを通して販売されるものを含む)は、保証の対象とはなりません。ラップトップコンピューター用バッテリーは、この限定保証の1年目の期間のみ保証されます。

1年目の保証適用範囲

請求書の日付を開始日とする1年目の期間中、Dell は、Dell の施設に返品された、この限定保証で保証される製品を修理もしくは交換します。保証サービスを要求するには、保証期間内に Dell の顧客テクニカルサポートに連絡する必要があります。システムのトラブルシューティング文書中の「ヘルプの使い方」を参照し、顧客サポートを得るための適切な電話番号を見つけてください。保証サービスが要求されると、Dell は返品認証番号を発行します。お客様は購入時またはそれと同等に製品を梱包し、送料先払いで Dell に送付し、また送付に対する保険を負担するか、または送付中の損失や損害の危険を認める必要があります。Dell は、該当する場合、お客様が米国大陸内の住所を使用している場合は、修理済みまたは交換製品を、運送料先払いで送付します。その他のロケーションへの送付は先方払いで輸送します。

 **注:** Dell に製品を送付する前に、ハードディスクドライブおよび製品のその他のストレージデバイス上のデータのバックアップを取ってください。フロッピーディスク、CD あるいは PC カードのような取り外し可能なメディアを取り外してください。Dell は、失われたデータあるいはソフトウェアに対して責任を負いません。

Dell は、修理された製品から取り除かれた全てのパーツを所有します。Dell は、保証に基づく修理および交換製品組み立てを行う際に、様々なメーカーが製造する新規あるいは修理調整済みパーツを使用します。Dell が製品を修理または交換した場合、その保証期間は拡張されません。

2年目および3年目の保証適用範囲

この限定保証の2年目および3年目の期間中、Dell は、交換基準および交換日において効力のある Dell の交換方針に従い、パーツの交換が必要な場合この限定保証の下で保証された Dell ハードウェア製品に対して交換製品を提供します。パーツの交換および Dell による交換パーツの送付が必要であるという Dell の同意を得るために、お客様は Dell 顧客テクニカルサポートにハードウェア破損の各ケースを事前に報告する必要があります。Dell は、該当する場合、お客様が米国大陸内の住所を使用している場合は修理済みまたは交換製品を運送料先払いで送付します。他のロケーションへの送付は先方払いで輸送します。Dell は前払いで、交換されたパーツをお客様が Dell に返送する際に使用する各交換パーツ用の輸送コンテナを同梱します。交換パーツは新規もしくは修理調整されたものです。Dell は、お客様にパーツを供給する際に様々なメーカーによって製造された交換パーツを提供することがあります。交換パーツに対する保証期間は、本限定保証期間の残りです。

交換されたパーツを Dell に返品されない場合、お客様より Dell に対し交換パーツの代金をお支払いいただけます。交換されたパーツを返品する過程および Dell に交換されたパーツを返品しない場合の交換パーツ代金を支払う義務は、交換日において効力をもつ Dell の交換方針に従います。

ソフトウェアおよびデータに対する完全な責任はお客様にあります。Dell は、適切なバックアップおよび他の手続きを助言するまたは注意する必要があります。

一般規定

この限定保証により、州(あるいは管轄)によって異なる特定の法的権利が与えられます。ハードウェアの不調および欠陥に対する Dell の責任は、この限定保証文に規定されている修理および交換に制限されています。商品性および特定目的のための適合性の明示的および黙示的保証と状態を含むがそれに限定されない全ての明示的および黙示的保証は、上記に規定された保証期間に限定されており、明示・黙示の如何に関わらず、いかなる保証も期間後は適用されません。


州(あるいは管轄)によっては、黙示的保証の期間制限を設けていません。従って、前述の制限が適用されない場合があります。

Dell は、使用の際に利用可能でない製品、失われたデータ、あるいはソフトウェアに対する責任を制限なしに含め、この限定保証声明で規定されている救済策を超えた責任または付随的もしくは間接的損害に対する責任を持ちません。

州(あるいは管轄)によって、付随的もしくは間接的損害に対する例外または制限を設けていません。従って、前述の例外または制限が適用されない場合があります。

これらの規定は Dell の 3 年間の限定保証のみに適用されます。システムを保証するサービス契約の規定に関しては、請求書あるいはお客さまが受け取る個別のサービス契約を参照してください。

Dell がシステムあるいはコンポーネントを交換することを決定する場合、交換日において効力を持つ Dell の交換方針に従って交換が行われます。Dell が返却認証番号を発行する場合、修理を限定保証によって保証するため、Dell は保証期間の終了に先立ち修理のために製品を受け取る必要があります。

 **注:** 前述の本文に記載された標準の 3 年間の限定保証の代わりに利用可能な保証およびサービスオプションを選ぶ場合、お客さまが選んだオプションは請求書に記載されます。

3 年間の制限保証 (カナダのみ)


デルコンピュータ・コーポレーション(「Dell」)は、業界基準の慣行に従って、新規または新規と同様のパーツおよびコンポーネントからハードウェア製品を製造しています。Dell は、製造するハードウェア製品の機器及び性能に欠陥がないことを保証します。次の本文に記載されるように、限定保証の期間は請求書の日付より 3 年間です。

お客さまへの製品出荷時の損害はこの限定保証で保証されます。そうでない場合、この限定保証は、事故、乱用、誤用、電力に関する問題、Dell によって認可されていないサービス、製品指示事項に従わない使用法、必要な予防的メンテナンスの不履行、および Dell によって供給されないパーツおよびコンポーネントの使用によって引き起こされた問題を含む、外部要因による損害を保証しません。

この限定保証は、次の分類内の 1 つ以上の項目を保証しません: ソフトウェア。外部装置 (特に言及されているものを除く)。システムが Dell から出荷された後 Dell システムに加えられたアクセサリあるいはパーツ。Dell のシステム調整部門によって Dell システムに加えられたアクセサリあるいはパーツ。Dell の工場でインストールされないアクセサリあるいはパーツ。または DellWare™ 製品。Dell 商標が付いているまたは Dell の標準価格表に含まれているモニター、キーボード、およびマウスは、この限定保証で保証されます。他のすべてのモニター、キーボード、およびマウス (DellWare プログラムを通して販売された全てを含む) は、保証されません。ポータブルコンピューター用バッテリーは、この限定保証の 1 年目の期間のみ保証されます。

1 年目の保証適用範囲

請求書の日付より 1 年の期間中、Dell は、Dell の施設に返品されたこの限定保証で保証される製品を修理あるいは交換します。保証サービスを要求するには、保証期間内に Dell の顧客テクニカルサポートに連絡する必要があります。システムのトラブルシューティング文書内の「ヘルプの使い方」を参照し、顧客サポートの適切な電話番号を見つけてください。保証サービスが要求されると、Dell は返品認証番号を発行します。お客さまは購入時または同等に製品を梱包し、送料先払いで Dell に送付し、また送付に対する保険を負担するか、送付中の損失や損害の危険を認める必要があります。Dell は、該当する場合、お客さまがカナダ内の住所を使用している場合は修理済みまたは交換製品を運送料先払いで送付します。他のロケーションへの送付は先方払いで輸送します。

 **注:** Dell に製品を送付する前に、ハードディスクドライブおよび製品の他のストレージデバイス上のデータのバックアップを取ってください。フロッピーディスク、CD あるいは PC カードのような取り外し可能なメディアを取り外してください。Dell は、失われたデータあるいはソフトウェアに対して責任を負いません。

Dell は、修理された製品から取り除かれた全てのパーツを所有します。Dell は、保証修理および交換製品交換を行う際に、様々なメーカーが製造する新規あるいは修理調整されたパーツを使用します。Dell が製品を修理または交換した場合、その保証期間は拡張されません。

2 年目および 3 年目の保証適用範囲

この限定保証の 2 年目および 3 年目の期間中、Dell は、交換基準および交換日において効力を持つ交換方針に従い、パーツの交換が必要なときに、この限定保証の下で保証された Dell ハードウェア製品に対する交換を提供します。パーツの交換および Dell が交換パーツを送付する必要があるという Dell の同意を得るために、お客さまは Dell の顧客テクニカルサポートにハードウェア 破損の各ケースを事前に報告する必要があります。Dell は、該当する場合、カナダ内の住所を使用している場合は修理された または交換製品を運送料先払いで送付します。他のロケーションへの送付は先方払いで輸送します。Dell は前払いで、交換されたパーツをお客さまが Dell に返送する際に使用する各交換パーツ用の輸送コンテナを同梱します。交換パーツは新規もしくは修理調整されたものです。Dell は、お客さまにパーツを供給する際に様々なメーカーによって製造された交換パーツを提供することがあります。交換パーツに対する保証期間は、本限定保証期間の残りです。

交換されたパーツが Dell に返品されない場合、お客さまは Dell に対して交換パーツの代金を支払います。交換されたパーツを返品する過程および Dell に交換されたパーツを返品しない場合の交換パーツ代金を支払う義務は、交換日において効力をもつ Dell の交換方針に従います。

ソフトウェアおよびデータに対する完全な責任はお客さまにあります。Dell は、適切なバックアップおよび他の手続きを助言するまたは注意する必要があります。

一般規定

Dell は、この限定保証文で述べられた事柄を超えるいかなる明示的保証または条件を制定しません。Dell は、制限なしで、特定目的のための適合性の黙示的保証と状態を含み、その他の全ての保証および条件、明示的または黙示的保証要求を拒否します。州 (あるいは管轄) によっては黙示的保証または条件の制限を設けていません。従って、この制限が適用されない場合があります。


ハードウェアの不調および欠陥に対する Dell の責任は、この限定保証文に規定されている修理および交換に制限されています。これらの保証により特定の法的権利が与えられ、またその他の権利を付与されることがありますが、それらは州 (あるいは管轄) によって異なる場合があります。

Dell は、使用の際に利用可能でない製品の責任、失われたデータ、あるいはソフトウェアを制限なしに含め、この限定保証声明で規定されている救済策を超えた付随的もしくは間接的損害に対する責任を持ちません。

州 (あるいは管轄) によっては、付随的もしくは間接的損害に対する例外または制限を設けていません。従って、前述の例外または制限が適用されない場合があります。

これらの条件は Dell の 3 年間の限定保証のみに適用されます。システムを保証するサービス契約の条件に関しては、請求書あるいはお客さまが受け取る個別のサービス契約を参照してください。

Dell がシステムあるいはコンポーネントを交換することを決定する場合、交換日において効力のある Dell の交換方針に従って交換が行われます。Dell が返品認証番号を発行する場合、修理を限定保証によって保証するために、Dell は保証期間の終了に先立ち修理のために製品を受け取る必要があります。

 **注:** 前述の本文に記述された標準の 3 年間の限定保証の代わりに利用可能な保証およびサービスオプションのうちの 1 つを選ぶ場合、お客さまが選んだオプションは請求書に記載されます。

1 年間のエンドユーザーメーカー保証 (ラテンアメリカおよび、カリブ海のみ)

デルコンピュータ・コーポレーション(「Dell」)は、Dell あるいはラテンアメリカまたはカリブ海地域で Dell によって認可された販売業者からエンドユーザーによって購入された商標のあるハードウェア製品が、最初の購入日の日付より一年間の間、素材、製品、および通常使用に影響する設計において欠陥が無いということを、次の条件に従ってエンドユーザーに保証します。適切な修理保証が請求された製品は、Dell の選択により、Dell の費用で修理または交換が行われます。Dell は、修理された製品から取り除かれた全てのパーツを所有します。Dell は、保証修理および取り付け製品組み立てを実行する際に、様々なメーカーが製造する新規あるいは修理調整されたパーツを使用します。

例外

この保証は、次に起因する欠陥に当てはまりません: 不適合または不十分なインストール、使用あるいはメンテナンス。認可されていない第三者あるいはエンドユーザーによる不慮のまたは故意の損害。あるいは正常な消耗。

修理保証の請求

修理保証は、保証期間内に Dell 販売店と連絡を取ることであり、ラテンアメリカあるいはカリブ海で請求を行う必要があります。エンドユーザーは常に、販売店の名前と住所、購入日、型番およびシリアル番号、お客様の名前と住所、機能不全時の症状の詳細と、使用された周辺機器およびソフトウェアを含む構成を示す購入証明書を提出する必要があります。それ以外の場合、Dell は修理保証請求を拒否する場合があります。保証された欠陥の分析に際し、Dell は、Dell の修理/取り付けセンターまでの往復地上輸送および保険を支払う手配をします。エンドユーザーは、上記に記載された詳細および Dell がエンドユーザーに供給する返品番号とともに、欠陥製品を購入時または購入時と同等の保護力のある包装で適切に梱包し、回収される準備があることを保証する必要があります。

制限および法令による権利

Dell は、上記に明白に述べられている以外の保証誓約、保証、または声明を制定しません。この保証は、他の保証と同様に法律の範疇において許可される最大限の効力を発揮します。この保証はエンドユーザーの Dell およびその系列会社に対する唯一または独占的な救済方法となります。Dell とその系列会社のうちのどちらも、契約の不履行、違反またはいかなる方法から発生した利益または契約の損失、あるいは直接的または間接的な損失に対する責任がありません。

この保証は、エンドユーザーの法令に基づく権利、および/または Dell および/または他の販売店とエンドユーザーにより締結された他の契約に起因する権利に対する権利を損ったり影響するものではありません。

Dell World Trade LP

One Dell Way, Round Rock, TX 78682, USA

Dell Computadores do Brasil Ltda (CNPJ No. 72.381.189/0001-10)/

Dell Comercial do Brasil Ltda (CNPJ No. 03 405 822/0001-40)

Avenida Industrial Belgraf, 400
92990-000 - Eldorado do Sul - RS - Brasil

Dell Computer de Chile Ltda

Coyancura 2283, Piso 3- Of.302,
Providencia, Santiago - Chile

Dell Computer de Colombia Corporation

Carrera 7 #115-33 Oficina 603
Bogota, Colombia

Dell Computer de Mexico SA de CV

Rio Lerma #302- 4 Piso
Col. Cuauhtemoc, Mexico, D.F. 06500

「トータル・サティスファクション」返品方針 (米国およびカナダのみ)

Dell から新製品を直接購入されたエンドユーザーのお客様に限り、製品購入代金の払い戻しまたはクレジットと引換えに、請求書日付から 30 日間以内に Dell に製品を返品することができます。Dell から修理調整あるいは改装された製品を購入されたエンドユーザーのお客様に限り、製品購入代金の払い戻しまたはクレジットと引換えに、請求書日付から 14 日間以内に Dell に製品を返品することができます。いずれの場合も、払い戻しまたはクレジットは、お客様の請求書に記載されている輸送料および取扱料金を含みません。Dell と書面契約に基づき製品を購入した組織については、契約書において、この方針において規定される返品条件とは異なる条件を含む場合があります。

製品を返品するには、クレジットリターン認証番号を受け取るために Dell 顧客サービスに連絡する必要があります。システムのトラブルシューティング文書の「ヘルプの使い方」というタイトルの章を参照し、利用できる顧客サポートの適切な電話番号を見つけてください。払い戻しまたはクレジットの処理を速やかに行うため、Dell では、Dell がクレジットリターン認証番号を発行してから 5 日以内にお客様が購入時の梱包でもって製品を返品することを期待しています。さらにお客様は輸送費用を先払いし、また輸送時の保険をかけるか、その間の損失または損害に対するリスクを引き受ける必要があります。フロッピーディスクまたは CD を含む密封パッケージが開封されていない場合のみ、払い戻しまたはクレジットと引換えにソフトウェアを返品することができます。返品される製品は新品同様の状態で、また取扱説明書、フロッピーディスク、CD、電源ケーブル、および製品に含まれた他のアイテムの全てと一緒に返送されなければなりません。払い戻しまたはクレジットとの引換えのみに返品を望まれるお客様は、Dell によってインストールされたアプリケーションソフトウェアあるいはオペレーティングシステムのいずれかのシステム全体を、最初の出荷時に含まれていた全てのメディアおよび文書とともに返品する必要があります。

この「トータル・サティスファクション」返品方針は、返品時の DellWare 現行方針に基づき返品できる DellWare 製品には適用されません。さらに、カナダの Dell 予備パーツ販売部門より購入された修理調整済みパーツは返品することができません。

[目次のページに戻る](#)